

仙台市文化財調査報告書第 324 集

長町駅東遺跡第 1・2 次調査

—仙台市あすと長町土地区画整理事業関係遺跡発掘調査報告書Ⅱ—

2008 年 3 月

仙 台 市 教 育 委 員 会
国 土 交 通 省 東 北 地 方 整 備 局



長町駅東道跡周辺の航空写真



たいはっくる屋上より全景



事業計画地(南から)



2A区全景



2B区全景



3A区全景(北部)



SI51全景



SI45全景



SI45カマド横出状況



PIT445断面



SK5弥生土器出土状況



遺構出土須恵器 1 (壺・壺・瓶・鉢)



遺構出土須恵器 2 (坏・碗・蓋)



遺構出土土師器 1 (甕・壺)



遺構出土土師器 2 (高坏・甌・鉢)



遺構出土土師器 3 (坏・碗・蓋)



遺構出土土師器 4 (坏・碗・ミニチュア)



S144 雙穴住居跡一括出土遺物



S155 雙穴住居跡一括出土遺物



SI64豎穴住居跡一括出土遺物



SK5出土一括弥生土器



下層調査区出土縄文土器



石包丁・大型直縁刃石器

序 文

仙台市の文化財保護行政に対しまして、日ごろからご理解、ご協力を賜り感謝申し上げます。

市内には、旧石器時代から近世に至るまで数多くの埋蔵文化財が残っております。先人たちの残した貴重な文化遺産を保護し、保存活用を図りつつ次の世代に継承していくことは、現代に生きる私たちの大きな責務であると考えております。そうした中において、国史跡に指定され調査・整備の進む仙台城跡や、山田上ノ台遺跡を保存し、体験学習型施設として整備された縄文の森広場などは、市民の皆様の深いご理解とご協力のたまものといえます。

本報告書は、本市として7番目の国史跡指定を受けた多賀城造営以前の陸奥国府と考えられる郡山遺跡の西側で進められている「あすと長町土地区画整理事業」に伴う、長町駅東遺跡の調査結果をまとめたものです。長町駅東遺跡からは総数300軒近い堅穴住居跡と、大溝と材木列による区画施設が発見されるなど、飛鳥～奈良時代の集落としては、東北地方でも最大級の集落があったことが明らかになりつつあります。

今回の調査成果が、地域の歴史を解き明かしていくための貴重な資料となり、多くの方々に活用されれば幸いです。

最後になりましたが、発掘調査から本報告書の刊行に際しまして、ご指導、ご協力くださいました皆様に深く感謝申し上げます次第です。

平成20年3月

仙台市教育委員会

教育長 荒井 崇

例 言

1. 本書は、仙台市教育委員会が実施した、「あすと長町土地区画整理事業」に伴う長町駅東遺跡第1次・2次調査(1～3A区)の発掘調査成果についてまとめたものである。
2. 報告書刊行にあたっては、仙台市教育委員会文化財課工藤信一郎、主浜光朗の監督の下、遺物実測・トレース・遺構図トレース、遺物写真撮影、執筆、編集にいたるまでの作業を国際航業が担当した。
3. 本書の執筆については、第1章・3章を工藤、第5章・第6章の一部を佐藤淳(仙台市教育委員会文化財課)、第2章を利屋勉(国際航業株式会社下同じ)、第4章を渡辺香織、第5章・第6章の遺構部分を武田芳雅が担当し、利屋・渡辺がその一部を、石器事実記載を鶴久森彬、土器・その他の遺物事実記載を前川雅夫が執筆した。第8章については、遺構部分を武田、遺物部分を前川が担当した。
4. 発掘調査及び資料の整理に際し、次の方々から多くの指導・助言を賜った。記して感謝の意を表する次第である。(敬称略)
今泉 隆雄、岡田 茂弘、工藤 雅樹、桑原 滋郎、進藤 秋輝、須藤 隆、早坂 春一、松本 秀明
5. 本書の調査成果については、すでに現地説明会資料などに内容の一部が紹介されているが、本書の記載内容がそれらに優先する。
6. 調査・整理に関する全ての資料は仙台市教育委員会が保管している。

凡 例

1. 遺構図中の座標系は、「平面直角座標第X系」を基準としている。図中及び本文記載の方位北は、全て座標北を基準としている。
2. 本書中の土色の記述には、原則として『新版標準土色帖』(小山正忠・竹原秀雄 1997)を使用している。
3. 調査において検出された遺構については以下の遺構番号を使用し、遺構ごとに番号を付した。
SB 掘立柱建物跡 SD 溝跡 SI 竪穴住居跡 SK 土坑 SM 小溝状遺構
SX 性格不明遺構 P ビット
4. 遺構図版に使用したスクリーントーンの凡例は下記の通りである。それ以外のものについては、その都度図中で説明している。

掘立柱建物跡 溝跡 竪穴住居跡 土坑 小溝状遺構
5. 出土遺物の登録には以下の遺物記号を使用し、遺物ごとに番号を付した。
B 弥生土器 C 土師器(非ロクロ調整) D 土師器(ロクロ調整) E 須恵器
K 石器・石製品 L 木製品 N 金属製品 P 土製品
6. 弥生土器の整理にあたっては、「中在家南遺跡他」(仙台市教委1996)の器種分類基準及び遺物観察表における

観察内容の標記の仕方を参考・準用した。

7. 石製品の整理にあたっては、『鴻ノ巣遺跡7次発掘調査報告書』（仙台市教委2004）の器種分類基準及び遺物観察表における観察内容の標記の仕方を参考・準用した。
8. 石器の整理にあたっては、『相ノ原・大貝中・川添東遺跡』（仙台市教委 1997）の器種分類基準及び遺物観察表における観察内容の標記の仕方を参考・準用した。
9. 土師器実測図に使用したスクリーントーンの凡例は下記の通りである。



10. 石器・石製品に使用したスクリーントーンの凡例は下記の通りである。



11. 遺物実測図の縮尺は、下記の通りである。但し、その縮尺では掲載が困難なものについては、適宜縮尺を変えている。各図にはそれぞれスケールを付した。
土器類・木製品・金属製品・土製品 1/3 剥片石器 2/3 礫石器・石製品 1/2
12. 掲載した遺物写真の縮尺は、原則として遺物実測図と同じ縮尺とした。但し、その縮尺で掲載が困難なものについては、適宜縮尺を変えた。

目 次

巻頭カラー

序 文

例 言

凡 例

第1章 調査にいたる経過	1
1. 調査事由	1
2. 調査要項	1
3. 確認調査の実施(平成3年・4年)	2
第2章 遺跡の立地と環境	5
1. 長町駅東遺跡の歴史的環境	5
第3章 調査の方法と概要	6
1. 調査の方法	6
(1) 調査区の設定	6
(2) 平成13年度調査	6
(3) 平成14年度調査	6
2. 調査概要	8
(1) 調査経過	8
(2) 測量基準・図面の作成	8
(3) 遺物の取り上げ・調査記録の作成	8
(4) 遺構登録番号	8
(5) 調査報告書作成業務	8
第4章 基本層序	11
第5章 2A調査区の検出遺構と出土遺物	17
(1) 溝跡	17
(2) 性格不明遺構	20
(3) 水田跡	25
第6章 2B・3A調査区の検出遺構と出土遺物	26
1. 古代～中世の遺構と遺物	26
(1) 小溝状遺構群	26
(2) 溝跡	31

(3) 土坑	48
(4) ビット	64
(5) 掘立柱建物跡	82
2. 古代の遺構と遺物	90
(1) 竪穴住居跡	90
(2) 溝跡	281
(3) 遺構外出土遺物	285
3. 弥生時代以前の遺構と遺物	290
(1) 土器埋設遺構	290
(2) 弥生時代の出土遺物	293
(3) 接合資料	338
(4) 2B区下層調査	370
第7章 自然科学分析	383
第8章 まとめ	399

写真図版

報告書抄録

挿図目次

第1図	調査区位置図	2	第37図	SD12出土遺物(1)	42
第2図	試掘調査トレンチ(平成3年・4年)配置図	3	第38図	SD12出土遺物(2)	42
第3図	試掘調査トレンチ土層模式図	4	第39図	SD18出土遺物	44
第4図	長町駅東遺跡と周辺の遺跡	5	第40図	SD21出土遺物	45
第5図	グリッド配置図	7	第41図	SD22出土遺物(1)	45
第6図	全体図と郡山遺跡	9・10	第42図	SD22出土遺物(2)	46
第7図	2区基本土層図	13・14	第43図	SD25出土遺物	47
第8図	3A区基本土層図	15・16	第44図	SD35出土遺物	47
第9図	2A区遺構配置図	17	第45図	SD40出土遺物	47
第10図	SD1溝跡	18	第46図	SD41出土遺物	48
第11図	SD2溝跡	18	第47図	2B区土坑	50
第12図	SD3溝跡	19	第48図	3A区土坑(1)	51
第13図	SD4溝跡	20	第49図	3A区土坑(2)	52
第14図	SD5溝跡	21	第50図	3A区土坑(3)	53
第15図	SX1性格不明遺構	22	第51図	3A区土坑(4)	54
第16図	SX2性格不明遺構	23	第52図	3A区土坑(5)	55
第17図	SX3性格不明遺構	23	第53図	3A区土坑(6)	56
第18図	SX4性格不明遺構	24	第54図	3A区土坑(7)	57
第19図	2A区SX2出土遺物	24	第55図	3A区土坑(8)	58
第20図	水田跡(畦畔状遺構)	25	第56図	土坑出土遺物(1)	61
第21図	小溝状遺構群 3A区	27・28	第57図	土坑出土遺物(2)	62
第22図	小溝状遺構群 断面図	29	第58図	土坑出土遺物(3)	63
第23図	小溝状遺構 出土遺物	29	第59図	土坑出土遺物(4)	63
第24図	溝跡 2B区	32	第60図	掘立柱建物跡・土坑・ビット 2B区	65
第25図	2B区溝跡断面図	33	第61図	掘立柱建物跡・土坑・ビット 3A区	67・68
第26図	溝跡 3A区	35・36	第62図	3A区ビット193・194・198・425	70
第27図	3A区溝跡断面図(1)	37	第63図	ビット出土遺物(1)	81
第28図	3A区溝跡断面図(2)	37	第64図	ビット出土遺物(2)	82
第29図	SD6出土遺物	38	第65図	SB1掘立柱建物跡	83
第30図	SD7出土遺物(1)	38	第66図	SB1掘立柱建物跡出土遺物	83
第31図	SD7出土遺物(2)	38	第67図	SB2掘立柱建物跡	84
第32図	SD8出土遺物	39	第68図	SB3掘立柱建物跡	86
第33図	SD9出土遺物	40	第69図	SB4掘立柱建物跡	87
第34図	SD10出土遺物	40	第70図	SB5掘立柱建物跡	89
第35図	SD11出土遺物(1)	41	第71図	竪穴住居2B区	91
第36図	SD11出土遺物(2)	41	第72図	竪穴住居3A区	93・94

第73圖	SI 1 豎穴住居跡	96
第74圖	SI 1 豎穴住居跡出土遺物	97
第75圖	SI 2 豎穴住居跡	98
第76圖	SI 2 豎穴住居跡出土遺物(1)	100
第77圖	SI 2 豎穴住居跡出土遺物(2)	100
第78圖	SI 3 豎穴住居跡	101
第79圖	SI 4 豎穴住居跡	103
第80圖	SI 4 豎穴住居跡出土遺物	105
第81圖	SI 5 豎穴住居跡	106
第82圖	SI 5 豎穴住居跡出土遺物(1)	107
第83圖	SI 5 豎穴住居跡出土遺物(2)	108
第84圖	SI 6 豎穴住居跡(1)	109
第85圖	SI 6 豎穴住居跡(2)	110
第86圖	SI 6 豎穴住居跡出土遺物(1)	111
第87圖	SI 6 豎穴住居跡出土遺物(2)	111
第88圖	SI 7 豎穴住居跡	112
第89圖	SI 7 豎穴住居跡出土遺物	113
第90圖	SI 8 豎穴住居跡	114
第91圖	SI 8 豎穴住居跡出土遺物	114
第92圖	SI 9 豎穴住居跡	115
第93圖	SI 10 豎穴住居跡	117
第94圖	SI 10 豎穴住居跡出土遺物(1)	118
第95圖	SI 10 豎穴住居跡出土遺物(2)	118
第96圖	SI 11 豎穴住居跡	119
第97圖	SI 12 豎穴住居跡	120
第98圖	SI 12 豎穴住居跡出土遺物	122
第99圖	SI 13 豎穴住居跡	123
第100圖	SI 13 豎穴住居跡出土遺物	124
第101圖	SI 14 豎穴住居跡	126
第102圖	SI 14 豎穴住居跡出土遺物(1)	127
第103圖	SI 14 豎穴住居跡出土遺物(2)	128
第104圖	SI 15 豎穴住居跡(1)	130
第105圖	SI 15 豎穴住居跡(2)	131
第106圖	SI 15 豎穴住居跡出土遺物	132
第107圖	SI 16 豎穴住居跡	134
第108圖	SI 16 豎穴住居跡出土遺物	134
第109圖	SI 17 豎穴住居跡	136
第110圖	SI 17 豎穴住居跡出土遺物(1)	137
第111圖	SI 17 豎穴住居跡出土遺物(2)	137

第112圖	SI 18 豎穴住居跡	138
第113圖	SI 18 豎穴住居跡出土遺物	139
第114圖	SI 19 豎穴住居跡	141
第115圖	SI 19 豎穴住居跡出土遺物	141
第116圖	SI 20 豎穴住居跡	142
第117圖	SI 21 豎穴住居跡	143
第118圖	SI 22 豎穴住居跡	144
第119圖	SI 22 豎穴住居跡出土遺物(1)	145
第120圖	SI 22 豎穴住居跡出土遺物(2)	145
第121圖	SI 23 豎穴住居跡	147
第122圖	SI 24 豎穴住居跡	148
第123圖	SI 25 豎穴住居跡	149
第124圖	SI 25 豎穴住居跡出土遺物	149
第125圖	SI 26 豎穴住居跡	150
第126圖	SI 26 豎穴住居跡出土遺物	151
第127圖	SI 27 豎穴住居跡	153
第128圖	SI 27 豎穴住居跡出土遺物	154
第129圖	SI 28 豎穴住居跡	155
第130圖	SI 28 豎穴住居跡出土遺物	156
第131圖	SI 29 豎穴住居跡	157
第132圖	SI 30 豎穴住居跡	158
第133圖	SI 30 豎穴住居跡出土遺物	159
第134圖	SI 31 豎穴住居跡(1)	160
第135圖	SI 31 豎穴住居跡(2)	161
第136圖	SI 31 豎穴住居跡出土遺物	162
第137圖	SI 32 豎穴住居跡	164
第138圖	SI 32 豎穴住居跡出土遺物	165
第139圖	SI 33 豎穴住居跡(1)	166
第140圖	SI 33 豎穴住居跡(2)	167
第141圖	SI 33 豎穴住居跡出土遺物(1)	169
第142圖	SI 33 豎穴住居跡出土遺物(2)	170
第143圖	SI 33 豎穴住居跡出土遺物(3)	171
第144圖	SI 34 豎穴住居跡	172
第145圖	SI 35 豎穴住居跡	172
第146圖	SI 36 豎穴住居跡	173
第147圖	SI 37 豎穴住居跡	175
第148圖	SI 37 豎穴住居跡出土遺物	177
第149圖	SI 38 豎穴住居跡(1)	179
第150圖	SI 38 豎穴住居跡(2)	179

第151 圖 SI38 豎穴住居跡出土遺物	180	第190 圖 SI55 豎穴住居跡出土遺物(2)	228
第152 圖 SI39 豎穴住居跡	181	第191 圖 SI56 豎穴住居跡	229
第153 圖 SI39 豎穴住居跡出土遺物	182	第192 圖 SI56 豎穴住居跡出土遺物	230
第154 圖 SI40 豎穴住居跡	183	第193 圖 SI57 豎穴住居跡	231
第155 圖 SI40 豎穴住居跡出土遺物(1)	185	第194 圖 SI57 豎穴住居跡出土遺物	232
第156 圖 SI40 豎穴住居跡出土遺物(2)	186	第195 圖 SI58 豎穴住居跡	233
第157 圖 SI41 豎穴住居跡	187	第196 圖 SI58 豎穴住居跡出土遺物(1)	235
第158 圖 SI41 豎穴住居跡出土遺物	188	第197 圖 SI58 豎穴住居跡出土遺物(2)	235
第159 圖 SI42 豎穴住居跡	189	第198 圖 SI59 豎穴住居跡	236
第160 圖 SI43 豎穴住居跡	190	第199 圖 SI59 豎穴住居跡出土遺物	237
第161 圖 SI43 豎穴住居跡出土遺物	191	第200 圖 SI60 豎穴住居跡	238
第162 圖 SI44 豎穴住居跡(1)	193	第201 圖 SI60 豎穴住居跡出土遺物(1)	239
第163 圖 SI44 豎穴住居跡(2)	194	第202 圖 SI60 豎穴住居跡出土遺物(2)	240
第164 圖 SI44 豎穴住居跡出土遺物(1)	196	第203 圖 SI61 豎穴住居跡	241
第165 圖 SI44 豎穴住居跡出土遺物(2)	197	第204 圖 SI61 豎穴住居跡出土遺物	243
第166 圖 SI45 豎穴住居跡(1)	199	第205 圖 SI62 豎穴住居跡	245
第167 圖 SI45 豎穴住居跡(2)	200	第206 圖 SI62 豎穴住居跡出土遺物(1)	246
第168 圖 SI45 豎穴住居跡出土遺物(1)	202	第207 圖 SI62 豎穴住居跡出土遺物(2)	247
第169 圖 SI45 豎穴住居跡出土遺物(2)	203	第208 圖 SI63 豎穴住居跡(1)	248
第170 圖 SI45 豎穴住居跡出土遺物(3)	204	第209 圖 SI63 豎穴住居跡(2)	249
第171 圖 SI46 豎穴住居跡	205	第210 圖 SI63 豎穴住居跡出土遺物	251
第172 圖 SI46 豎穴住居跡出土遺物	207	第211 圖 SI64 豎穴住居跡	252
第173 圖 SI47 豎穴住居跡	209	第212 圖 SI64 豎穴住居跡出土遺物(1)	254
第174 圖 SI47 豎穴住居跡出土遺物	210	第213 圖 SI64 豎穴住居跡出土遺物(2)	255
第175 圖 SI48 豎穴住居跡	211	第214 圖 SI64 豎穴住居跡出土遺物(3)	256
第176 圖 SI48 豎穴住居跡出土遺物	212	第215 圖 SI65 豎穴住居跡	257
第177 圖 SI49 豎穴住居跡	214	第216 圖 SI65 豎穴住居跡出土遺物(1)	258
第178 圖 SI49 豎穴住居跡出土遺物	215	第217 圖 SI65 豎穴住居跡出土遺物(2)	258
第179 圖 SI50 豎穴住居跡	216	第218 圖 SI66 豎穴住居跡	259
第180 圖 SI51 豎穴住居跡	218	第219 圖 SI66 豎穴住居跡出土遺物	260
第181 圖 SI51 豎穴住居跡出土遺物(1)	220	第220 圖 SI67 豎穴住居跡	261
第182 圖 SI51 豎穴住居跡出土遺物(2)	220	第221 圖 SI67 豎穴住居跡出土遺物	262
第183 圖 SI52 豎穴住居跡	221	第222 圖 SI68 豎穴住居跡	263
第184 圖 SI52 豎穴住居跡出土遺物	222	第223 圖 SI68 豎穴住居跡出土遺物(1)	264
第185 圖 SI53 豎穴住居跡	223	第224 圖 SI68 豎穴住居跡出土遺物(2)	264
第186 圖 SI53 豎穴住居跡出土遺物	224	第225 圖 SI69 豎穴住居跡	265
第187 圖 SI54 豎穴住居跡	224	第226 圖 SI70 豎穴住居跡	266
第188 圖 SI55 豎穴住居跡	226	第227 圖 SI70 豎穴住居跡出土遺物	267
第189 圖 SI55 豎穴住居跡出土遺物(1)	227	第228 圖 SI71 豎穴住居跡	268

第229図 SI71 竪穴住居跡出土遺物	268
第230図 SI72 竪穴住居跡(1)	269
第231図 SI72 竪穴住居跡(2)	270
第232図 SI72 竪穴住居跡出土遺物(1)	271
第233図 SI72 竪穴住居跡出土遺物(2)	271
第234図 SI73 竪穴住居跡	273
第235図 SI74 竪穴住居跡	274
第236図 SI74 竪穴住居跡出土遺物(1)	275
第237図 SI74 竪穴住居跡出土遺物(2)	276
第238図 SI75 竪穴住居跡	277
第239図 SI75 竪穴住居跡出土遺物	279
第240図 SI76 竪穴住居跡	280
第241図 SI77 竪穴住居跡	280
第242図 SD33・34溝跡	282
第243図 SD33・34溝跡断面図	283
第244図 SD33出土遺物	284
第245図 SD34出土遺物	284
第246図 遺構外出土遺物(1)	285
第247図 遺構外出土遺物(2)	286
第248図 遺構外出土遺物(3)	287
第249図 遺構外出土遺物(4)	288
第250図 遺構外出土遺物(5)	288
第251図 遺構外出土遺物(6)	289
第252図 SK 5 土器埋設遺構	290
第253図 SK 5 土器埋設遺構出土遺物(1)	291
第254図 SK 5 土器埋設遺構出土遺物(2)	292
第255図 SK 5 土器埋設遺構出土遺物(3)	292
第256図 SK 5 土器埋設遺構出土遺物(4)	293
第257図 IV層・V層出土遺物(1)	294
第258図 IV層・V層出土遺物(2)	295
第259図 IV層・V層出土遺物(3)	296
第260図 IV層・V層出土遺物(4)	297
第261図 IV層・V層出土遺物(5)	297
第262図 IV層・V層出土遺物(6)	298
第263図 IV層・V層出土遺物(7)	299
第264図 IV層・V層出土遺物(8)	300
第265図 その他の弥生時代出土遺物(1)	302
第266図 その他の弥生時代出土遺物(2)	303
第267図 その他の弥生時代出土遺物(3)	304

第268図 その他の弥生時代出土遺物(4)	306
第269図 その他の弥生時代出土遺物(5)	307
第270図 その他の弥生時代出土遺物(6)	308
第271図 その他の弥生時代出土遺物(7)	309
第272図 その他の弥生時代出土遺物(8)	310
第273図 その他の弥生時代出土遺物(9)	311
第274図 その他の弥生時代出土遺物(10)	312
第275図 その他の弥生時代出土遺物(11)	313
第276図 その他の弥生時代出土遺物(12)	314
第277図 その他の弥生時代出土遺物(13)	315
第278図 その他の弥生時代出土遺物(14)	316
第279図 その他の弥生時代出土遺物(15)	318
第280図 その他の弥生時代出土遺物(16)	319
第281図 その他の弥生時代出土遺物(17)	320
第282図 その他の弥生時代出土遺物(18)	321
第283図 その他の弥生時代出土遺物(19)	322
第284図 その他の弥生時代出土遺物(20)	323
第285図 その他の弥生時代出土遺物(21)	324
第286図 その他の弥生時代出土遺物(22)	325
第287図 その他の弥生時代出土遺物(23)	326
第288図 その他の弥生時代出土遺物(24)	327
第289図 その他の弥生時代出土遺物(25)	328
第290図 その他の弥生時代出土遺物(26)	329
第291図 その他の弥生時代出土遺物(27)	330
第292図 その他の弥生時代出土遺物(28)	331
第293図 その他の弥生時代出土遺物(29)	332
第294図 その他の弥生時代出土遺物(30)	333
第295図 その他の弥生時代出土遺物(31)	334
第296図 その他の弥生時代出土遺物(32)	335
第297図 その他の弥生時代出土遺物(33)	336
第298図 その他の弥生時代出土遺物(34)	337
第299図 接合資料(1)	340
第300図 接合資料(2)	341
第301図 接合資料(3)	342
第302図 接合資料(4)	343
第303図 接合資料(5)	344
第304図 接合資料(6)	345
第305図 接合資料(7)	346
第306図 接合資料(8)	347

第307図 接合資料(9).....	348	第335図 縄文時代出土遺物(5).....	379
第308図 接合資料(10).....	349	第336図 縄文時代出土遺物(6).....	380
第309図 接合資料(11).....	350	第337図 縄文時代出土遺物(7).....	381
第310図 接合資料(12).....	351	第338図 縄文時代出土遺物(8).....	382
第311図 接合資料(13).....	352	第339図 (図1) 2区第3試掘区における プラント・オパール分析結果	389
第312図 接合資料(14).....	353	第340図 (図2) 2区第8試掘区における プラント・オパール分析結果	390
第313図 接合資料(15).....	354	第341図 (図3) 長町駅東遺跡、2区第5試掘区に おける花粉ダイアグラム.....	393
第314図 接合資料(16).....	355	第342図 (図1) 長町駅東遺跡2B区下層の 主要花粉分布図.....	399
第315図 接合資料(17).....	356	第343図 (図2) 長町駅東遺跡2B区下層における 樹木花粉量、微粒炭量及び堆積物の特性	400
第316図 接合資料(18).....	357	第344図 (図版1) 長町駅東遺跡2B区より 産出した花粉化石.....	401
第317図 接合資料(19).....	358	第345図 遺構重複関係図.....	403-404
第318図 接合資料(20).....	359	第346図 各期竪穴住居跡・溝跡出土遺物(1) ..	412-413
第319図 接合資料(21).....	360	第347図 各期竪穴住居跡・溝跡出土遺物(2) ..	414-415
第320図 接合資料(22).....	361	第348図 各期竪穴住居跡・溝跡出土遺物(3) ..	416-417
第321図 接合資料(23).....	362	第349図 各期竪穴住居跡・溝跡出土遺物(4) ..	418-419
第322図 接合資料(24).....	363	第350図 各期竪穴住居跡・溝跡出土遺物(5) ..	420-421
第323図 接合資料(25).....	364	第351図 各期竪穴住居跡・溝跡出土遺物(6) ..	422-423
第324図 接合資料(26).....	365	第352図 各期竪穴住居跡・溝跡出土遺物(7) ..	424-425
第325図 接合資料(27).....	366	第353図 各期竪穴住居跡・溝跡出土遺物(8) ..	426-427
第326図 接合資料(28).....	367	第354図 各期竪穴住居跡・溝跡出土遺物(9) ..	428-429
第327図 接合資料(29).....	368	第355図 各期竪穴住居跡・溝跡出土遺物(10) ..	430-431
第328図 下層調査土層堆積図.....	371・372		
第329図 IX層遺物出土状況.....	373		
第330図 XI層・XII層遺物出土状況	374		
第331図 縄文時代出土遺物(1).....	375		
第332図 縄文時代出土遺物(2).....	376		
第333図 縄文時代出土遺物(3).....	377		
第334図 縄文時代出土遺物(4).....	378		

第1章 調査にいたる経過

1. 調査事由

長町駅東道跡は、仙台市太白区長町に計画された「あすと長町土地区画整理事業」に伴い実施された確認調査によって発見された道跡である。

仙台市教育委員会と事業主体者である住宅・都市整備公団（現 独立行政法人都市再生機構）は事業地内における埋蔵文化財の取り扱いについて協議を行い、計画路線にかかる西台畑道跡・長町駅東道跡・郡山道跡について発掘調査を実施することとなった。

発掘調査は事業計画の進行に合わせて実施することとし、平成10年の西台畑道跡の調査から開始した。長町駅東道跡については、平成13年から区画整理事業の幹線道路となる副都心大通り線を対象として、計画路線の南側から調査を開始し、平成16年度まで調査を実施した。

その間、副都心大通り線整備事業については、一部区間が一般国道4号線拡幅事業として国土交通省仙台河川国道事務所が直接施工することになり、平成13年度から15年度調査区（第1次～第3次調査）については、国土交通省と委託契約を締結し調査を実施した。

長町駅東道跡年度別調査成果一覧

調査年度	調査回数	調査区	調査成果
平成13年	1次調査	1区・2A区・2B区	住居跡24軒・掘立柱建物跡2棟・溝跡・土坑
平成14年	2次調査	2B区下層調査・3A区	住居跡53軒・掘立柱建物跡3棟・溝跡・土坑
平成15年	3次調査	3A区下層調査・3B区	住居跡60軒・掘立柱建物跡5棟・区画施設
平成16年	4次調査	4区	住居跡78軒・掘立柱建物跡18棟・区画施設
平成17年	5次調査	5区(40街区・道路)	住居跡11軒・溝跡11条・土坑・河川跡
平成18年	6次調査	5区(40街区・道路)	住居跡21軒・溝跡42条・土坑・河川跡
平成19年	7次調査	5区(40街区・道路)	溝跡21条・小溝状遺構群・土坑・河川跡
	8次調査	41街区・マンション建設	溝跡6条・河川跡

2. 調査要項

道 跡 名：長町駅東道跡(仙台市文化財登録番号C-317)

所 在 地：仙台市太白区長町六丁目

平成13年度

調査期間：2001年(平成13年)6月7日～2001年(平成13年)12月21日

調査主体：仙台市教育委員会

調査担当：仙台市教育委員会文化財課調査係 佐藤 淳 大倉秀之

調査対象面積：15,200㎡

調査面積：確認調査面積2,134㎡(実調査面積363㎡)

本調査面積：2A区 180㎡ 2B区 700㎡

平成14年度

調査期間：2002年(平成14年)4月10日～2002年(平成14年)12月20日

調査主体：仙台市教育委員会

調査担当：仙台市教育委員会文化財課調査係 工藤信一郎 佐藤 淳 中山 純
本調査面積：3A区約1,600㎡

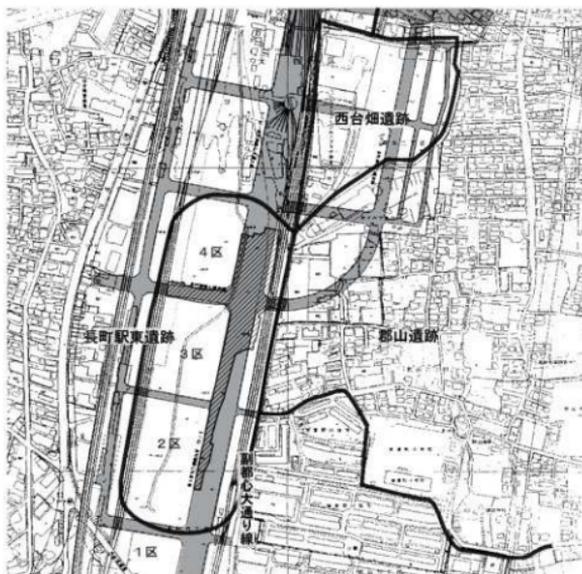
整理体制

平成19年度

整理担当：仙台市教育委員会文化財課調査係 工藤信一郎 主浜光朗

整理室：国際航業株東北調査事務所

整理体制：統括責任者 竹内俊之 主任調査員 前川雅夫 調査員 平田貴正 利屋 勉 武田芳雅
調査補助員 鷗久森 彬



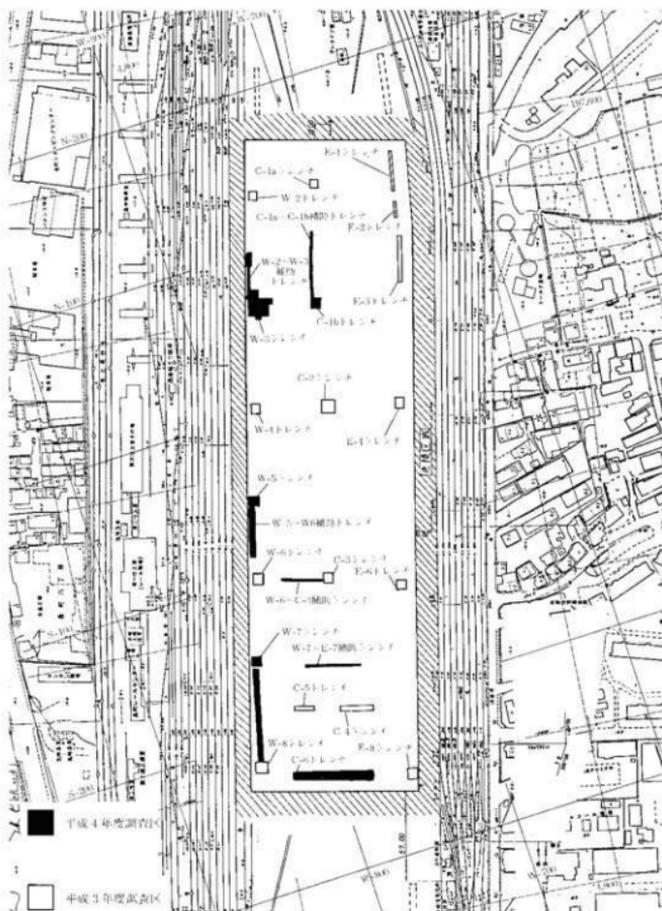
第1図 調査区位置図

3. 確認調査の実施(平成3年・4年)

この事業計画地域の中にあつて、長町貨物ヤード跡地を含む国鉄清算事業団所有地は約30haの面積があり、整備計画の立案、実施のうえで重要な位置を占めていた。そこで、今後この地域で副都心整備が進められるにあたり、遺跡の存在の有無、範囲の広がり等を早急に把握する必要がある。

平成2年11月に、仙台市文化財課、仙台市都市整備局整理課、国鉄清算事業団の三者により、長町貨物ヤード跡地に立ち入り、現地の視察を行なった。その後の協議により、平成3年度及び4年度に、今後の調査の実施方法を検討するため、遺跡の密度、様相、基本層序などをみる試掘調査を実施することになった。

確認調査のトレンチは、平成3年に15ヶ所、平成4年に9ヶ所設定し、調査を実施した(第2図)。その結果、

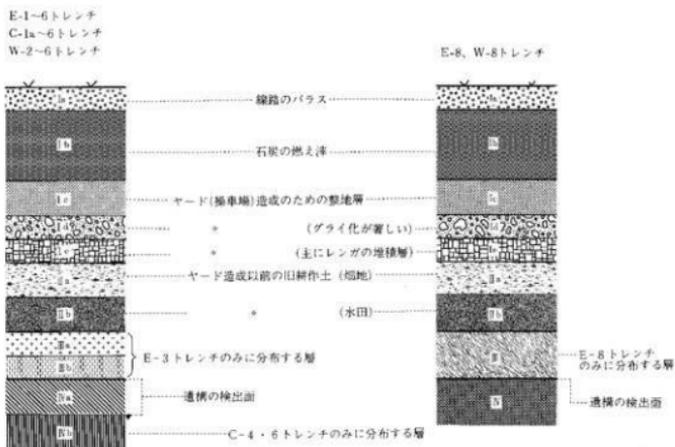


第2図 試掘調査トレンチ(平成3年・4年)配置図

竪穴住居跡・掘立柱建物跡・溝跡などが検出されたことから、「長町駅東遺跡」として登録された。遺構の年代については、検出時に出土した土器類が隣接する郡山遺跡と同じ状況を示していることから、7世紀後半から8世紀の年代が考えられた。

試掘調査の成果

平成3年度	検出遺構	平成4年度	検出遺構
E-3トレンチ	溝跡1条、ピット	C-1bトレンチ	竪穴住居跡2軒、溝跡3条、ピット
E-4トレンチ	竪穴住居跡2軒、溝跡、ピット	W-3トレンチ	掘立柱建物跡2棟、竪穴住居跡7軒、溝跡3条
E-8トレンチ	溝跡1条、性格不明遺構	W-5～W-6補助トレンチ	河川跡
C-2トレンチ	竪穴住居跡2軒、溝跡、小溝状遺構	W-7～E-7トレンチ	河川跡
C-3トレンチ	竪穴住居跡2軒、溝跡、小溝状遺構	W-6～C-3補助トレンチ	河川跡、小溝状遺構
C-4トレンチ	溝跡、小溝状遺構	C-6トレンチ	河川跡
W-4トレンチ	竪穴住居跡1軒、溝跡		
W-8トレンチ	溝跡1条		

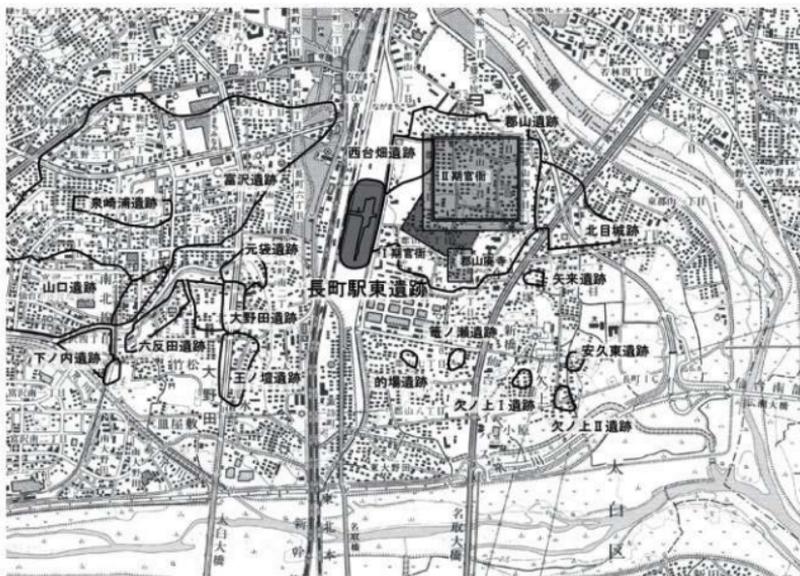


第3図 試掘調査トレンチ土層模式図

第2章 遺跡の立地と環境

1. 長町駅東遺跡の歴史的環境

長町駅東遺跡は仙台市南東部、太白区長町六丁目付近に広がる遺跡である。JR東北本線と太白区郡山六丁目の住宅地にはさまれ、遺跡範囲は南北480m、東西200mで総面積は約90,000㎡に及ぶ。当遺跡の北側に集落遺跡としての西台畑遺跡、西側に名取川と広瀬川にはさまれた後背湿地に位置する富沢遺跡、東側に郡山低地に位置する多賀城の前身である官街遺跡としての郡山遺跡がある。郡山遺跡は、7世紀中頃～8世紀前半にかけての官街の跡であり、7世紀中頃～7世紀末の古代陸奥国の建国に関わった重要な城柵跡であるⅠ期官街、8世紀前半の多賀城造営以前の陸奥国府であるⅡ期官街の二時期に分かれる。また、Ⅱ期官街跡の南には、Ⅱ期官街と基準軸を同じくし、同時期に造営され、Ⅱ期官街に遅れて8世紀の中頃に廃絶された郡山廃寺が位置している。Ⅰ期官街の施設の造営基準方位は、N-50°-60°-Wを指し、Ⅱ期官街の造営基準方位はほぼ真北を指す。これらの施設を擁する郡山遺跡は平成18年7月「史跡仙台郡山官街遺跡群 郡山官街遺跡 郡山廃寺跡」として国史跡指定を受けた。現在までに270軒余の竪穴住居を検出している長町駅東遺跡は、100軒に及ぶ竪穴住居を検出した西台畑遺跡と同様、出土土器の年代幅などからこの二時期にわたる官街と消長をともした集落遺跡であることが次第に判明しつつある。なお周辺の遺跡と歴史的環境の詳細については、仙台市文化財調査報告書第315集「長町駅東遺跡第4次調査」(2007)を参照していただきたい。



第4図 長町駅東遺跡と周辺の遺跡

第3章 調査の方法と概要

1. 調査の方法

(1) 調査区の設定

調査対象となる旧国鉄長町貨物ヤード跡地内は、平成3年・4年に実施した確認調査から、貨物ヤード造成に伴う大規模な攪乱を受け遺構面に大きな影響を受けていることが想定された。協議の結果、長町駅東遺跡の調査は、区画整理事業地内を南北に縦断する副都心大通り線を対象に開始することとなった。調査区の設定にあたり、対象となる副都心大通り線に直行する道路との交差点部分を調査区境とし、南側から1区・2区・3区・4区と呼称することにした(第1図)。本調査区の設定にあたっては、事前に試掘トレンチによる確認調査を行い、遺構遺存状況及び範囲を確認し、調査計画をたてることにした。

(2) 平成13年度調査

調査の初年度となる13年度調査の開始に当たり、計画路線幅40m内で南側の1区に6ヶ所、北側の2区に9ヶ所の計15ヶ所のトレンチを設定し調査を行った。

その結果以下のような知見が得られた。

- ①南側1区については、河川跡に伴う堆積土あるいは大規模な攪乱が確認され、大通り線路線内においては遺構面が存在しないと判断される。
- ②2区についても、削平により遺構面の遺存状態が悪く、確認調査により遺構の残存が確認された2ヶ所を拡張し調査を実施する。
- ③2区の北側のトレンチ2ヶ所(5・6トレンチ)では古代の遺構面は消失していたが、下層から縄文時代の遺物包含層を確認した。

確認調査の結果を受け、1区については確認調査により調査を終了し、遺構の残存が確認された2区の2ヶ所を拡張し、それぞれ2A区、2B区として調査を実施した。2B区の下層調査のうち、弥生時代の調査については13年度で終了したが、縄文時代の調査については、14年度に実施することとした。

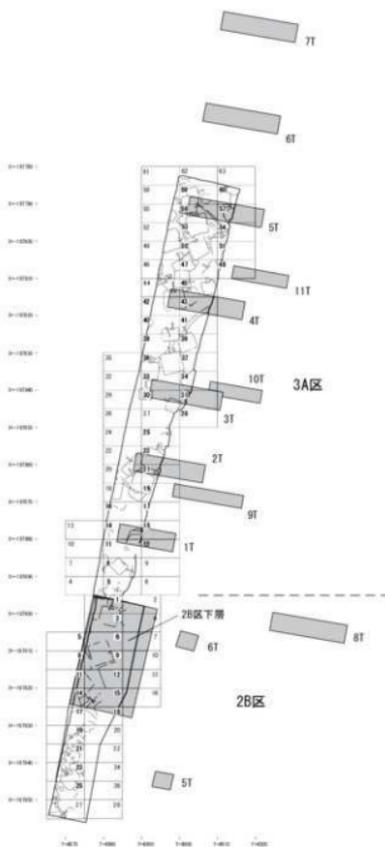
(3) 平成14年度調査

13年度同様に、3区を対象に事前に試掘トレンチによる確認調査を行い、遺構面の遺存状況を確認し、調査計画をたてることにした。

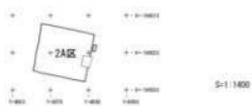
確認調査は、計画路線幅40m内に計11ヶ所のトレンチを設定し調査を行った。その結果以下のような知見が得られた。

- ①東半部については、昨年に続く大規模な攪乱が確認され、古代の遺構面が存在しないと判断される。
- ②西半部については、遺構面が残存しており、2B区同様に住居跡が密集していることが想定される。
- ③2B区同様に、下層から縄文時代の遺物包含層が確認される可能性が高い。

確認調査の結果を受け、3区のうち西半部から遺構の残存が確認された範囲を3A区として調査を実施し、路線幅全域に遺構面が広がる北側を3B区とし、3B区と3A区の下層調査のうち、縄文時代の調査については、15年度に実施することとした。



4T



第5図 グリッド配置図

2. 調査概要

(1) 調査経過

重機による本調査区の表土除去作業を開始し、遺構検出作業および一部の遺構の掘り込み作業を実施した。

今回の調査成果の公開のため、11月15日に報道発表を行い、同17日に現地説明会を開催し、50名を超える参加者があった。

(2) 測量基準・図面の作成

測量は、「平面直角座標系第X系」を基準としている。5×10mを単位とする平面区配図を作成し、遺構図面の作成を行った(第5図)。本文中で遺構の所在位置を示す場合は、この番号をグリッド番号として使用している。

(3) 遺物の取り上げ・調査記録の作成

遺物の取り上げにあたっては、測量基準とした平面区配図の番号をグリッド名として利用した。原則として、5×10m単位で取り上げている。特に必要と認められた遺物については、出土状況とレベルを記録している。

主な遺構については遺構観察カードを作成し、事実記載及び調査時の所見を記録している。

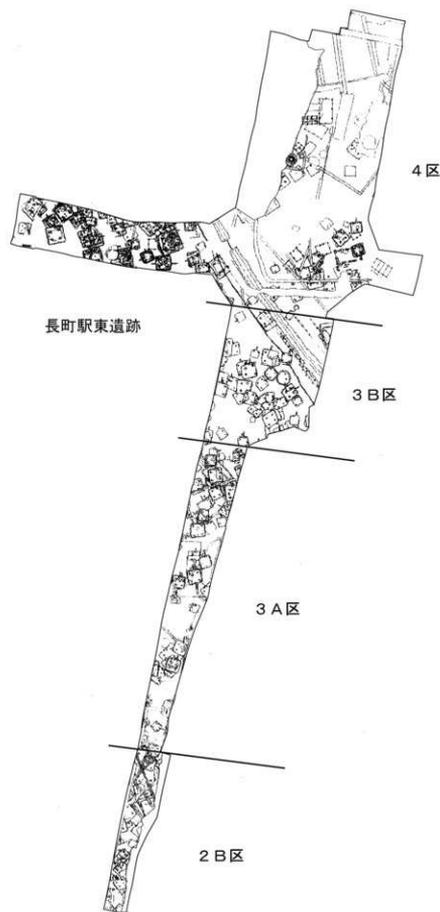
(4) 遺構登録番号

遺構登録番号は、ビット(小柱穴)以外の遺構については、長町駅東遺跡調査開始時からの通し番号とし、13年度に検出された遺構の延長部分と判断された場合は前年度の遺構番号とした。

(5) 調査報告書作成作業

調査報告書作成に伴う整理作業について、委託業務により実施することとした。整理作業は、出土遺物の基礎整理(水洗・注記・接合・修復)、遺構図面基礎整理、記録写真整理までを仙台市が行い、その後国際航業㈱に作業を引き継いだ。

整理は市内に所在する国際航業整理室で行った。出土遺物の登録・実測図作成、遺構・遺物図版の作成及び原稿執筆を行ったが、その間必要に応じて整理作業内容の確認・協議を行った。

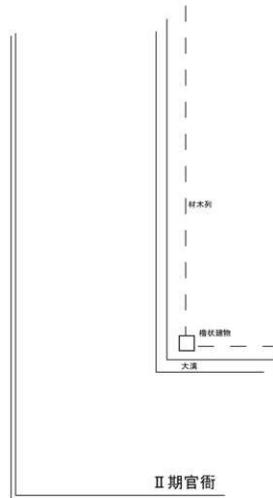
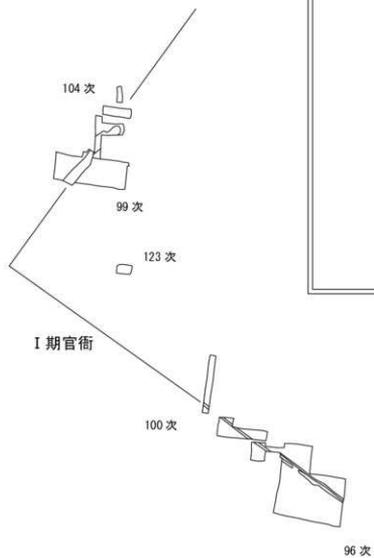


112次
I次

112次
II次

郡山遺跡

136次



第6図 全体図と郡山遺跡

0 (1:1400) 40m

第4章 基本層序(第7・8図)

本遺跡は、旧国鉄貨物ヤードとして利用されていた経緯があり、試掘調査の結果、この地区の全域はかつて貨物ヤードを造成する際に大規模な土取りによる削平を受け、その後大量の炭ガラなどにより3mもの整地が行われていたことがわかった。1～2次調査区についても、東側では、調査区の北～南端までの広範囲に攪乱がみられ、遺構面が壊されていた。

基本層を概観すると、現在までの当該遺跡の試掘及び本調査の所見から、Ⅰ・Ⅱ層は、近世～近・現代にかけての盛土、整地層、Ⅲ層は、本土層中から小溝と一部のピットが掘り込まれていることから、古代末～中世の堆積層であるとされる。次に堅穴を中心とする古代の遺構及び、2B区において調査された弥生時代の土壌は、おなじくⅣ層中で確認・検出されている。一方、Ⅳ層、Ⅴ層中から弥生時代の遺物が相当数出土している。

以上のことを考慮して層序の相対的な時期を述べると、以下のようにまとめることができる。

1. Ⅲ層より上位については、近世以降削平され、その後、後世の客土が流入した。
2. 2B区ではⅣa層が弥生時代の遺構確認面となっていることから、Ⅳ層より上位に古代の堅穴を中心とする古代遺構面と遺物包含層が堆積していたことが考えられるが、後世削平されⅢ層が流入した。
3. Ⅳ層、Ⅴ層中から弥生時代の遺物が相当数出土していることからⅣ層・Ⅴ層も弥生時代の包含層である可能性が高い。

以上の観点から本遺跡の基本層と検出遺構及び出土遺物の関係を考えてみなければならない。

ここでは2B区・3A区の調査区西壁面で観察された土層をもとに基本層として記述する。なおⅦ層以下は第6章3節4項の下層調査で述べる。

Ⅰ層：旧国鉄の操車場に関する近代の盛土で、3層に細分される。Ⅰa層は径5cmの円礫を含む砕石盛土層である。

Ⅰb層は炭ガラによる盛土層で、調査区中ほどから東側にかけて最大で2mの土盛がされ、Ⅱb層中まで削平している。Ⅰc層は一部にみられるⅥ層類似の黄褐色土の盛土層である。

Ⅱ層：近世から近代の盛土・整地層で、2層に細分される。Ⅱa層は暗褐色シルトブロックを含む暗褐色の砂質シルトで、筒所によって炭化物の混入がみられる。調査区全域で認められた。層厚は10～40cmである。Ⅱb層はにぶい黄褐色・黒褐色のブロックを多量に含む褐色の砂質シルトで、2B区南壁で認められた。

Ⅱa層下部では2mおきに溝状の落ち込みが認められ、これは近代における何らかの建物の基礎の痕跡とみられる。また近年、畑耕作土として利用されていた。

Ⅲ層：中世～古代末頃までの堆積層で、2層に細分される。Ⅲa層はⅣ層ブロックを含む黒褐色の砂質シルトで、調査区全域で認められる。層厚は10～40cmである。Ⅲb層は3A区南・SI 32上から北側でみられ、暗褐色砂質ブロックを多量に含む暗褐色の砂質シルトである。層厚は10～30cmである。

Ⅲ層中より溝・小溝が掘り込まれている。一部堅穴住居跡内に落ち込む。Ⅲa・Ⅲb層共に、下面に著しい起伏が認められる。局地的に存在しているⅢb層は整地層である可能性がある。

Ⅳ層：2層に細分される。Ⅳa層は暗褐色シルトを多量に含むにぶい黄褐色の砂質シルトで、層厚は10～30cmで

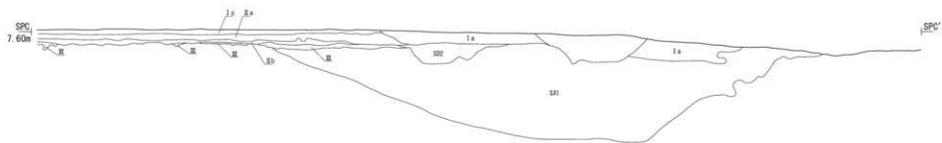
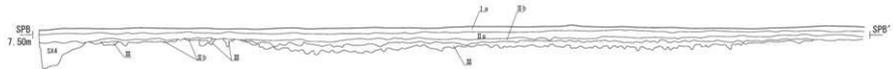
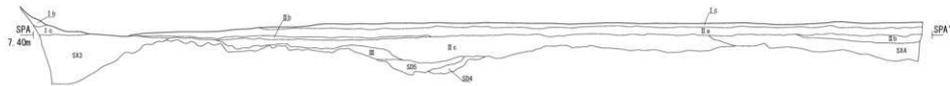
ある。3A区中央より北側では、上層による削平を受け、堆積が認められない。IV b層は黒褐色シルトブロックを含む褐色の砂質シルトで、層下半は砂質が強い。層厚は5～30cmである。

IV層は古代の遺構検出面で、古代の多数の遺構群が掘り込まれている。また2B区においてIV a層中からは弥生時代の土坑墓が検出されている。

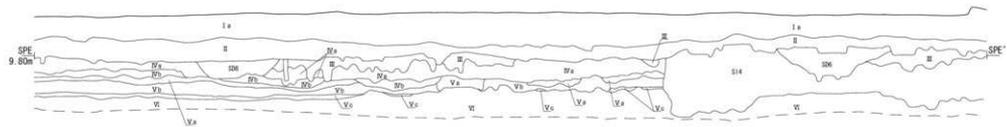
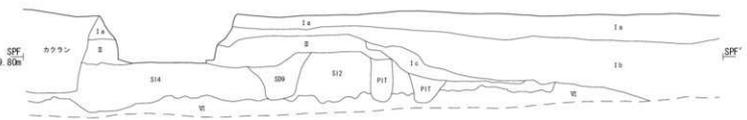
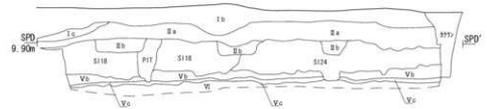
V層：弥生時代の堆積層で、3層に細分される。V a層はにぶい黄褐色の砂で、層厚は5～20cmである。V b層は褐色の砂で、2B区ではシルト質土層をはさむ箇所がある。層厚は5～30cmである。V c層はにぶい黄褐色の砂で、層厚は5～10cmである。

V a・V c層共に上面による削平を受け、一部にのみ堆積が認められる。

VI層：自然堆積層で、1層のみ確認された。にぶい黄褐色の粘土質シルト或いは砂質シルトで、マンガン斑が全体的に顕著である。部分的にシルト質が強い箇所や砂質の強い箇所がある。



2A区基本土層

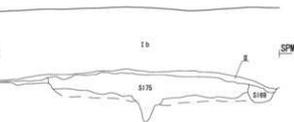
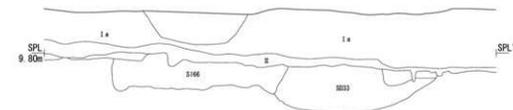
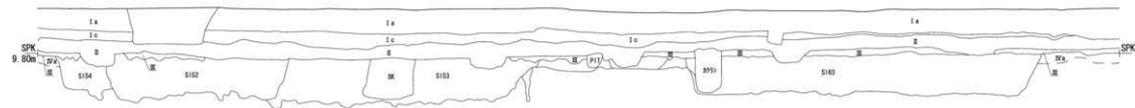
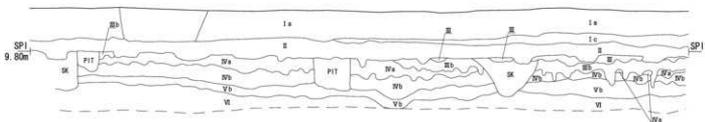
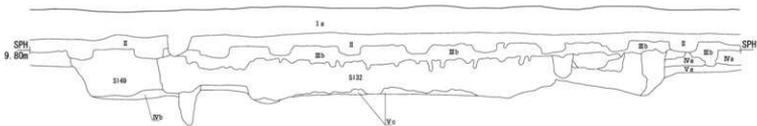
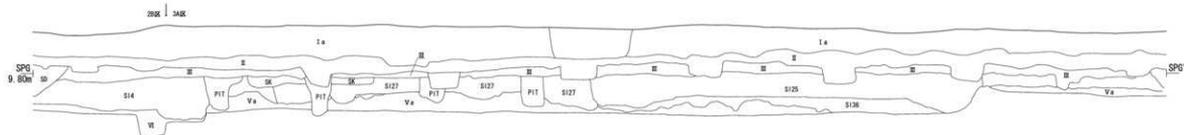


2B区基本土層

第7図 2区基本土層図

2A区基本層序土層目録表(AA'-CC')			
層位	土色	土質	備考
I.a		砂質シルト	砂質土層が部分的にみられる
I.b	2.5YR5/1 黄灰色	砂質シルト	砂質土層が部分的にみられる
I.c	5YR5/4 灰色	砂質シルト	層下半に酸化鉄塊結晶あり
II.a	10YR5/2 灰黄褐色	シルト	黄褐色砂質土ブロックを層上半に部分的に含む
II.b	10YR4/2 灰黄褐色	シルト	上面に結晶あり。II.a層よりやや暗い色調
II.c		砂質シルト	
III	2.5Y2/1 黒褐色	粘質シルト	II層との間に灰白色灰山灰をブロック状に含む
IV	10YR5/3 濃い黄褐色	シルト	酸化鉄塊を多量含む

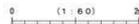




2B-3A区基本層序土層柱記表 (OG—MM)

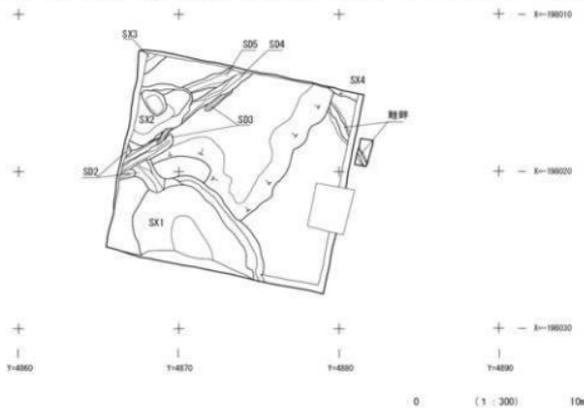
層記	土色	土性	備考
I a			φ5cm内の円礫(玉石)を露に含む緩土層
I b			炭ダテによる緩土層
I c			団粒構造の緩土層 一部分のみに存在
II	10YR3-3 暗褐色	砂質シルト	暗褐色シルト(アロパ)を基分的に含む 緩層序(下面に数条の線状土なる)
III a	10YR4-4 褐色	砂質シルト	に濃い黄褐色-黒褐色のアロパを多量に含む 近年の緩層序土
III b	10YR3-3 黒褐色	砂質シルト	下面の起伏著しく、草層アロパを若干に多量含む 部分砂層構造
III c	10YR3-4 暗褐色	砂質シルト	暗い砂質アロパを多量含む 下面に著しい塊れあり(耕作上の可塑性もあり)
IV a	10YR4-3 に濃い黄褐色	砂質シルト	暗褐色シルトを基的に多量に含む
IV b	10YR4-6 褐色	砂質シルト	IV a層より粘性あり 層下平砂質強い
V a	10YR4-3 に濃い黄褐色	砂質(細砂)	
V b	10YR4-4 褐色	砂質(細砂)	10YR4-4シルト質土層をはき合(線状あり)
V c	10YR3-3 に濃い黄褐色	砂質(細砂)	
VI	10YR5-3 に濃い黄褐色	粘土質シルト	砂質土層をはき合

第8図 3A区基本土層図



第5章 2A調査区の検出遺構と出土遺物(第9～17図)

試掘調査時の3Tを拡張し、2A区として調査を行なった。標高7.6m以上は大きく攪乱を受けており、それ以下のグライ化したシルト層の面で溝跡・性格不明遺構とした大型の掘り込み・畦畔が検出された。検出面については、2B区下層調査におけるⅣ層付近に相当するものと考えられる。これらの遺構に関しては、縄文時代の厳密な区別が困難である。遺物は溝跡・性格不明遺構の遺構内・外から出土しており、主要なものだけを記載した。



第9図 2A区遺構配置図

(1) 溝跡

5条の溝跡を確認した。いずれも性格は不明である。SD5の周囲からは杭列が検出された

SD1 溝跡(第10図)

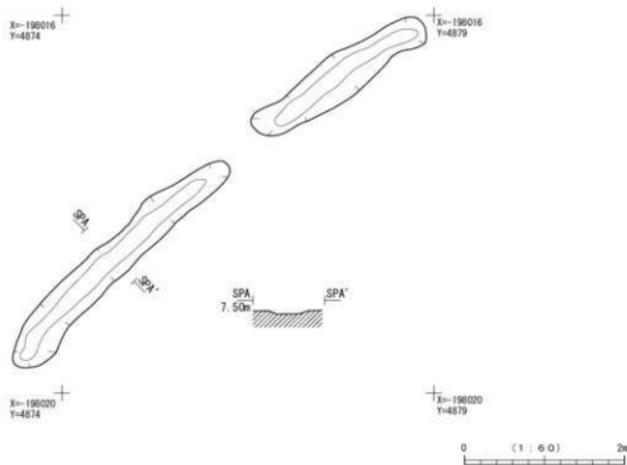
2A区北東部、Ⅱb層及びⅡc層上面で確認した。他遺構との重複関係は無い。途中切れているが、検出長は6.6mで、上端幅は36～57cm、下端幅14～20cm、深さは深い箇所でも5cmにも満たない。断面形状は不明である。本来はより深さがある溝跡とみられる。溝跡の方向は北側でN-58°-E、南側で48°程度と南東側が多少湾曲している。堆積土は砂礫の混入するⅠ層のみで、この層は基本層中には確認できない。

掲載した遺物はない。

SD2 溝跡(第11図)

2A区西側、Ⅳ層上面で確認した。SD3・4に切られており、また南東側に位置するSX1を切っているものと考えられる。SX1との重複部分については当初、同時存在とみられたが、調査区南壁断面から重複関係にあるものと判断した。残存部分での検出長は3m程度で、南壁部分を含めると10m程である。上端幅はSD3付近で1.5m、SX1側で1m程と違いがみられる。深さは25cmであるが、調査区西壁では35cmの残存が確認できた。壁面は急な箇所や緩やかな箇所がある。溝跡の方向はN-40°-W程度である。堆積土は3層で、これは溝中のベル

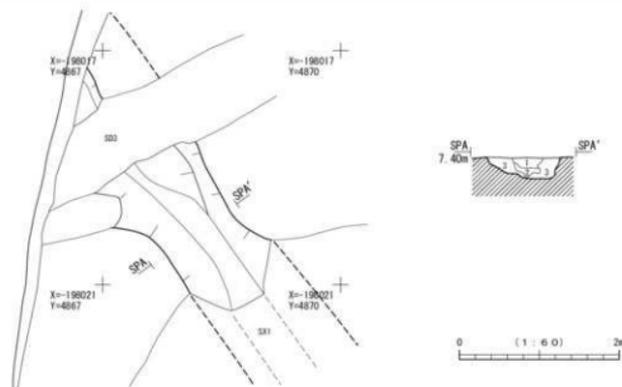
トで観察されたものであるが、これが西壁では3層の黒褐色シルト層のみ、また南壁では1層の褐灰色シルトと2層の灰黄褐色砂質シルト層のみの確認となっており、これらの堆積状況の違いから、溝跡は掘り直されている可能性もある。



第10図 SD1溝跡

SD1 埋土層記表

遺構	層位	土色	土性	備考
SD1	1		砂礫層	



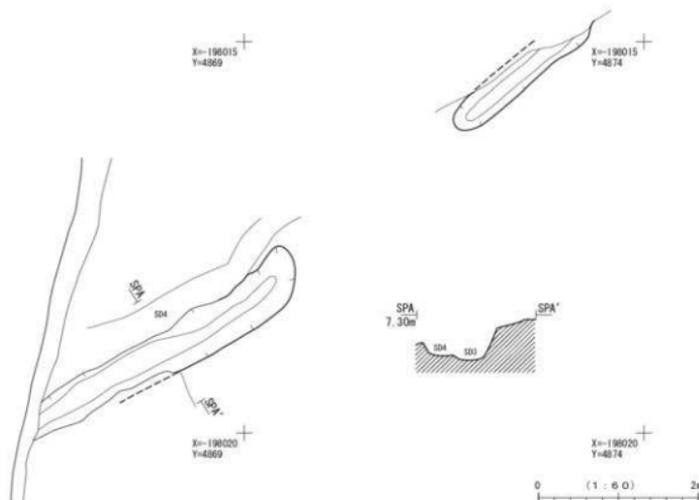
第11図 SD2溝跡

SD2 埋土層記表

遺構	層位	土色	土性	備考
SD2	1	10YR1/4 褐色	シルト	礫化鉄屑を含む
	2	10YR2/4 灰黄褐色	砂質シルト	にぶい黄褐色土ブロック・礫化鉄屑を含む
	3	10YR1/3 黒褐色	シルト	砂質土ブロック・にぶい黄褐色土ブロック・礫化鉄屑を含む

SD3 溝跡(第12図)

2 A区北西側、IV層上面で確認した。SD4・5と共に確認したが、SD4より新しく、SD5との関係は不明である。途中で切れているが、検出長は北側で2m、南側で4m程度である。上端幅は北側で40cm、南側で50～60cm、深さは20cmにも満たないのだが、西壁断面によると深さは50cm以上のものであり、上半部が緩く開く形状の溝跡とみられる。溝跡の方向はN-52°～60°-Eである。堆積土はオリーブ黒色の粘土質シルトの単層である。



第12図 SD3溝跡

SD3 埋土柱記号

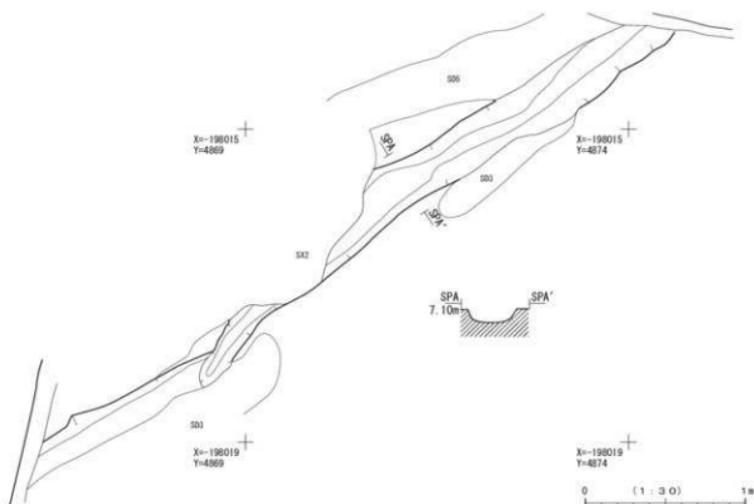
遺構	層位	土色	土性	備考
SD3	I	5Y3.1 オリーブ灰色	粘土質シルト	灰オリーブ砂質土ブロックを部分的に多量に含む

SD4 溝跡(第13図)

2 A区北西側、IV層上面で確認した。SD3・5とSX2に切られる溝跡である。検出長は約10mで、上端幅は重複しない北側で60～70cm、深さは12～28cmを測るが、西及び北壁の断面では60cm以上の残存があったことが伺える。断面形は下半部が急な立ち上がりの逆台形で、上半部はやや緩やかになる。溝跡の方向はN-54°-Eである。堆積土は灰色粘土質シルトの単層で、層下半には砂質土ブロックを含んでいる。

SD5 溝跡(第14図)

2 A区北西側、IV層上面で確認した。SD4を切り、SX2に切られる溝跡である。検出長は3.5mで、上端幅は60～70cm、深さは20cm前後である。断面形は舟底状で、壁面は緩やかに立ち上がるものである。溝跡の方向はN-68°-Eである。堆積土はオリーブ黒色シルト土で、層中に木枝を含んでいる。また溝跡の北壁側には溝跡に伴うとみられる杭列が確認された。杭は腐食が著しく、形状が確認できるのは7本程度であったが、周囲には杭痕跡が幾つか確認できた。これらの杭はいずれも打ち込みによるものである。



第13図 SD4溝跡

SD4 埋土目録表

遺構	層位	土色	土性	備考
SD4	1	7.5YR4/1 灰色	粘性シルト	砂質土アロクを含む

(2) 性格不明遺構

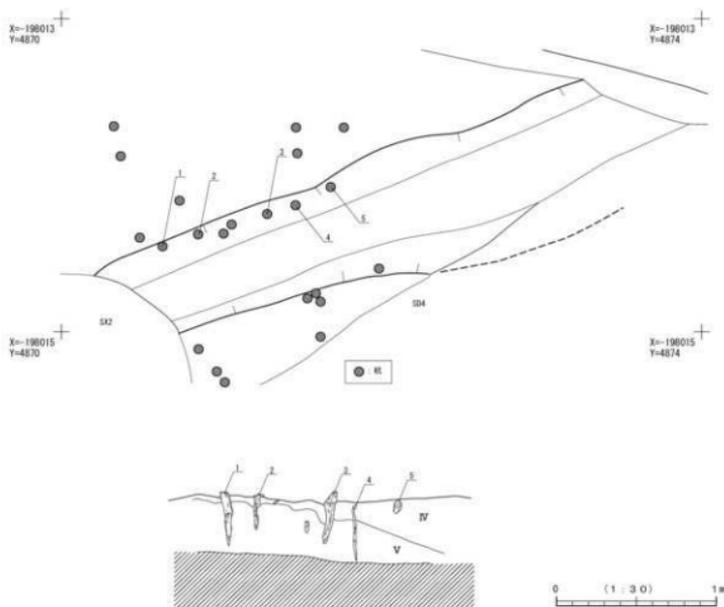
4箇所で大型の掘り込みを検出した。

SX1 性格不明遺構(第15図)

2A区南半、IV層上面で確認した大型の土坑状の窪みである。北西側がSD2と接続した形で確認したことから、当初はSD2と同時存在と考えられたが、断面観察の結果、SX1はSD2に切られることがわかった。南側が調査区外となる為、全体の形状は不明であるが、南壁際で一部閉じ気味となることから、形状は楕円形とみられ、規模は長軸9m、短軸6.5m程度で、深さは1.5mの土坑状プランとみられる。底面は狭いながらも僅かに平坦面を持ち、壁面は全体に緩やかに立ち上がるが、その傾向は東側で顕著で、東壁の上部には全体に幅30～50cmのテラス状となる段が見られる。長軸側の方向はN-30°～40°-Wで、SD2とほぼ同方向を示すが、SD3～5とは直交する形となっている。堆積土は5層確認され、層中位の2層は粘土質シルトと砂質土の互層、3・4層はオリブ黒色の砂質シルト土で、これらはいずれも自然堆積とみられ、その状況から水流のあるものではないことがわかる。また5層は東壁から底面にかけて堆積する砂礫層で、径が10cm程の円礫を多量含んでいる。5層については東側からのみの流入であり、基本層Ⅲ層下にこのような砂礫層を確認することは出来ない。掲載した遺物はない。

SX2 性格不明遺構(第16・19図)

2A区北西部、IV層上面で確認した大型の土坑状の窪みである。断面観察からSD2・4・5より新しい。西側が調査区外の為、全体形状は不明であるがSX1同様に楕円形とみられる。規模は長軸5m程度、短軸は西側の最大



第14図 SD5溝跡

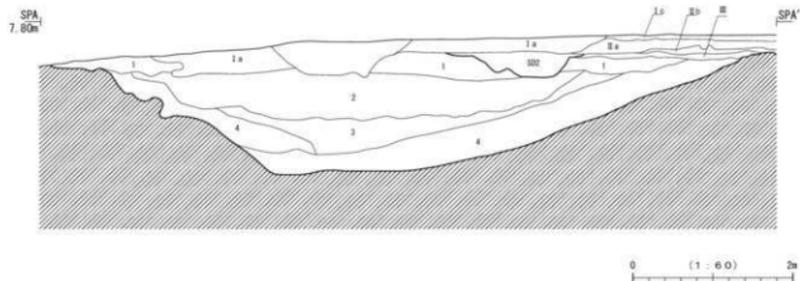
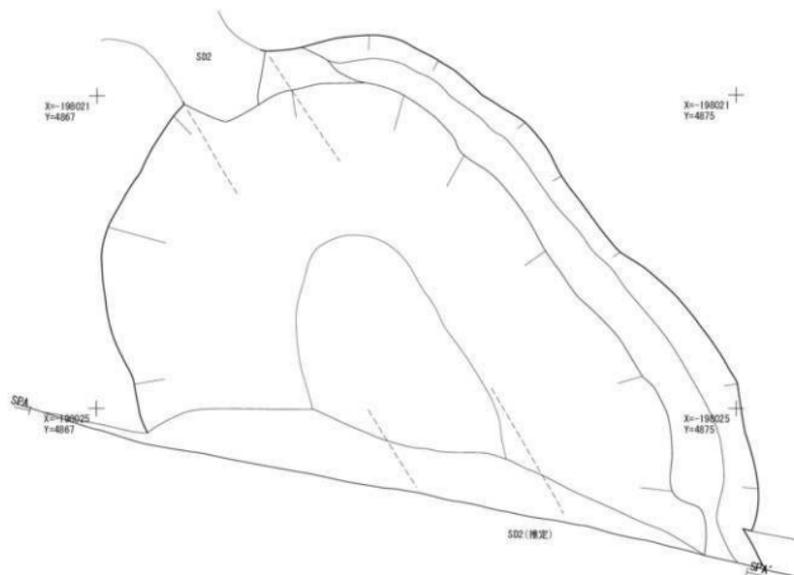
SD5 埋土誌記表

遺構	層位	土色	土性	備考
SD5	1	5Y3.1 オリーブ黒色	シルト	木枝を含む

部で3.5m程度とみられるが、東側が狭い形状である。断面から見て深さは1.1m以上あったとみられる。底面は傾斜をもちながらも一部で平坦面となり、北側寄りには1.8×1.2mの楕円形の窪みが見られる。壁面は全体に緩やかな立ち上がりで、北東側は最も緩くなっている。長軸側の方向はN-68°-E程度で、SD4・5などとほぼ同方向をみせる。堆積土は3層で、1層は黄灰色シルト土の特徴ある層で、2・3層は灰・暗緑灰色の粘質土で、両層とも木枝・葉などの植物遺体を多く含んでいる。層中には砂礫がみられないことから、常に水流のあるものではなかったとみられる。出土遺物は、古銭1点、漆器塊1点を掲載した。古銭は、酸化が激しく古銭路の解説は不能である。漆器は高台部が剥落しているが、黒漆で内外面に朱彩され、草花文などが描かれている。

SX3 性格不明遺構(第17図)

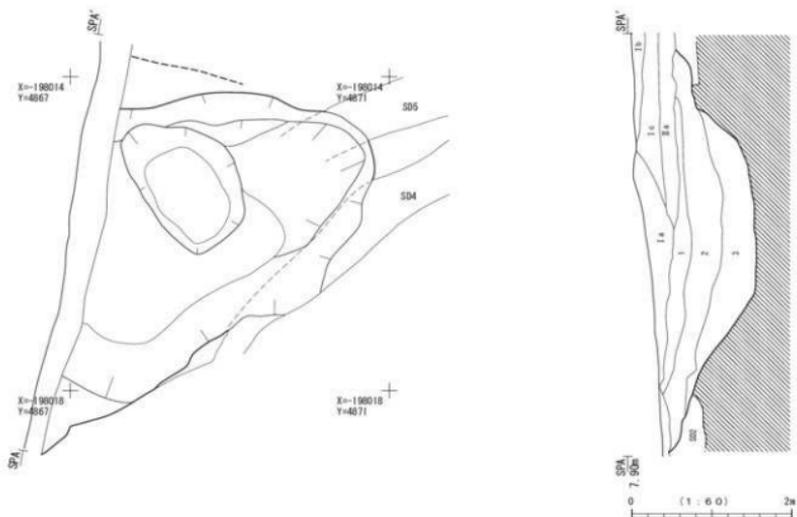
2A区北西隅部、Ⅲ層上面で確認したプランである。他遺構との重複は無い。隅部での確認の為、形状・規模は不明であるが、深さは80cm程度で壁面は緩やかに立ち上がり、溝跡の可能性もある。方向は上端からみるとN-50°-Eである。堆積土は4層で、1層は黒褐色シルト土中に地山ブロックを多量含んでおり、人為的に埋められた層の可能性もある。また2層は細層の互層で、3・4層は色調こそ異なるが、SX2下半層同様に水流の無い状況下での堆積で、遺構内の掘んだ状況が推察される。掲載した遺物はない。



第15図 SX1 性格不明遺構

SX1 埋土層記号

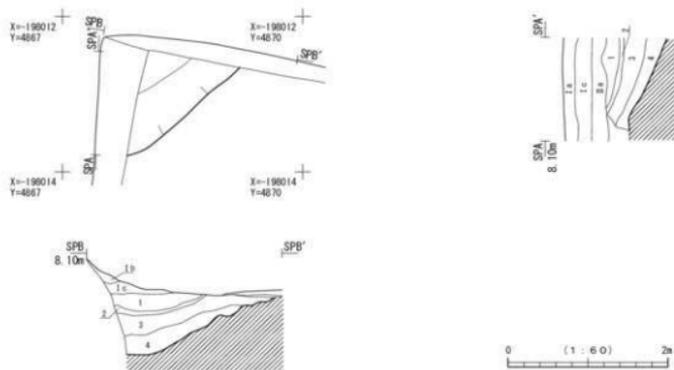
遺構	層位	土色	土性	備考
SX1	1	10YR4/1 暗灰色	シルト	φ2cm内の灰白色砂質土ブロックを層下平に含む
	2	5Y4/1 灰色	粘性シルト	互層 層下平グライ化
		10YR5/4 に近い黄褐色	砂質	
	3	7.5Y3/1 オリーブ灰色	砂質シルト	7.5YR4.6アロック・褐色砂質アロック(粗砂)を含む グライ化
	4	7.5Y3/1 オリーブ灰色	砂質シルト	縦壁が編状になっている
5				φ18cm以内の円礫を含む砂礫層



第16図 SX2性格不明遺構

SX2 埋土柱記表

遺構	層位	土色	土性	備考
SX2	1	2.5YR4/1 黄灰色	シルト	層下に酸化鉄が混入
	2	5Y4/1 灰色	粘質土	砂質土ブロックを層下層、埋物遺体を全体的に含む
	3	7.5GY3/1 暗緑灰色	粘質土	炭化物ブロックを少量、砂質土ブロックを層下層、埋物遺体を含む



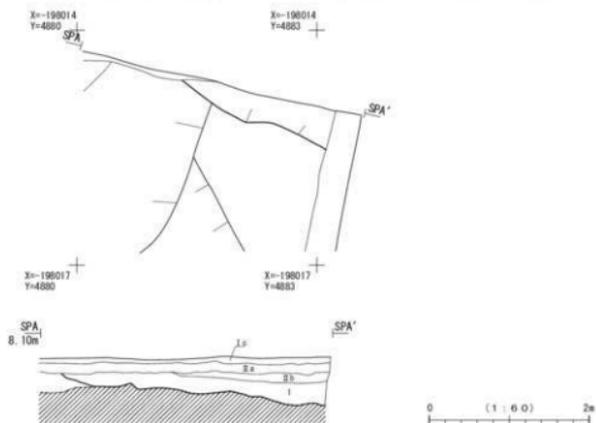
第17図 SX3性格不明遺構

SX3 埋土柱記表

遺構	層位	土色	土性	備考
SX3	1	10YR3/2 黑褐色	シルト	酸化するに深い黄褐色土・黒褐色シルトブロックを多量に含む
	2	2.5Y5/2 暗灰黄色	砂質	1) 酸が数条薄く混入している
	3	2.5Y4/1 黄灰色	シルト	
	4	2.5Y3/1 黒褐色	粘質	砂質土ブロックを層下に少量含む

SX4 性格不明遺構(第18図)

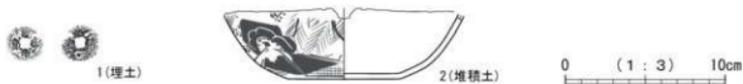
2A区北東隅部、Ⅱc・Ⅲ層上面で確認したプランである。他遺構との重複は無い。調査区北東隅部での確認の為、形状・規模は不明で、溝跡の可能性もある。方向は上端からみるとN-64°-Wである。最上部にⅡb層がのり、堆積土は灰黄褐色シルト土の単層で、層下半には砂質土ブロックをやや多く含んでいる。掲載した遺物はない。



第18図 SX4性格不明遺構

SX4 埋土誌記表

遺構	層位	土色	土性	備考
SX4	I	10YR4/2 灰黄褐色	シルト	砂質土ブロックを層下半にやや多く含む

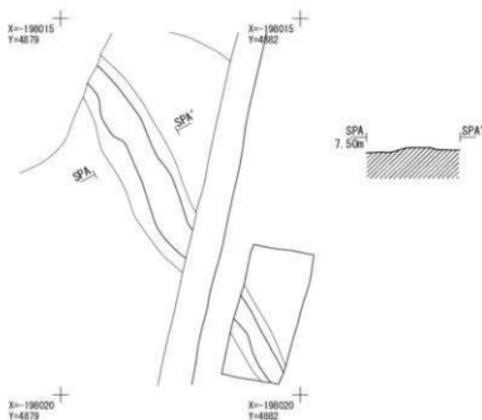


第19図 2A区SX2出土遺物

採取番号	登録番号	出土遺構	層位	種別	材質	備考	写真 掲載
1	N-25	SX2	埋土	銅製品	貨幣	銅元貨?	※
2	L-01	SX2	埋積土	漆器	陶	外周黒色縁の上に赤色漆で単高文、内周黒色漆仕上げ、高台部褐色	※

(3) 水田跡(第20図)

2A区北東部(X-198015～198020;Y4879～4882)、Ⅴ層下面で検出された。規模は上端の幅0.12m～0.14m、下端の幅0.16m～0.21m、検出長1.2mで田面から約2cmの隆起が北西から南東方向に観察されていた。軸方位はN-33°-Wを示し、標高7.46m～7.48mを測る。区画内と思われる箇所に、多くの三日月状もしくは半月状の工具痕が観察された。南東部壁面の田面と思われる部分の下部の層の乱れが観察され、水田跡と認定しこの隆起を畦畔とした。



第20図 水田跡(畦畔状遺構)

第6章 2B・3A調査区の検出遺構と出土遺物

1. 古代～中世の遺構と遺物

今回の調査は、基本層IV層上面を遺構検出面として調査を開始した。遺構の検出状況を概観すると、まず、基本層III層を掘り込む小溝状遺構群および例外はあるにしても、多くの溝跡・土坑・ピットがIV層上面から検出され、その後それらに壊された堅穴建物群・掘立柱建物群などが検出されるという傾向があった。そのため調査段階から古代面上面と古代面下面とを区別し、上面の遺構は、古代から中世前半に、下面のものは郡山郡衛が造営される7世紀半ば前後から8世紀代に帰属する遺構とみなし、調査を行った。本節においても両者を区別する形で報告した。但し、溝跡・土坑・ピットなどから出土した遺物などを詳細にみていくと、これらの遺構の帰属時期の厳密な区別が困難であることが判明したため、殆どのものを一括記載することにした。

(1) 小溝状遺構群(第21～23図)

4次調査において耕作の痕跡と考えられた小溝状遺構は、今次調査では118条の小溝が検出されている。位置はすべて3A区18・19G以北、X=-197870より北側である。

遺構はほとんどの堅穴住居跡を切っており、溝跡に切られている。検出面はIV層上面のものが大半であるが、近年の耕作や土盛りなどによる削平から、より多くの小溝が存在していたことも考えられる。小溝は調査区南半部、中央部、北半部でままとてみられた。

小溝の軸方向を基準として、A群(N-0°-20°-W)、B群(N-25°-40°-W)、C群(N-55・60・70°-85°-W)、D群(N-5・10・20・25°-E)、E群(N-50°-90°-E)に分類した。重複関係からB・D→A→C・Eという変遷の傾向が認められた。

A群

調査区南半部、中央部、北半部全域にみられる。SM5・7・23・26・29・32・41→43・45→47・52・58・59・61→65・69→71・73・75・79・81→84・88→92・94→100・102・104・108・111・117・118の48条で構成される。方向はN-0°-20°-W程度で、検出長32～1112cm、上端幅24～48cm、深さ6～41cm程度の値を示す。堆積土は暗褐色土が主体である。

B群

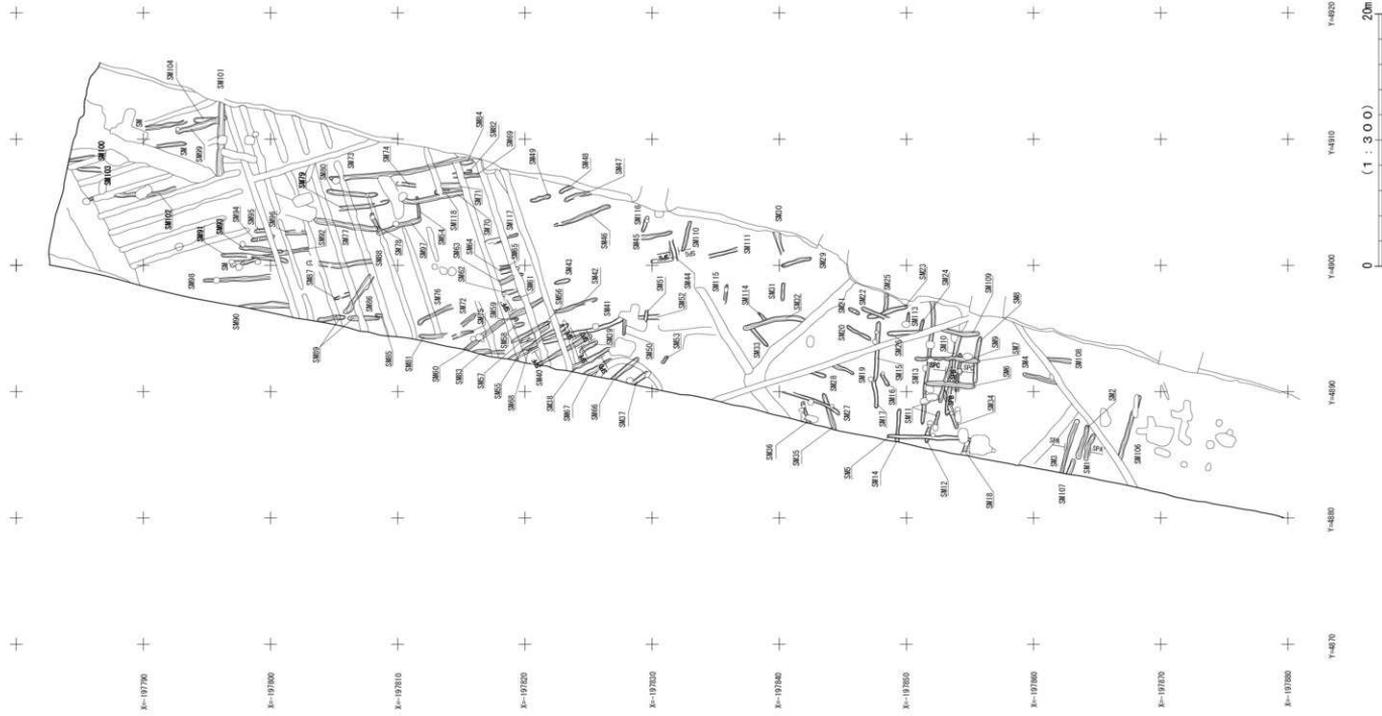
調査区中央部に集中してみられる。SM37→40・48・49・53・55→57・60・66→68・72・76・87・112の18条で構成される。方向はN-25°-40°-W程度で、検出長68～720cm、上端幅20～40cm、深さ9～40cm程度の値を示す。堆積土は黒褐色土・暗褐色土が主体である。

C群

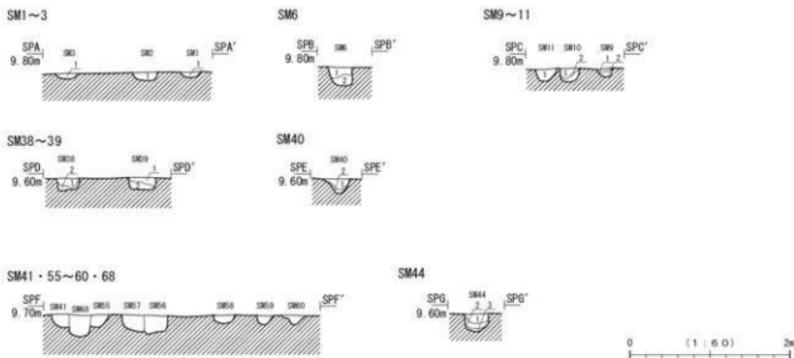
調査区南半部に分布が集中する。SM1→3・8→15・18・24・25・31・50・86・106・107・110・113・115・116の23条で構成される。方向はN-55・60・70°-85°-W程度で、検出長72～980cm、上端幅20～44cm、深さ4～28cm程度の値を示す。堆積土は暗褐色土が主体である。

D群

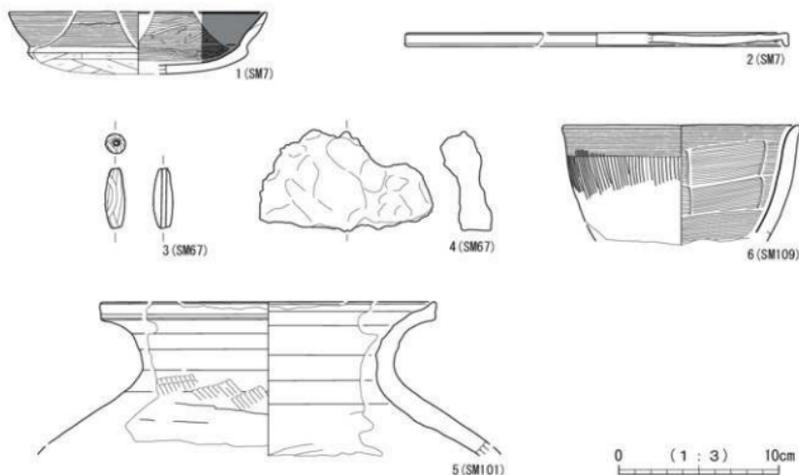
調査区南半部・北半部に分布がみられる。SM4・6・19→22・27・28・74・77・80・85・93・103・109の15条で構成される。方向はN-5・10・20・25°-E程度で、検出長56～508cm、上端幅24～48cm、深さ5～34cm程度の値を示す。堆積土は暗褐色土が主体である。



第21圖 小清秋連構群 3A区



第22图 小溝状遺構群断面図



第23图 小溝状遺構群出土遺物

図録番号	登録番号	出土遺構	部位	種類	器種	口径×底径×器高(cm)	外面調整	内面調整	備考	写真掲載
1	C-377	SM7	残土	土製品	杯	(46.2) × (11.0) × 4.0	1面調整のみ、体部~底部~91°	1面調整~底部~91°	内面黑色地埋	48
2	E-093	SM7	残土	土製品	蓋	(23.7) × × 4.9	2面調整、天牛部調整~91°	2面調整		48
5	E-094	SM101	残土	土製品	甕	(20.7) × × 6.8	2面調整、平行印5目	2面調整		48
6	C-378	SM109	残土	土製品	鉢	(15.0) × × 7.6	1面調整のみ、調整のみ	1面調整のみ、調整のみ		48
図録番号	登録番号	出土遺構	部位	種類	器種	長さ×幅×厚(cm)	重量(g)		備考	写真掲載
3	P-45	SM67	残土	土製品	土練	3.8×径1.2×孔径0.3	5.1	十字、黑色		48
図録番号	登録番号	出土遺構	部位	種類	器種				備考	写真掲載
4	N-27	SM86	残土	土製品	鉄片	長6.3、幅10.8、厚2.5cm				48

E群

方向 N・50・60・70 → 85°・E のものを一括した。SM16・17・30・33 → 36・44・51・54・78・101・114 の13条で構成される。検出長80～564cm、上端幅20～52cm、深さ8～30cm程度の値を示す。堆積土は暗褐色対土・褐色土が主体である。

これまで小溝状遺構は、畑の耕作痕跡と考えられてきた。本調査区においても多くの小溝が同様のものと考えられるが、南半部にみられるような南北方向と東西方向の小溝が直交する様相は、何らかの建物跡に伴うもの可能性も指摘できよう。

溝からの掲載に足る遺物の出土は少ない。SM7から土師器環1点、須恵器蓋1点を掲載した。2の蓋は口径が大きく盤の蓋か、カエリが退化し垂下しはじめる時期のものである。その他では、SM67から土師1点、SM86から鉄滓1点、SM101から須恵器甕1点、土師器碗1点を掲載したにとどめた。

小溝状遺構群A群 観測表

表層No	グリッド	方位	規模	深さ	傾斜	土色	土性	備考	産物
SM5	24-26	N・0°・W	560×32	8	1	10YR3-3 暗褐色	砂質シルト	地山ブロックが多く入っている	SM12-14を切っている
SM7	23-25	N・0°・W	536×36	19.8	1	10YR3-3 暗褐色	砂質シルト	下中に地山ブロックが多く入っている 機上の程がわずかに入っている	SM8・9・10・11-13を切っている
SM21	27	N・30°・W	324×36	18	1	10YR4-4 褐色	砂質シルト	機上の程がわずかに入っている	SM22に切られ、SM25を切っている
SM26	25-27	N・5°・W	248×36	20.7	1	10YR3-3 暗褐色	砂質シルト	地山ブロックが密に入っている	SM24を切っている
SM29	30	N・15°・W	244×36	10.1	1	10YR2-2 におい黄褐色	砂質シルト	下中に地山ブロックが多く入っている	SM27を切っている
SM32	30-33	N・30°・W	480×36	10.9	1	10YR4-4 褐色	シルト	下中に地山ブロックが多く入っている	SM33-34を切っている
SM41	38-40	N・20°・W	920×40	16.5	1	10YR4-3 におい黄褐色	シルト	地山ブロックが多く入っている	SM55に切られている
SM42	38-40	N・20°・W	348×32	17	1	10YR3-3 暗褐色	シルト	下中に地山ブロックが多く入っている	
SM43	40	N・15°・W	128×28	11	1	10YR4-3 におい黄褐色	砂質シルト	地山ブロックが多く入っている	
SM45	37-39	N・30°・W	216×36	6	1	10YR3-3 暗褐色	砂質シルト	地山ブロックが多く入っている	
SM46	39-41	N・30°・W	460×32	8	1	10YR3-4 暗褐色	シルト	地山ブロックが多く入っている	
SM47	39-41	N・20°・W	236×32	15.5	1	10YR3-3 暗褐色	シルト		
SM52	36-38	N・0°・W	100×28	15.7	1	10YR3-3 暗褐色	砂質シルト	下中に地山ブロックがやや多く入っている	
SM56	42	N・30°・W	92×40	17.6	1	10YR3-2 黒褐色			
SM59	42	N・20°・W	32×24	11.4	1	10YR3-2 黒褐色			
SM61	42	N・20°・W	60×32	9.5	1	10YR3-4 暗褐色	砂質シルト	地山ブロックが多く入っている	
SM62	42	N・20°・W	128×40	8.5	1	10YR3-3 暗褐色	シルト	地山ブロックが少し入っている	
SM63	42	N・30°・W	196×36	11	1	10YR3-3 暗褐色	シルト	地山ブロックが少し入っている	
SM64	42	N・15°・W	120×36	8.7	1	10YR4-4 褐色	砂質シルト	地山ブロックが多く入っている	
SM65	42-43	N・15°・W	84×32	7.5	1	10YR4-4 褐色	砂質シルト	地山ブロックが多く入っている	
SM69	43-45	N・5°・W	212×28	11.5	1	10YR3-4 暗褐色	シルト	下中に地山ブロックが多く入っている	
SM70	43-45	N・0°・W	472×36	19.2	1	10YR3-3 暗褐色	シルト	地山ブロックが少し入っている	SM64-118を切っている
SM71	45	N・0°・W	136×44	60.9	1	10YR3-4 暗褐色	シルト	地山ブロックが少し入っている	
SM73	43-45-47-50	N・10°・W	1112×40	22.2	1	10YR3-3 暗褐色	シルト		
SM75	42-44	N・20°・W	180×32	9.8	1	10YR3-4 暗褐色	シルト	下中に地山ブロックが多く入っている	
SM79	47	N・5°・W	302×32	15.2	1	10YR3-4 暗褐色	シルト	下中に地山ブロックがやや多く入っている	
SM81	44	N・0°・W	200×32	14.5	1	10YR3-3 暗褐色	シルト	地山ブロックが多く入っている	
SM82	43	N・5°・W	68×24	4.2	1	10YR4-4 褐色	砂質シルト	地山ブロックが少し入っている	
SM83	42	N・0°・W	236×36	16.5	1	10YR4-4 褐色	シルト	地山ブロックが多く入っている	
SM84	43-45	N・10°・W	104×36	12.2	1	10YR3-3 暗褐色	砂質シルト	地山ブロックが多く入っている	SM73に切られている
SM86	46-49	N・0°・W	512×36	18.7	1	10YR3-4 暗褐色	シルト	下中に地山ブロックが多く入っている	
SM89	46	N・0°・W	480×40	12.5	1	10YR3-3 暗褐色	シルト	地山ブロックがわずかに入っている	
SM90	49-52	N・0°・W	252×48	16.2	1	10YR3-3 暗褐色	シルト		
SM91	50-53	N・0°・W	520×36	17.5	1	10YR3-3 暗褐色	シルト	下層に地山ブロックが少し入っている	
SM92	50	N・10°・W	544×28	7.8	1	10YR3-3 暗褐色	シルト		SM91-93に切られている
SM94	53	N・10°・W	68×28	12	1	10YR4-4 褐色	シルト	下中に地山ブロックが多く入っている	
SM95	53	N・10°・W	84×28	15	1	10YR4-3 におい黄褐色	砂質シルト	地山ブロックが多く入っている	
SM96	49	N・0°・W	172×40	6	2	10YR4-4 褐色	シルト		
SM97	45-47	N・15°・W	264×36	10.8	1	10YR3-3 暗褐色	シルト	機上の柱と化糞物の程が少し入っている	SM54を切っている
SM98	52-55	N・5°・W	520×36	14	1	10YR4-4 褐色	シルト		
SM99	54-57	N・15°・W	408×48	7.8	1	10YR4-3 におい黄褐色	シルト	地山ブロックが多く入っている	SM101に切られ、SM104を切っている
SM100	59-62	N・10°・W	204×28	7.3	1	10YR4-4 褐色	シルト		
SM102	56	N・5°・W	688×28	14.3	1	10YR4-4 褐色	シルト	下中に地山ブロックが少し入っている	

小溝状遺構群B群 観測表(1)

表層No	グリッド	方位	規模	深さ	傾斜	土色	土性	備考	産物
SM27	38	N・30°・W	128×36	19.8	1	10YR3-3 暗褐色	砂質シルト	下中に地山ブロックがやや多く入っている	
SM28	38-40	N・30°・W	332×40	10.7	1	10YR3-2 黒褐色			
					2	10YR4-6 褐色			
SM30	38-40	N・30°・W	140×36	15.5	1	10YR3-2 黒褐色			
					2	10YR4-4 褐色			
SM40	38-40	N・30°・W	480×36	18.5	1	10YR3-2 黒褐色			
					2	10YR4-6 褐色			
SM48	41	N・30°・W	112×28	10	1	10YR3-3 暗褐色	シルト		
SM49	41	N・30°・W	164×32	21	1	10YR3-4 暗褐色	砂質シルト	灰化物の程がわずかに入っている	
SM51	36	N・60°・W	68×24	12.9	1	10YR3-3 暗褐色	シルト	機上のブロックが少し入っている	
SM53	40-42	N・30°・W	420×36	16.5	1	10YR3-4 暗褐色	シルト	下中に地山ブロックが少し入っている	SM11を切り、SM66に切られている
SM56	40-42	N・30°・W	336×32	23.5	1	10YR3-2 黒褐色			SM7を切っている

小波区遺構群D群 観察表①

遺構名	グリッド	方位	規模	深さ	層位	土色	土性	備考	重 載
SM57	40-42	N-30°-W	200×20	20	1	10YR4/4 褐色	シルト	下半に地山ブロックが少し入っている	SM55-56に繋がっている
SM60	40-42	N-30°-W	720×36	17.5	1	10YR3/2 暗褐色		地山ブロックが多く入っている	
SM66	38	N-30°-W	208×36	10.8	1	10YR3/3 暗褐色	シルト	地山ブロックが少し入っている・幾十の粒と炭化物の粒がわずかに入っている	
SM67	38-40	N-35°-W	224×40	9.8	1	10YR3/3 暗褐色	シルト		
SM68	40	N-25°-W	308×36	20.8	1	10YR3/2 暗褐色			SM45-55を切っている
SM72	42	N-40°-W	148×36	17.4	1	10YR3/3 に近い黄褐色	砂質シルト	地山ブロックが密に入っている	
SM76	44	N-25°-W	304×26	15.6	1	10YR3/3 暗褐色	シルト	下半に地山ブロックが少し入っている	
SM87	46	N-25°-W	132×32	9	1	10YR4/4 暗褐色	シルト		
SM12	52-53-55	N-40°-W	606×20	9.2	1	10YR4/4 褐色	砂質シルト	地山ブロックが多く入っている	

小波区遺構群C群 観察表

遺構名	グリッド	方位	規模	深さ	層位	土色	土性	備考	重 載
SM1	20	N-70°-W	220×32	10.5	1	10YR3/3 暗褐色	砂質シルト	地山ブロック少量	
SM2	20	N-70°-W	280×26	11.5	1	10YR3/4 暗褐色	砂質土		
SM3	20	N-70°-W	440×40	13.5	1	10YR3/3 暗褐色	砂質シルト	地山ブロック少量含む	
SM8	25	N-80°-W	376×36	15.2	1	10YR3/3 暗褐色	砂質シルト	炭化物の粒が少し入っている	SM7に繋がっている
SM9	25	N-80°-W	240×24	13.1	1	10YR4/2 灰黄褐色			SM6に繋がっている
					2	10YR4/3 に近い黄褐色			
SM10	24-25	N-80°-W	440×32	22.5	1	10YR3/3 暗褐色			SM6-7に切られて、SM34を切っている
					2	10YR4/3 に近い黄褐色			
SM11	24-25	N-70°-W	768×36	5.3	1	10YR4/3 に近い黄褐色			SM6-7に切られて、SM34を切っている
SM12	24	N-70°-W	124×32	3.9	1	10YR3/3 暗褐色	砂質シルト		SM5に繋がっている
SM13	24-25	N-85°-W	980×28	12.2	1	10YR3/3 に近い黄褐色	砂質シルト	地山ブロックが密に入っている	SM6-7に繋がっている
SM14	26	N-85°-W	264×28	6.8	1	10YR4/3 に近い黄褐色	砂質シルト	地山ブロックが密に入っている	SM5に繋がっている
SM15	27	N-85°-W	472×32	8.5	1	10YR3/3 暗褐色	砂質シルト	地山ブロックが多く入っている	SM17に繋がっている
SM18	24	N-70°-W	80×28	5.5	1	10YR4/2 に近い黄褐色	砂質シルト	地山ブロックが多く入っている	
SM24	25	N-75°-W	92×20	10.6	1	10YR3/3 暗褐色	砂質シルト	地山ブロックが少し入っている	SM26に繋がっている
SM25	27	N-82°-W	132×28	10.5	1	10YR4/4 褐色	砂質シルト	地山ブロックが少し入っている	SM22に繋がっている
SM31	30	N-85°-W	144×24	11.4	1	10YR4/4 褐色	シルト	地山ブロックが少し入っている	
SM50	28	N-85°-W	120×24	5	1	10YR3/4 暗褐色	砂質シルト	地山ブロックが多く入っている	SM41を切っている
SM86	46	N-55°-W	270×44	27.5	1	10YR3/4 暗褐色	シルト	下半に地山ブロックが多く入っている	
SM106	18	N-70°-W	520×32	-	1	10YR3/3 暗褐色	砂質シルト		
SM107	20	N-70°-W	128×40	-	1	10YR4/4 褐色	砂質シルト	地山ブロックがやや多く入っている	
SM110	27	N-75°-W	248×24	4.8	1	10YR4/4 褐色	シルト		
SM113	25	N-80°-W	72×20	13.8	1	10YR4/4 暗褐色	シルト	地山ブロックが少し入っている	
SM115	33	N-80°-W	132×24	4.8	1	10YR3/4 暗褐色	シルト		
SM116	39	N-70°-W	132×28	11.8	1	10YR3/3 暗褐色	シルト		

小波区遺構群D群 観察表

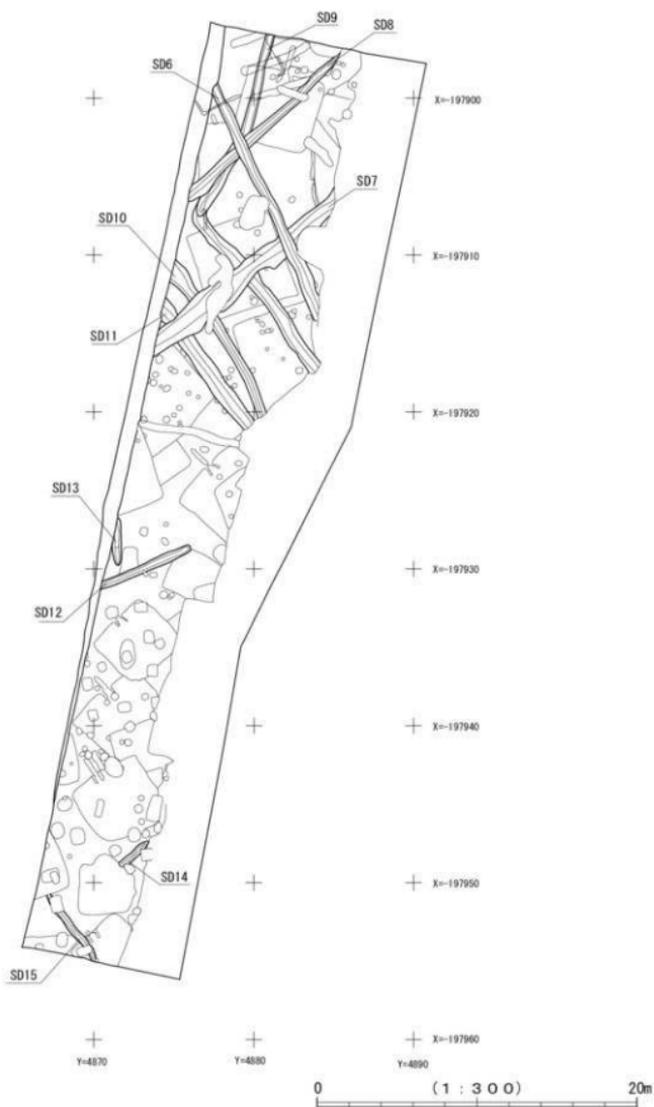
遺構名	グリッド	方位	規模	深さ	層位	土色	土性	備考	重 載
SM4	21-23	N-20°-E	280×32	10	1	10YR3/3 暗褐色			
SM6	23-25	N-5°-E	600×48	34.2	2	10YR3/3 暗褐色			SM9-10-11-13を切っている
SM19	27-30	N-25°-E	172×32	7	1	10YR3/3 暗褐色	シルト		
SM21	27	N-25°-E	236×24	8.9	1	10YR3/3 暗褐色	シルト		
SM21	27	N-25°-E	100×24	12.7	1	10YR4/3 に近い黄褐色	シルト	地山ブロックが多く入っている	
SM22	27	N-25°-E	264×32	13.3	1	10YR3/3 暗褐色	砂質シルト	地山ブロックが多く入っている	SM23を切っている
SM27	29	N-25°-E	424×28	9	1	10YR3/3 に近い黄褐色	砂質シルト		SM35を切っている
SM28	30	N-25°-E	112×28	10.5	1	10YR4/3 に近い黄褐色	砂質シルト	地山ブロックが少し入っている	
SM74	45	N-10°-E	108×28	5.5	1				
SM77	47-50	N-10°-E	508×44	19.3	1	10YR3/3 暗褐色	シルト	地山ブロックがわずかに入っている・幾十の粒が少し入っている	
SM80	47-50	N-5°-E	400×36	19.7	1	10YR3/4 暗褐色	シルト	地山ブロックがわずかに入っている	
SM85	49	N-5°-E	56×24	5	1	10YR3/4 暗褐色	シルト	地山ブロックが多く入っている	
SM93	50-53	N-5°-E	340×32	16.9	1	10YR3/3 暗褐色	シルト	下半に地山ブロックが多く入っている	SM92に繋がっている
SM103	50-62	N-5°-E	172×36	13.5	1	10YR4/4 褐色	砂質シルト	地山ブロックが多く入っている	
SM109	23-25	N-20°-E	220×36	14.4	1	10YR4/4 褐色	砂質シルト		SM11に繋がっている

小波区遺構群E群 観察表

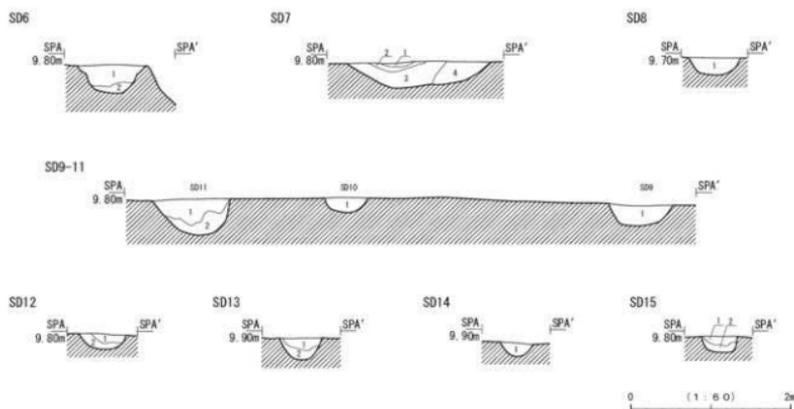
遺構名	グリッド	方位	規模	深さ	層位	土色	土性	備考	重 載
SM16	27	N-60°-E	112×24	6.6	1	10YR3/3 暗褐色	砂質シルト	地山ブロックが多く入っている	
SM17	26-27	N-60°-E	220×22	12.2	1	10YR4/4 褐色	砂質シルト	地山ブロックが多く入っている	SM15を切っている
SM30	31-33	N-70°-E	176×44	12.2	1	10YR3/3 暗褐色	シルト		
SM33	33	N-50°-E	236×32	13.5	1	10YR4/4 褐色	砂質シルト	地山ブロックが多く入っている	SM32に繋がっている
SM34	24	N-70°-E	312×36	8.1	1				SM10-11に繋がっている
SM35	29	N-70°-E	300×32	8	1				SM27に繋がっている
SM36	29	N-70°-E	-	-	1	10YR4/2 に近い黄褐色	砂質シルト		
					2	10YR3/2 暗褐色			
SM44	37	N-75°-E	168×36	29.3	2	10YR3/3 暗褐色			
					3	10YR3/3 暗褐色			
SM51	38	N-90°-E	92×28	19.5	1	10YR3/3 暗褐色	砂質シルト		
SM54	45	N-85°-E	168×20	3.5	1	10YR3/3 暗褐色	シルト		SM70-97に切られている
SM78	47	N-60°-E	88×28	-	1	10YR4/4 褐色	シルト	下半に地山ブロックが多く入っている	
SM101	53-54	N-90°-E	564×52	18.1	1	10YR4/4 褐色	シルト	下半に地山ブロックが多く入っている・下層不明	SM89を切っている
SM114	33	N-50°-E	80×20	3.6	1	10YR4/4 褐色	シルト		SM32に繋がっている

(2) 溝跡(第24～46区)

2B区および3A区において、31条の溝跡を検出した。IVa層上面で検出されている。検出状況や重複関係から、殆どの溝跡が、堅穴住居跡群よりも新しい。以下、20条の溝跡について個別の記述を行う。



第24図 溝跡 2B区



第25図 2B区溝跡断面図

2B区 溝跡集計表

遺構名	調査区	グリッド	方向	幅幅(m)	長さ(m)	層位	土色	土性	備 考	
SD6	2B		N-24-W	1630×90	35	1	10YR3-3	暗褐色	シルト	炭化物粒を微量、黒褐色ブロックを少量含む
						2	10YR5-3	にぶい黄褐色	砂質シルト	灰白色火山灰層・暗褐色土ブロックを含む
SD7	2B		N-52-E	1550×100	30	3	10YR2-3	黒褐色	シルト	炭化物粒を含む
						4	10YR4-3	暗褐色	シルト	炭化物粒・黒褐色土ブロック・褐色土ブロックを少量含む
						1	10YR3-2	黒褐色	シルト	骨層ブロックを層下手に少量、炭化物粒を微量含む
						1	10YR3-3	暗褐色	シルト	炭化物粒・黄土粒・黒褐色土ブロック・褐色土ブロックを含む
SD8	2B		N-46-E	1340×100	30	1	10YR3-2	黒褐色	シルト	炭化物粒を少量、黒褐色土ブロックを含む
SD9	2B		N-37-W N-16-30-E	230×50 1730×95	30	1	10YR3-3	暗褐色	シルト	炭化物粒・黄土粒・黒褐色土ブロック・褐色土ブロックを含む
SD10	2B		N-18-37-W	1110×60	30	1	10YR3-4	暗褐色	シルト	黄土粒を少量、黒褐色土ブロックを含む
SD11	2B		N-36-W	950×90	40	1	10YR3-3	暗褐色	シルト	炭化物粒を少量、灰黄色土ブロック・褐色土ブロックを含む
						2	10YR4-4	褐色	シルト	炭化物粒を少量、暗褐色土ブロックを含む
SD12	2B		N-67-E	620×50	30	1	10YR1-3	にぶい黄褐色	シルト	φ1cm内の骨層ブロックを少量含む
						2	10YR5-4	にぶい黄褐色	シルト	φ2cm内の骨層ブロックを少量含む
SD13	2B		N-3-W	300×50	30	1	10YR1-3	にぶい黄褐色	シルト	炭化物粒を少量含む
						2	10YR5-6	黄褐色	砂質シルト	骨層ブロックで形成、暗褐色土ブロックを一部を含む
SD14	2B		N-47-W	290×50	30	1	10YR3-4	暗褐色	砂質シルト	φ1cm内の骨層ブロックを層上手に少量含む、層下手は砂質強い
SD15	2B		N-35-W	530×45	35	1	10YR3-4	暗褐色	シルト	酸化鉄粒を微量、褐色土ブロックを全体を含む
						2	10YR3-3	暗褐色	シルト	炭化物粒・酸化鉄粒を微量、黒褐色土・褐色土ブロックを含む

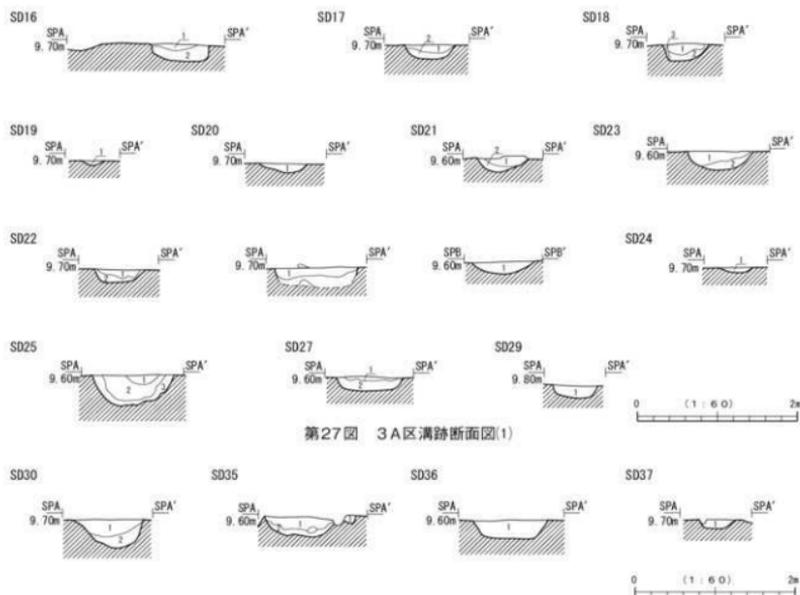
SD6 溝跡(第24・25・29図)

2B区北半部、IV a層上面で確認した溝跡で、住居跡群やSD7～9より新しい。検出長は16.3mで、上端幅60～90cm、下端幅20～30cm、深さは20～35cmである。壁面はやや緩やかに立ち上がり、断面形は逆台形を呈するが、上半部は一部で稜をもちながらさらに緩やかに開いている。溝跡の方向はN-24-Wで、ほぼ直線的に延びている。堆積土は2層で、1層が黒褐色、2層が褐色のいずれもシルト質で、特に1層の黒褐色土層は他の溝跡堆積土中にはみられず、特徴ある層である。底面レベルは南側が低くなっている。

出土遺物は、須志器Ⅰ点を掲載した。

SD7 溝跡(第24・25・30図)

2B区北半部、IV a層上面で確認した溝跡で、住居跡群やSD9～11より新しく、SD6より古い。検出長は15.5mで、上端幅は北東部が約1m、南西部1.8mとばらつきがみられるが、これは後世の削平によるものとみられる。深さは残存良好な南西部でも30cm程度である。壁面はかなり緩く、断面形は浅い舟底状である。溝跡の



第27図 3A区溝跡断面図(1)

第28図 3A区溝跡断面図(2)

遺構名	調査区	グリッド	方向	幅(m)	長さ(m)	層位	土色	土性	備考	
SD16	3A	2-5-8	N-30°-E	950×80	22.2	1	10YR3-2	黒褐色	砂質シルト	10YR3-2プロット状に混入
						2	10YR1-3	にぶい黄褐色	砂	10YR3-2プロット状に混入
SD17	3A	14-15-16	N-80°-W	996×70	20	1	10YR3-2	黒褐色	砂質シルト	炭化物粒混入
						2	10YR3-2	黒褐色	砂質シルト	10YR5-3プロット層
SD18	3A	14	N-15°-E	298×58	24.3	1	10YR3-2	黒褐色	砂質シルト	焼土粒・炭化物粒混入
						2	10YR2-2	黒褐色	砂	10YR3-2プロット層
						3	10YR2-2	黒褐色	砂	10YR5-3プロット状に混入
SD19	3A	5	N-85°-W	140×30	9.6	1	10YR1-2	灰黄褐色	砂質シルト	
SD20	3A	18-20-21-23	N-55°-E	1390×58	14.9	1	10YR2-1	灰色	シルト	10YR3-3砂質シルトプロットを断面に含む(SI層上)
SD21	3A	20-22	N-30°-W	680×86	17.5	1	10YR3-2	黒褐色	砂質シルト	10YR1-4若干混入
						2	10YR1-4	褐色	砂質シルト	10YR3-2小プロット状を混入
SD22	3A	29-30-32-33	N-80°-W	1402×102	26	1	10YR3-4	暗褐色	シルト	堆山プロット少量含む
						2	10YR3-4	暗褐色	シルト	堆山プロット少量含む
SD22-32	3A	-	-	-	-	1	10YR3-3	暗褐色	砂質シルト	炭化物粒を少量含む
SD22-33	3A	-	-	-	-	1	10YR3-3	暗褐色	砂質シルト	炭化物粒を少量含む
SD23	3A	31-33-34-39-41	N-7°	1730×100	22.7	1	10YR3-3	暗褐色	シルト	灰・焼土プロットを混入
						2	10YR3-4	暗褐色	砂シルト	
SD23-33	3A	-	-	-	-	1	10YR3-4	暗褐色	シルト	堆山プロットを少量含む
						2	10YR3-4	暗褐色	砂質シルト	堆山プロットを多量含む
SD24	3A	0	N-7°-W	-×-	0	1	10YR1-4	褐色	砂質シルト	暗褐色シルトプロット・堆山プロットを多く含む
SD25	3A	45-47	N-60°-E	306×100	23.5	1	10YR3-2	黒褐色	シルト	粒状炭化物がまばらに混入、層の下部に於て炭化物が環状に堆積
						2	10YR3-3	暗褐色	シルト	粒状炭化物が微量混入
SD27	3A	38	N-80°-W	450×86	21.5	3	10YR3-4	暗褐色	シルト	10YR1-4堆山がまばらに混入、※自然堆積と考えられる
						1	10YR3-2	暗褐色	シルト	堆山を小プロット状に少量含む
SD29	3A	62	N-80°-W	438×40	18.4	1	10YR1-3	にぶい黄褐色	砂質シルト	堆山プロットを少量含む ※特に2層は人為堆積の可能性ないか?
						2	10YR3-4	暗褐色	砂質シルト	堆山小プロット多量含む
SD30	3A	23-24-25	N-80°-W	770×90	31	1	10YR3-2	黒褐色	シルト	
						2	10YR3-2	黒褐色	シルト	10YR5-3にぶい黄褐色プロット混入
SD33	3A	42-45-47-48	N-55°-E	1640×120	41	1	10YR3-3	暗褐色	シルト	炭化物粒少量
						2	10YR3-4	暗褐色	砂質シルト	堆山プロットを多く含む
SD36	3A	36-38	N-25°-E	430×140	37.1	1	10YR3-3	暗褐色	シルト	炭粒・堆山小プロットを少量含む
SD37	3A	53	N-10°-W	330×30	8.3	1	10YR3-3	暗褐色	シルト	10YR1-4堆山が少し混入

3A区 遺跡集計表(2)

遺跡名	調査区	グリッド	方向	幅(m)	長さ(m)	層位	土色	土性	備考	
SD08	3A	50-53	N-35°-W	156×90	23.5	1	10YR2/2	黒褐色	シルト	10YR4/4地山が少し混入
SD09	3A	53-54-56-58-59	N-40°-W	816×70	35.5	1	10YR3/4	暗褐色	シルト	炭化物粒・焼土ブロックを散見
						2	10YR4/4	褐色	砂シルト	地山アロックス多量
SD09-56	3A	-	-	-	-	1	10YR3/4	暗褐色	シルト	粒状焼土が少し混入, 炭状炭化物が少し混入
SD40	3A	54-56-57	N-40°-W	1140×44	22.5	1	10YR2/3	暗褐色	シルト	層下平に地山ブロックやや多く含む
						2	10YR4/4	褐色	シルト	炭化物粒を散見
SD41	3A	53-54	N-65°-E	600×54	32.1	1	10YR4/4	褐色	シルト	6.5cm内の地山アロックス多量
						2	10YR3/3	暗褐色	シルト	地山アロックスを少量含む
SD50の北側の土	3A	-	-	-	-	2	10YR4/4	褐色	砂質シルト	



1(埋土)



2(埋土)

0 (1:3) 10cm

第29図 SD6出土遺物

採取番号	登録番号	出土遺物	層位	種別	器種	口径×底径×器高(cm)	外面調整	内面調整	備考	写真掲載
1	E-076	SD6	埋土	須恵器	甕	口径6.0×底径5.7cm	0%調整	0%調整	外面自然釉	※
2	N-24	SD6	埋土	鉄製品	鉄片	長6.0, 幅5.3, 厚1.5cm				※



1(埋土)



3(埋土)



4(埋土)

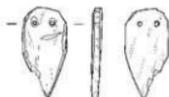


2(埋土)

0 (1:3) 10cm

第30図 SD7出土遺物(1)

採取番号	登録番号	出土遺物	層位	種別	器種	口径×底径×器高(cm)	外面調整	内面調整	備考	写真掲載
1	C-342	SD7	埋土	土師器	1-F-7	口径×底径×器高 5.0×3.5×3.2	1) 脚部-底部11°, 外面調整	1) 脚部-底部11°, 外面調整		※
2	E-077	SD7	埋土	須恵器	杯	- × (口径6.0×底径3.1)	0%調整, 底部凹面<90°, 張り出し高台	0%調整	高台	※
3	E-079	SD7	埋土	須恵器	甕	- × × (口径2.1)	0%調整, 底部沈没2条	0%調整	内外面白熱釉, 長3.0cm	※
4	E-078	SD7	埋土	須恵器	甕	口径(口) × (底径)	0%調整	0%調整	内外面白熱釉	※



1

0 (1:2) 5cm

第31図 SD7出土遺物(2)

採取番号	登録番号	出土地点	層位	地区	種別	器種	分類	長さ×幅×厚さ(cm)	重量(g)	石材	備考	写真掲載
1	K4-001	SD7	埋土	2B	石製品	石製精品	1.B	3.8×1.8×0.4	4.36	磨石	完成品, 磨削, 底孔, 穿孔径0.2cm, 孔間隔0.5cm	※

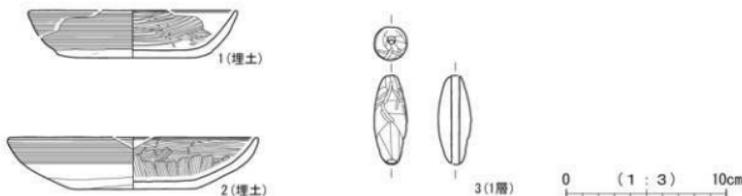
方向はN-52°-Eではほぼ直線的に延びている。堆積土は部分的に4層確認でき、このうち2層は厚さ6cm程の平安時代に降下したとみられる灰白色火山灰を一部層状に挟んでいる。断面観察では3層と4層の堆積状況及び底面形状から掘り直しを行っていることも考えられる。確認部分での底面の傾斜は不明である。

出土遺物は、土師器、手捏ね土器1点、須恵器杯1点、壺1点、甕1点、石製模造品1点を掲載した。

SD8 溝跡(第24・25・32図)

2B区北半部、Ⅳa層上面で確認した溝跡で、住居跡群やSD9より新しく、SD6より古い。検出長は13.4mで、上端幅は北東側で狭く50～60cmで、南西側は80～90cmと幅広となっている。なお北東端部については上層が削平を受けている。下端幅は20～25cmで一定し、深さは南西側の残存良好な箇所で25cmである。断面形は逆台形を呈する。溝跡の方向はN-46°-Eで直線的に延びている。堆積土は黒褐色シルト土の1層で、自然堆積とみられる層である。底面レベルは北西側で僅かに低くなっているがほぼ同レベルである。

出土遺物は、土師器杯2点、土錘1点を掲載した。土師器は平底で口唇部は直立気味に立ち上がる。



第32図 SD8出土遺物

図録番号	登録番号	出土遺物	層位	種別	器種	口径×底径×器高(cm)	外面調整	内面調整	備考	写真掲載
1	C-343	SD8	1層	土師器	杯	(13.0)×(6.0)×3.0	1層部体部397、底部397	1層部～底部397		48
2	C-344	SD8	埋土	土師器	杯	(15.0)×7.6×3.3	1層部～体部397、体部下半部摩滅、底部397	1層部～底部397	内面黒色処理	48
図録番号	登録番号	出土遺物	層位	種別	器種	長さ×幅×厚さ(cm)	重量(g)	備考		写真掲載
3	P-42	SD8	1層	土製品	土錘	5.7×径2.1×孔径0.5	22.4	ナデ→18°、赤彩		48

SD9 溝跡(第24・25・33図)

2B区北半部、Ⅳa層上面及びS I 5・6・22堆積土上面で確認した溝跡で、住居跡群より新しく、SD6～8より古い。途中屈曲し、検出長は北側2.2m、南側17.2mで、当初S I 5北側で途切れる形状かとみられたが、後にS I 6やS I 1を切り、調査区北壁際まで延びる溝跡であることが判明した。上端幅は屈曲部より南側は80～95cmで下端幅も広いが、北壁際では50cm程度と狭くなっている。壁面・断面形は南半部が緩やかに立ち上がる舟底状であるのに対し、北壁際は直立気味のU字形と相違している。深さは全体に20cm程の残存である。溝跡の方向は屈曲部より南側はN-37°-W、北側はN-16～30°-Eの鈍角に折れ曲がる形状である。堆積土は暗褐色シルト土の単一層で、全体に黒褐色ブロック土が混入し、また住居跡と重複部分では色調が異なっている。底面レベルは南側が低くなっている。

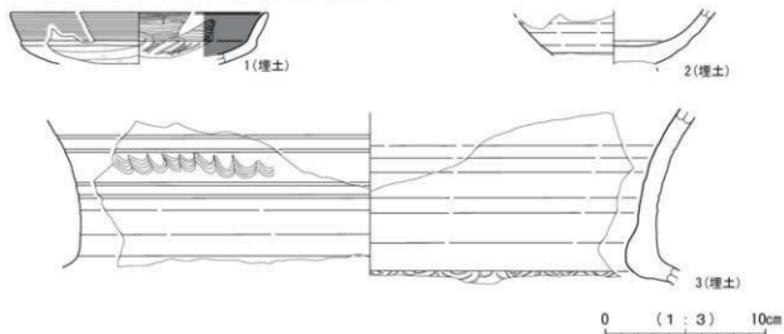
出土遺物は、土師器杯1点、壺1点、甕1点を掲載した。

SD10 溝跡(第24・25・34図)

2B区北半部南寄り、Ⅳa層上面で確認した溝跡で、住居跡群より新しく、SD7より古い。確認長は11.1mで、

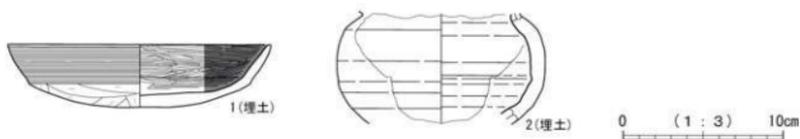
上端幅は南側が60cmで一定しているのに対し、北側の一部では1mを超え、下端幅も同様の傾向をみせる。深さは20cm程で、壁面は緩やかに立ち上がり、断面形はレンズ状である。溝跡の方向はN-18°-37°-Wで、弓なりに延びている。堆積土はSD9同様に暗褐色シルト土の単一層で、黒褐色ブロック土が混入している。底面レベルに差は殆ど認められない。

出土遺物は、土師器坏1点、須恵器壺1点を掲載した。



第33図 SD9出土遺物

採取番号	登録番号	出土遺物	層位	種別	器種	口径×底径×器高cm	外面調整	内面調整	備考	写真掲載
1	C-345	SD9	埋土	土師器	坏	(60.2) × × (3.3)	1) 脚部~体部27°, 底部39°E	1) 脚部~底部31°E	内面黒色処理	49
2	E-080	SD9	埋土	須恵器	壺	× × (3.4)	0%調整, 底部傾斜35°E, 高台直壁	0%調整	内面白化粧, 高台	48
3	E-081	SD9	埋土	須恵器	甕	× × (10.8)	0%調整, 頸部比輪4条, 輪筋5波状文	0%調整, 39°E, 青海波文	内外面白化粧, 大型	49



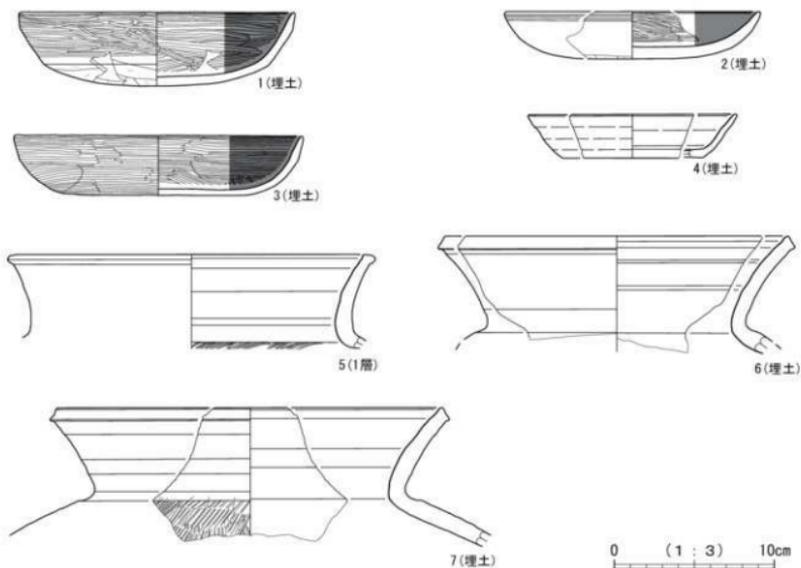
第34図 SD10出土遺物

採取番号	登録番号	出土遺物	層位	種別	器種	口径×底径×器高cm	外面調整	内面調整	備考	写真掲載
1	C-346	SD10	埋土	土師器	坏	(66.5) × × 4.0	1) 脚部27°E, 体部~底部39°E	1) 脚部~底部31°E	内面黒色処理	49
2	E-082	SD10	埋土	須恵器	壺	× × (7.0)	0%調整, 頸部下半部傾31°E	0%調整	内外面白化粧, 高台	49

SD11 溝跡(第24・25・35区)

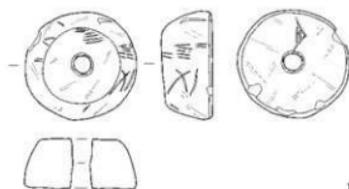
2B区北半部南寄り、N A層上面で確認した溝跡で、住居跡群より新しく、SD7より古い。検出長は9.5mで、上端幅は90~110cm、下端幅30~45cmと溝跡群の中ではSD7に次いで幅がある。また深さも40cm程と深く、壁面は急な筒所と緩やかな筒所が見られ、断面形は舟底状を呈する。溝跡の方向はN-36°-Wで、直線的に延びている。堆積土は2層で、1層はSD9・10の堆積土に類似している。底面レベルに差は殆ど認められない。

出土遺物は、土師器坏3点、須恵器坏1点、甕3点、石製紡錘車1点を掲載した。2、3は、平底皿状、盤状の坏である。4は、やや丸底状で、小型の坏である。



第35图 SD11 出土文物(1)

图例 序号	登錄番号	出土遺構	形状	種類	器種	口径×底径×器高(cm)	外面調整	内面調整	備考	写真 掲載
1	C-347	SD11	埋土	土器器	杯	17.3×7.5×4.7	1.1線部-底部0°15' 0	1.1線部-底部0°15' 0	内面黑色処理	49
2	C-348	SD11	埋土	土器器	杯	(16.0)×(9.5)×3.0	1.1線部0°15'、底部摩滅、底部0°15' 0	1.1線部-底部0°15' 0	内面黑色処理	49
3	C-349	SD11	埋土	土器器	杯	(18.0)×(11.0)×3.8	1.1線部-底部0°15' 0	1.1線部-底部0°15' 0	内面黑色処理	49
4	E-084	SD11	埋土	須恵器器	杯	(10.2)×(6.6)×2.8	0°15'調整、底部0°15' 0、重心機手前	0°15'調整		49
5	E-083	SD11	1層	須恵器器	甕	(22.4)××(6.0)	0°15'調整	0°15'調整、肩部0°15' 0	内外面自然釉	49
6	E-085	SD11	埋土	須恵器器	甕	(21.4)××(7.4)	0°15'調整	0°15'調整		49
7	E-086	SD11	埋土	須恵器器	甕	(24.0)××(6.9)	0°15'調整、肩部平行印手目	0°15'調整、15°	外面自然釉	49



第36图 SD11 出土文物(2)

图例 番号	登錄番号	出土地点	形状	地区	種類	器種	分類	長さ×幅×厚さ (cm)	重量(g)	石材	備考	写真 掲載
1	K-6002	SD11	埋土	2B	石器品	結核章	一	4.6×4.6×2.1	68.77	磨石	定形品、最大径4.6cm、穿孔径0.9cm、溝状痕あり	49

SD12 溝跡(第24・25・37・38図)

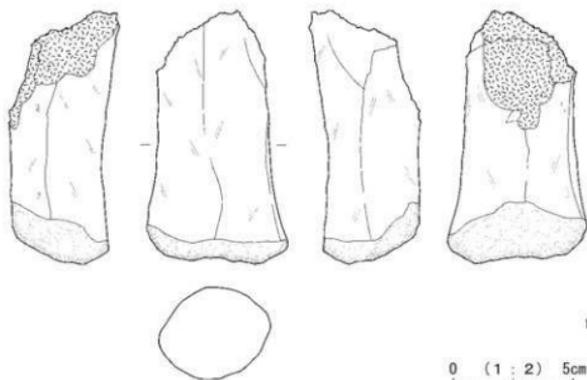
2B区中央部、IV a層上面で確認した溝跡で、SI13・SK2より新しい。検出長は6.2mで、東端部がやや角をもって閉じている。上端幅は50～60cm、下端幅は18～26cmで、壁面と底面との境が他の溝跡に比べ明瞭で、底面は平坦で断面形は逆台形をしている。溝跡の方向はN-67°-Eで、直線的に伸び、小規模ながらも規格性の強い感を受ける。堆積土は2層で、いずれもにぶい黄褐色シルト土であり、特に2層中にはIV層をブロック状に多量含み、何かしら人為的に埋められた可能性のある溝跡とも考えられるが、堆積土中及び底面上に柱などの痕跡等は見られなかった。底面レベルは東側が僅かに低いが、ほぼ平坦である。

出土遺物は、土師器環1点を掲載した。



第37図 SD12出土遺物(1)

採取番号	登録番号	出土遺物	層位	種別	器種	口径×底径×器高(cm)	外面調整	内面調整	備考	写真掲載
1	K-300	SD12	1層	土師器	環	— × — × (2.5)	体部～底部<99C>	体部～底部<99C>→<93F>	内面黒色処理	あり



第38図 SD12出土遺物(2)

採取番号	登録番号	出土地点	層位	地区	種別	器種	分類	長さ×幅×厚さ(cm)	重量(g)	石材	備考	写真掲載
1	K-603	SD12	1層	2B	石製品	支脚	—	10.4×5.8×4.2	285.06	瀬戸石	欠損品、焼熟	あり

SD13 溝跡(第24・25図)

2B区中央部、IV a層上面で確認した溝跡である。検出長は3mと短く、南端部はSD12手前で止まり、また北端部も閉じ加減となっており、そう長くは伸びない溝跡とみられる。上端幅は中央で50cm、深さは30cm程で、底面には段がみられる。壁面と底面との境は不明瞭で、断面形は舟底状である。溝跡の方向はN-3°-Wである。堆積土は2層で、下半部の2層中にはIV層ブロックにより形成されており、この溝跡は人為的に埋められたものと考えられる。

SD14 溝跡(第24・25図)

2B区南半部、IV a層上面で確認した溝跡で、両端が攪乱により壊されている。検出長は2.9mで、北東端部は上下端とも収束するような形状をみせる。南西側は攪乱により不明であるが、さらに南西には延びないことから、途中で閉じる形状が若しくは削平により壊されている可能性がある。上端幅は50cm程、深さは15～20cmで、断面形はレンズ状である。溝跡の方向はN-47°-Eでほぼ直線的に延びる溝跡とみられる。堆積土は暗褐色砂質シルト土の単一層で、特徴は認められない。

SD15 溝跡(第24・25図)

2B区南端部、IV a層上面で確認した溝跡で、住居跡群より新しく、方形の柱穴とみられるP75・97より古い。検出長は5.3mで、上端幅は30～45cm、深さ20～25cmで、壁面は直立気味で、平坦面となる底面との境が明瞭である。断面形は逆台形である。溝跡の方向はN-35°-Wで、僅かに蛇行している。堆積土は2層で、特徴は認められない。

SD16 溝跡(第26・27図)

3A区南端部、2・5・8グリッドに位置する。住居群より新しく、SB3-P7、P3に切られる。検出長9.5m、上端幅80cm、深さ22cmを測る。断面形はコ字形を呈する。溝の方向はN-30°-Eで、僅かに蛇行している。北端で収束する。堆積土は2層で、黒褐色砂質シルト土にふい黄褐色砂である。

SD17 溝跡(第26・27図)

3A区南半部、14・15・16グリッドに位置する。SB4-P3に切られる。検出長9.9m、上端幅70cm、深さ20cm。断面形は逆台形を呈する。溝の方向はN-80°-Wで、東端は攪乱を受け削平されているが、西端は調査区外へ延びる。堆積土は2層で、黒褐色砂質シルト土である。

SD18 溝跡(第26・27・39図)

3A区南半部、14グリッドに位置する。検出長2.8m、上端幅58cm、深さ24cmを測る。断面形は逆台形を呈する。溝の方向はN-15°-E。北端は攪乱を受け、南端は収束している。堆積土は3層、黒褐色砂質シルト土および砂で、焼土粒や炭化物粒の混入がある。石錘1点を掲載した。

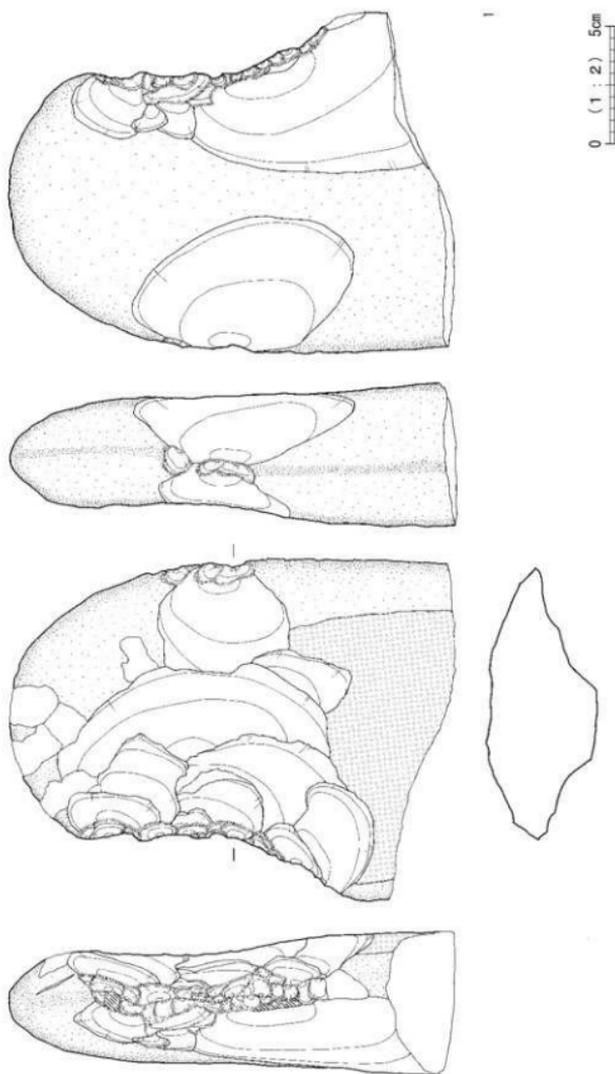
SD20 溝跡(第26・27図)

3A区南半部、18・20・21・23グリッドに位置する。SD21を切る。検出長15.9m、上端幅58cm、深さ15cm。断面形は皿形を呈する。溝の方向はN-55°-Eで、西端は調査区外に延びる。堆積土は黒色シルト土の単層で、底面のラインは明瞭でなく、はっきりしない。

SD21 溝跡(第26・27・40図)

3A区南半部、20・22グリッドに位置する。SD20に切られる。検出長6.8m、上端幅86cm、深さ17cmを測る。断面形はレンズ状を呈する。溝の方向はN-50°-Wで、ほぼ直線的に延び、西端は調査区外へ延びる。堆積土は2層で、黒褐色・褐色の砂質シルト土である。

出土遺物は、土師器1点を掲載した。高坏もしくは器台などの脚か、壺の口縁の可能性もある。



第39图 SD 18出土遺物

图版 序号	登錄番号	出土地点	层位	地区	種類	器 種	分類	長さ×幅×厚さ (cm)	重量(g)	石 材	備 考	写真 掲載
1	K4004	SD18	様土	3A	石器品	石錘	—	13.9×12.9×4.5	446.22	燧石質	欠損品、指印確認、厚縁に二次加工あり	49



第40図 SD21出土遺物

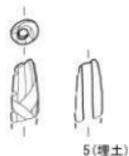
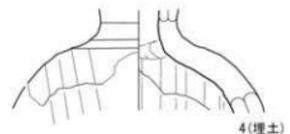
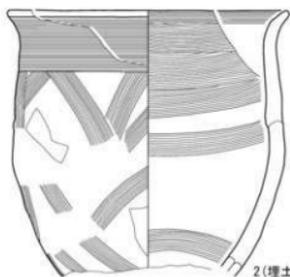
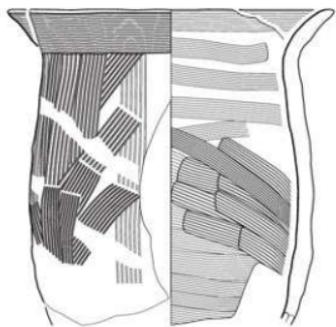
図録番号	発跡番号	出土遺物	形状	種別	器種	口径×底径×器高(cm)	外面調整	内面調整	備考	写真掲載
1	C-352	SD21	残土	土師器	高杯	×(18.4)×(0.5)	胴部・99F', 胴部部299F'	胴部・99F', 胴部部299F'	外面赤彩, 面11種	49

SD22 溝跡(第26・27・41・42図)

カギ型に屈折するSD22Aと、屈折部から直線的に伸びるSD22Bを検出した。SD22Aは3A区中央部、29・30・32・33グリッドに位置する。SI38を切る。南西-北東4.9m、北西-南東10.3m、上端幅63～102cm、深さ18～26cmを測る。カギ型に屈折する部分をもち、屈折部より西側でN-40°-E、東側でN-50°-W。断面形はA-A'で逆台形、B-B'でコ字形を呈する。堆積土は暗褐色のシルト土及び砂質シルト土である。

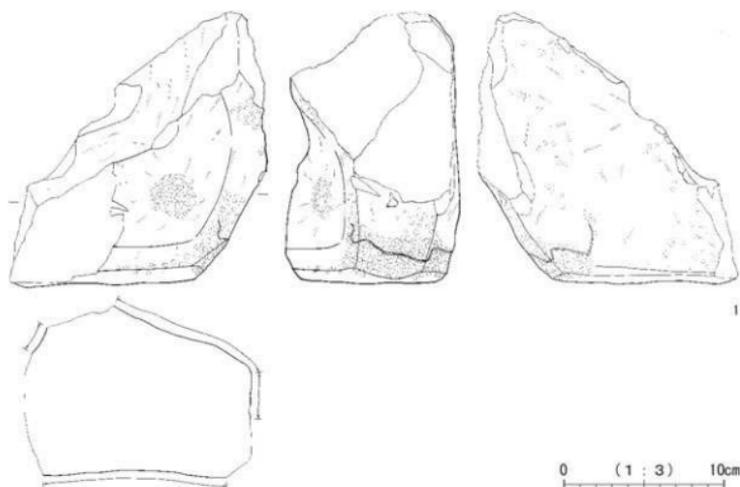
SD22Bは3A区中央部、33・36グリッドに位置する。検出長8m、上端幅74cm、深さ25cmを測る。溝の方向はN-60°-Eで、22Aの屈折部分から直線的に伸びる。断面形はレンズ状を呈する。堆積土は暗褐色砂質シルト土である。

出土遺物は、平底盤状の坏1点、甕2点、フラスコ型長頸瓶1点、土錘1点、砥石1点を掲載した。



第41図 SD22出土遺物(1)

図録番号	発跡番号	出土遺物	形状	種別	器種	口径×底径×器高(cm)	外面調整	内面調整	備考	写真掲載
1	C-356	SI22	残土	土師器	坏	(13.3)×(9.6)×3.0	[1]胴部299F'→19F', 胴部29F', 底部・999F'号	[1]胴部-底部19F'	内面赤色地埋	50
2	C-353	SI22	残土	土師器	甕	(17.6)××(16.9)	[1]胴部299F', 胴部29F'	[1]胴部299F', 胴部・99F'		50
3	C-354	SI22	残土	土師器	甕	(20.2)××(20.1)	[1]胴部299F', 胴部・99F'	[1]胴部299F', 胴部・99F'		50
4	E-087	SI22	残土	土師器	瓶	××(46.3)	299F'調整, 胴部貼り合せ, 胴部・999F'号	299F'調整	79D前	50
図録番号	出土遺物	形状	種別	器種	長さ×幅×厚さ(mm)	重量(g)	備考		写真掲載	
5	P-43	SI22	残土	土製品	土錘	8.0×径1.7×孔径0.6	9.1	ナデ	50	



第42図 SD22出土遺物(2)

副産物 番号	登録番号	出土地点	層位	地区	種 類	器 種	分類	長さ×幅×厚さ (cm)	重量(g)	石 材	備 考	写真 掲載
1	K4005	SD22	埋土	3A	石製品	破石	B C2	15.3×13.2×10.7	2796.08	砂岩	欠損品,面取り,塊状,無孔	30

SD23 溝跡(第26・27図)

3A区中央部、31・33・34、39・41・43で検出された。当初、31・33・34 グリッドにて検出したが、その後、39・41・43グリッドにて検出し、環状にめぐると同一の溝跡とした。

SD23南側検出部の検出長は約7.6m、上端幅80cm、深さ22cmを測る。SD23北側検出部の検出長は約9.7m、上端幅100cm、深さ25cmを測る。断面形は舟底状を呈する。堆積土は暗褐色シルト及び暗褐色砂質シルトの2層である。環状型の遺構であれば、径25mの大型の溝跡と考えられるが、東側は削平を受け、全容は不明である。

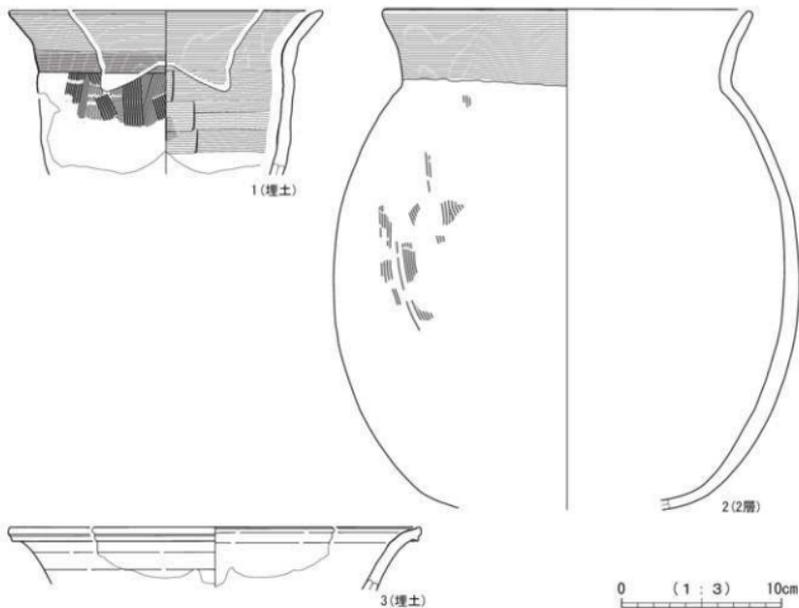
SD30 溝跡(第26・28図)

3A区中央部、23・24・25グリッドに位置する。SI37を切る。検出長7.7m、上端幅90cm、深さ31cm。断面形は舟底状を呈する。溝の方向はN-40°-Wで、西端で緩やかに蛇行する。堆積土は2層で、黒褐色シルト土である。

SD25・35 溝跡(第26・28・43・44図)

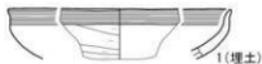
3A区北半部、42・45・47・48グリッドに位置する。検出長16.4m、上端幅120cm、深さ41cm。断面形は逆台形で、底面は中心にかけて高まりがみられる。溝の方向はN-40°-Wで、西端で緩やかに蛇行する。堆積土は2層で、黒褐色シルト土である。

出土遺物は、土師器甕2点、須恵器甕1点、土師器坏1点を掲載した。1の土師器坏は、体部から直立気味に立ち上がり口唇部でわずかに外反する、関東系土師器と思われる。



第43図 SD25出土遺物

図版番号	登録番号	出土遺物	層位	種類	器種	口径×底径×器高(cm)	外面調整	内面調整	備考	写真掲載
1	C.358	埴土	埴土	土師器	甕	(19.6) × × (21.3)	11線部39°、胴部49°→39°	11線部39°、胴部49°		50
2	C.359	埴土	2層	土師器	甕	(23.2) × × (11.8)	11線部39°、胴部49°	11線部39°、胴部49°		50
3	E.098	埴土		須恵器	甕	(25.6) × × (3.8)	270°調整	270°調整	内面白色釉	50



第44図 SD35出土遺物

図版番号	登録番号	出土遺物	層位	種類	器種	口径×底径×器高(cm)	外面調整	内面調整	備考	写真掲載
1	C.365	埴土	埴土	土師器	杯	(14.0) × × (3.2)	11線部39°、体部49°	11線部39°、体部49°減	SD25と同一遺物	51



第45図 SD40出土遺物

図版番号	登録番号	出土遺物	層位	種類	器種	口径×底径×器高(cm)	外面調整	内面調整	備考	写真掲載
1	C.366	埴土	1層	土師器	杯	(10.2) × × (1.0)	11線部39°、体部49°	11線部39°、体部49°	内外面白色釉	51

SD39 溝跡(第26図)

3A区北半部、53・54・56・58・59グリッドに位置する。SD41に切られる。検出長8.1m、上端幅70cm、深さ35cm。断面形は逆台形を呈する。溝の方向はN-40°-W。堆積土は単層で、暗褐色シルト土である。

SD40 溝跡(第26・45図)

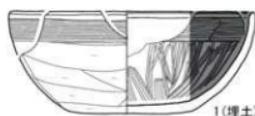
3A区中央部、36・38グリッドに位置する。SD41に切られる。検出長4.5m、上端幅140cm、深さ37cm、断面形は逆台形を呈する。溝の方向はN-25°-Eである。堆積土は単層で暗褐色砂質シルト土である。

出土遺物は、土師器環1点を掲載した。

SD41 溝跡(第26・46図)

3A区北半部、53・54グリッドに位置する。SD39・40を切る。検出長6.8m、上端幅54cm、深さ32cm。断面形はU字形を呈する。溝の方向はN-65°-E。堆積土は2層で、褐色シルト土である。

出土遺物は、土師器埴1点を掲載した。



第46図 SD41出土遺物

図版番号	発掘番号	出土遺物	層位	群別	器種	口径×底径×器高(cm)	外面溝壑	内面溝壑	備考	写真図版
1	C-307	SD41	埴土	土師器	埴	(口)7×(底)5.5	上縁部2段、底部-底部9段	上縁部-底部9段	内面黑色粘り	51

(3) 土坑(第47～61図)

2B・3A区全域から51基の土坑を検出した。特に住居跡群との切りあい関係が認められ、同時期、もしくはこれらに後続するものと考えられる。形状は様々であり、性質は個々の遺構で異なるものとみられる。

以下、出土一括遺物等、特に注目されるものについて述べる。

SK2 土坑(第47・56図)

2B区中央部西側、IV A層上面で確認した土坑で、南側をSD12により切られている。形状は南側が開き気味の楕円形で、大きさは長軸1.8m程度、短軸は北側が90cm、南側が120cmで、深さは中央の深い箇所20cmである。周辺部の深さがことから壁面状況は不明で、底面は緩やかなレンズ状となり起伏がみられる。長軸方向はN-4°-Eのほぼ南北方向である。堆積土は2層で、下層の2層中にはやや大きめのIV層ブロックを多量含んでいる。出土遺物は、平底盤状の埴を掲載した。

SK4 土坑(第47・56図)

2B区南半部、S14堆積土上面で確認した土坑で、S14より新しく、SB1より古い。形状は長楕円形で、大きさは長軸185cm、短軸95cm、深さ12cmである。全体に浅く、壁面の立ち上がり状況は不明で、底面は中央部が窪み起伏がみられる。長軸方向はN-4°-Eのほぼ南北方向である。堆積土は2層で両層とも炭化物・焼土粒を少量含んでいる。

出土遺物は、土師器坏2点を掲載した。関東系土師器と思われる。

SK35 土坑およびPIT445と周辺状況(第52図)

3A区北端部で長方形の土坑を確認した。確認面はSI60堆積土上面である。周辺部からはN-28°-Wの軸方位を共有する形で、柱穴列と特殊な柱痕跡を有するピット(PIT445)が検出された。周辺から検出された5基の柱穴は、いずれも約40cm×40cmの正方形を呈し、東西1間、南北2間で等間隔に並ぶ。柱間は210cmとなる。PIT445は、長軸126cm、短軸70cmの長方形で、長軸方位へ向けて斜めにうがたれた2つの柱痕跡を有しており、いわゆる輻竿支柱かそれに類する施設と推定される。形状がこれと類似するSK35は、残存する掘り込みが22cm程度と浅いものの、これと並んで検出されており、周囲の柱穴列と共に何らかの付帯設備となる可能性もある。

SK39 土坑(第53・57・58図)

3A区南半部、東側の掘削沿いで大規模な土坑を確認した。確認面はIV層上面である。SI30の堆積土上から同住居跡の床面を破壊する形で掘り込まれ、東半部は後世の掘削によって失われていた。平面形状は長軸5.4mの不整な円形を呈し、北側はテラス状となる。確認面からの深さは最大111cmが残存し、埋土は11層に分けられた。1～5層は、層中に焼土・炭化物や地山ブロックが多く含まれ、6層～11層が堆積した後に再度掘り込まれた遺構を埋め戻した土と考えられる。この堆積状況から、当遺構の帰属時期は、少なくとも2段階にわたるものと推定された。

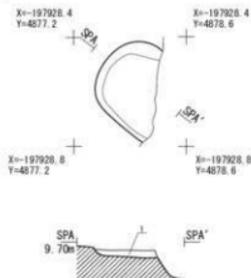
出土遺物は、土師器坏3点、鉢3点、甕6点、須恵器坏1点、刀子1点を掲載した。4は台坏鉢の脚台としたが、鉢の体部から口縁にかけての破片の可能性もある。

SK43 土坑(第54・56・59図)

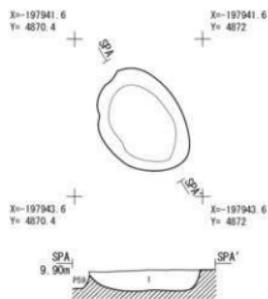
3A区北端部で確認された大型の土坑である。確認面はIV層上面であるが、残存する掘り込みは浅く、上部を大きく削平されているものと考えられる。形状は、径が約2.5mの円形で、底面は一箇所が窪む他は平坦である。確認面からの深さは3.6cmが残存するのみである。

出土遺物は、土師器皿1点、須恵器瓶底部1点、土錘・土製紡錘車各1点を掲載した。

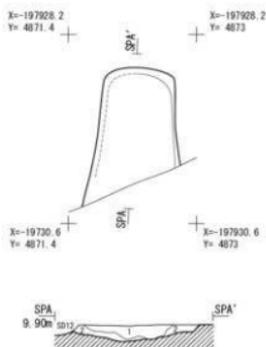
SK1



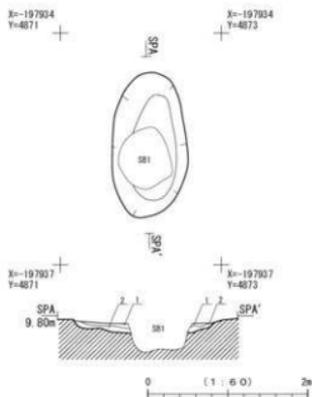
SK3



SK2



SK4

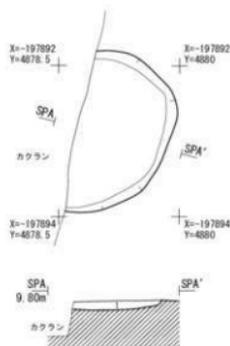


第47図 2B区土坑

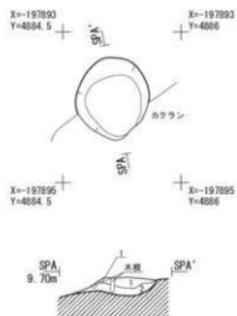
2B区土坑 観察表

遺蹟名	平面形	規模 (cm)	深さ (cm)	層位	土色	土性	備考
SK1	不明	- × -	10	1	10YR4/4	褐色	シルト 古層ブロックを多量含む
SK2	楕円形	120 × 90	20	1	10YR4/4	褐色	古層小ブロックを少量、焼土粒を微量含む
				2	10YR5/4	にぶい黄褐色	シルト φ 5cm内の古層ブロックを多量含む
SK3	楕円形	140 × 105	25	1	10YR4/3	にぶい黄褐色	古層ブロックを層下平に少量、φ 1cm内の炭化物ブロック・焼土粒を少量含む
SK4	楕円形	185 × 95	12	1	10YR3/3	暗褐色	シルト 炭化物・焼土粒を少量含む
				2	10YR4/3	にぶい黄褐色	シルト 古層ブロック・炭化物ブロックを少量、焼土粒を微量含む

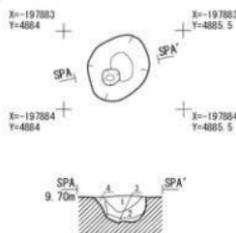
SK6



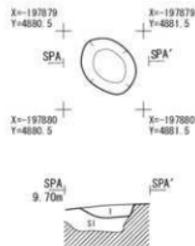
SK7



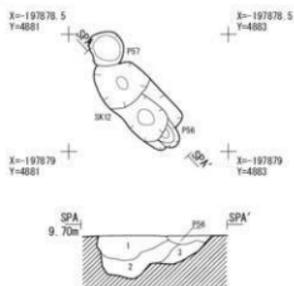
SK10



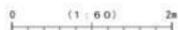
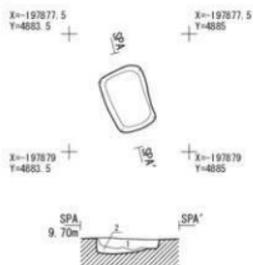
SK11



SK12

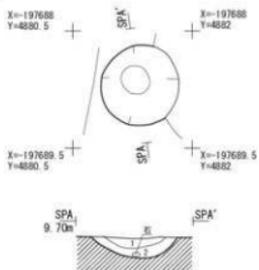


SK13

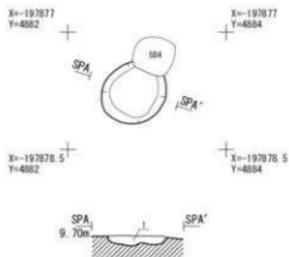


第48図 3A区土坑(1)

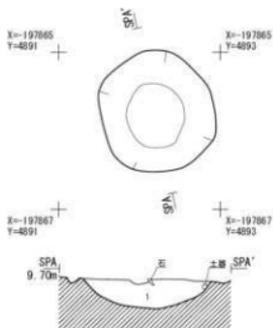
SK14



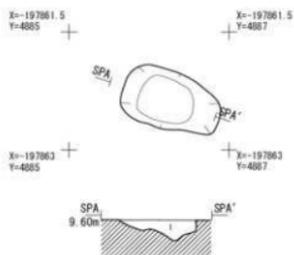
SK15



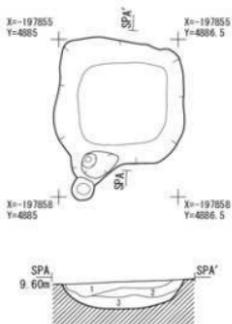
SK17



SK18

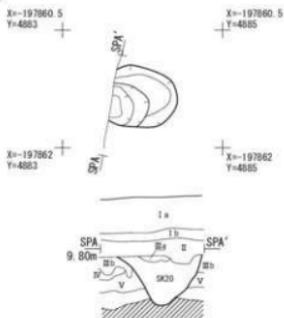


SK19

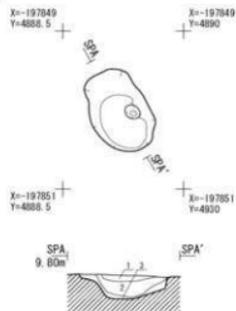


第49图 3A区土坑[2]

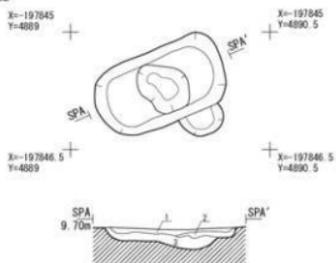
SK20



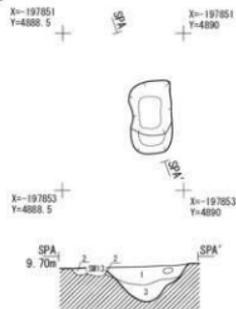
SK21



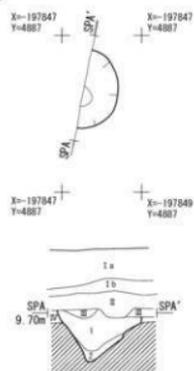
SK22



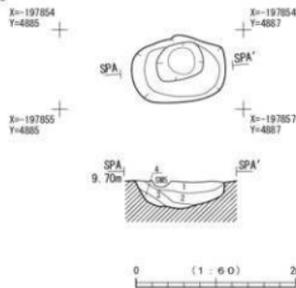
SK23



SK24

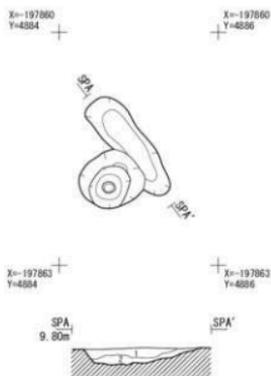


SK25

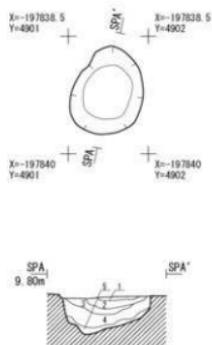


第50图 3A区土坑(3)

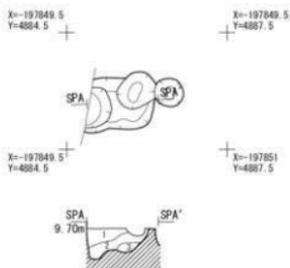
SK26



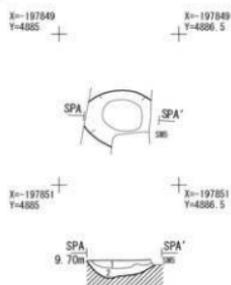
SK27



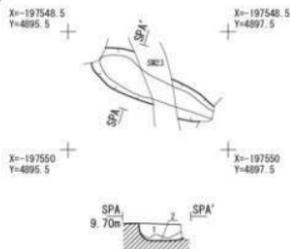
SK28



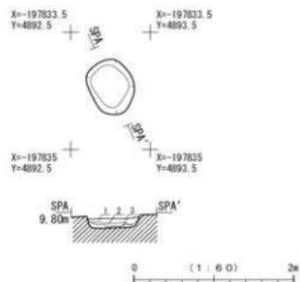
SK29



SK30



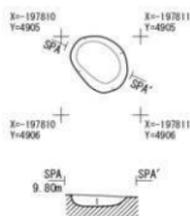
SK31



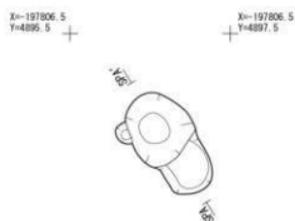
第51图 3A区土坑(4)

0 (1:60) 2m

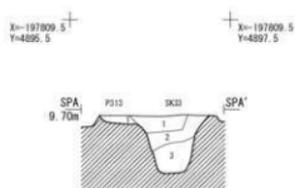
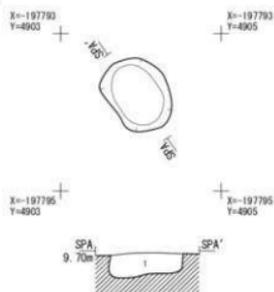
SK32



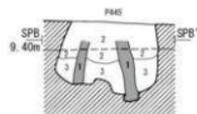
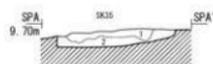
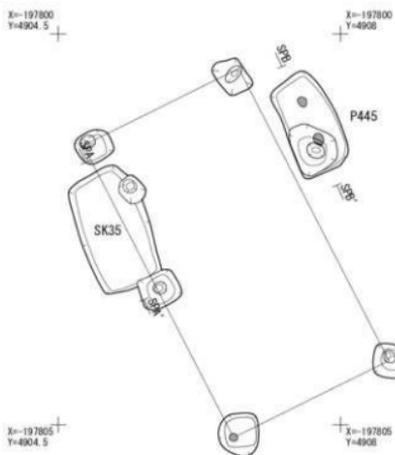
SK33



SK34

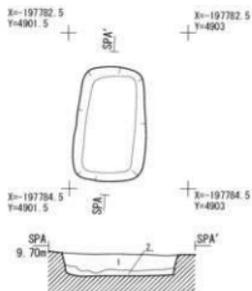


SK35

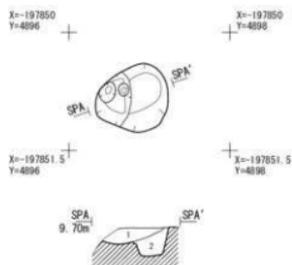


第52图 3A区土坑(5)

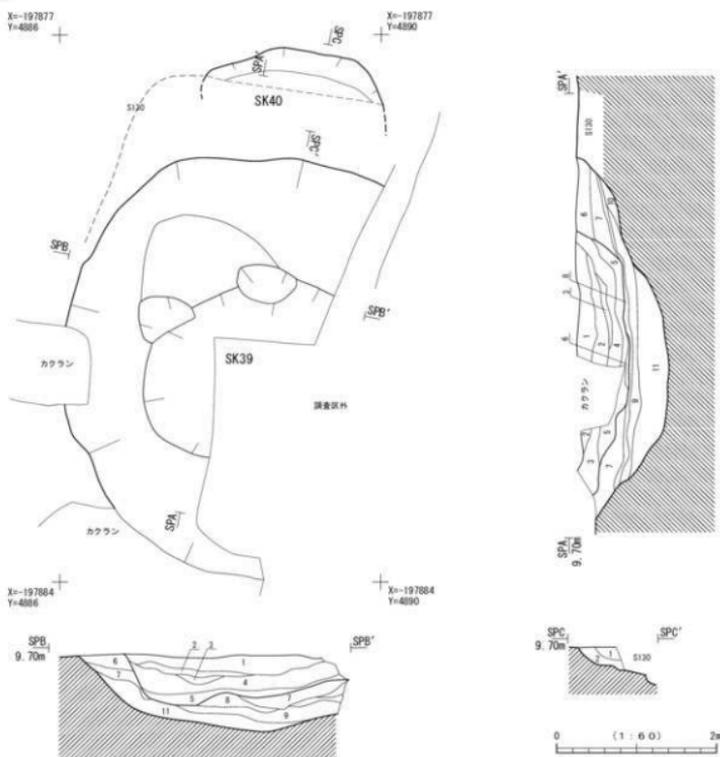
SK36



SK37

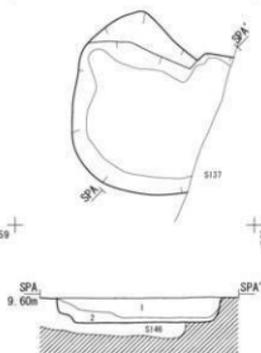


SK39-SK40

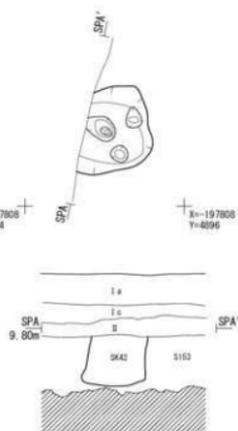


第53図 3A区土坑(6)

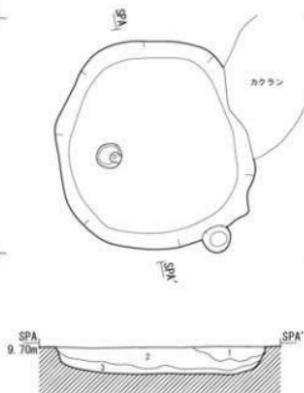
SK41

X=197856
Y=4888X=197856
Y=4891X=197859
Y=4888X=197859
Y=4891

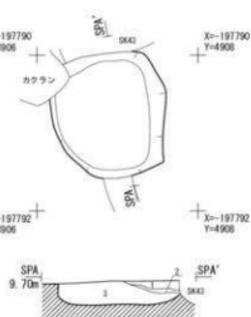
SK42

X=197805
Y=4894X=197805
Y=4896X=197808
Y=4894X=197808
Y=4896

SK43

X=197787
Y=4900X=197787
Y=4904X=197790
Y=4900X=197790
Y=4904

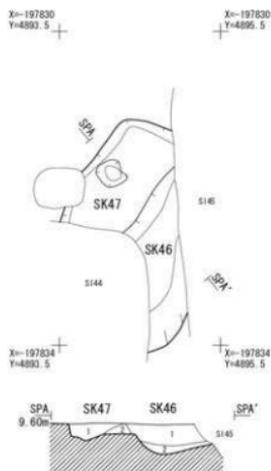
SK44

X=197790
Y=4906X=197790
Y=4908X=197792
Y=4906X=197792
Y=4908

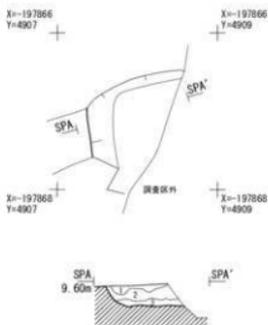
0 (1 : 6 0) 2m

第54図 3A区土坑(7)

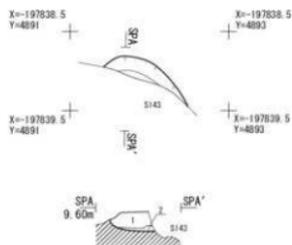
SK46-SK47



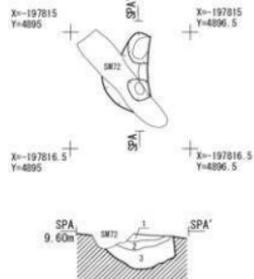
SK50



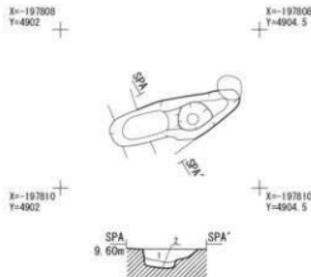
SK48



SK49



SK51



0 (1 : 60) 2m

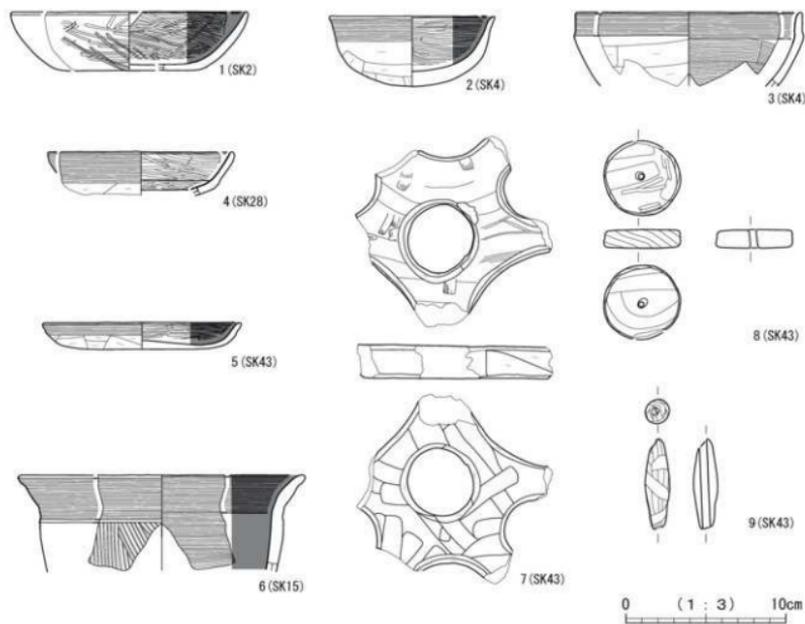
第55图 3A区土坑(8)

3A原土坑 調査箇所①

遺構名	平面形	規模(m)	深さ(m)	層位	土色	土質	調査内容	備考
SK5	円形	100×90	40	1	10YR5/4	にぶい黄褐色	砂質シルト	炭化物粒を微量含む
				2	10YR2/2	黒褐色	砂質シルト	炭化物ブロックを特に層下部に多量含む
				3	10YR4/3	にぶい黄褐色	砂質シルト	炭化物ブロックを少量含む
SK6	不明	207×	12.8	1	10YR3/2	黒褐色	砂質シルト	
				2	10YR4/4	褐色	砂	10YR5-3ブロック状に混入
SK7	円形	105×93	18.6	1	10YR3/2	黒褐色	砂質シルト	10YR5-3ブロック状に混入
				2	10YR2/2	黒褐色	砂	炭化物粒・焼土粒混入
SK8	方形	67×56	37.1	1	10YR3/2	黒褐色	砂質シルト	炭化物粒・焼土粒混入
				2	10YR2/2	黒褐色	砂質シルト	10YR5-3ブロック層
SK9	方形	72×60	41.9	1	10YR3/2	黒褐色	砂質シルト	10YR5-3ブロック状に混入、炭化物粒・焼土粒混入
				2	10YR2/2	黒褐色	砂質シルト	
				3	10YR4/3	にぶい黄褐色	砂	10YR5-3ブロック状に混入、底面近くで骨片出土
SK10	円形	87×73	44.7	1	10YR3/2	黒褐色	砂質シルト	10YR5-3ブロック状に混入
				2	10YR2/2	黒褐色	砂質シルト	炭化物粒・焼土粒がわずかに混入
				3	10YR4/3	にぶい黄褐色	砂質シルト	10YR5-3ブロック状に混入
SK11	楕円形	76×59	13.4	1	10YR3/2	黒褐色	砂質シルト	炭化物粒・焼土粒若干混入
				2	10YR2/2	黒褐色	シルト	
SK12	隅丸方形	125×60	-	1	10YR3/2	黒褐色	シルト	10YR1-3小ブロック状に混入
				2	10YR2/2	黒褐色	シルト	10YR4-3ブロック層
				3	10YR4/3	にぶい黄褐色	砂質シルト	
SK12 (P56)	-	-	-	1	10YR3/2	黒褐色	シルト	
SK13	方形	80×53	20	1	10YR3/2	黒褐色	砂質シルト	炭化物若干混入
				2	10YR3/3	にぶい黄褐色	砂	10YR5-2ブロック層
SK14	円形	100×95	29	1	10YR3/3	暗褐色	砂質シルト	マンゴシ混入
				2	10YR3/3	暗褐色	砂質シルト	10YR5-3ブロック状に混入、マンゴシ混入
SK15	円形	83×77	13.8	1	5YR3/1	黒褐色	シルト	5YR4/4焼土ブロック混入、炭混入、10YR5-3ブロック状に混入
SK16	隅丸方形	58×37	37.1	1	10YR3/2	黒褐色	砂質シルト	炭化物粒・焼土粒若干混入
				2	10YR3/2	黒褐色	砂質シルト	10YR4-3ブロック状に混入、炭化物粒混入
SK17	円形	135×143	38.7	1	10YR4/2	灰黄褐色	シルト	マンゴシ混入、炭質、底面一層下部にかけて2.5YR3/2黒褐色がブロック状に混入、SK14に類似
SK18	楕円形	127×76	27.5	1	10YR3/3	暗褐色	砂質シルト	φ2cm内の地山砂ブロックを多く含む、炭化物粒を少量含む ※下に5Y埋土するため、触りすぎ
				2	10YR3/3	暗褐色	シルト	炭化物粒若干混入
SK19	隅丸方形	157×56	37.1	1	10YR3/2	黒褐色	砂質シルト	10YR3-3ブロック層
				2	10YR2/2	黒褐色	シルト	
				3	10YR4/3	にぶい黄褐色	シルト	10YR2-2がブロック状に混入
SK21	隅丸方形	107×73	31.1	1	10YR3/2	黒褐色	シルト	10YR4-3ブロック層
				2	10YR2/2	黒褐色	シルト	10YR2-2がブロック状に混入
				3	10YR4/3	にぶい黄褐色	シルト	10YR4-3塊状に混入
SK22	隅丸方形	165×94	26	1	10YR3/2	黒褐色	シルト	10YR5-4ブロック状に混入
				2	10YR4/3	にぶい黄褐色	シルト	10YR5-2ブロック状に混入
SK23	隅丸方形	92×48	46.8	1	10YR3/2	黒褐色	シルト	10YR5-4が層内にブロック状に入る、炭化物粒若干混入
				2	10YR4/4	褐色	シルト	10YR2-2ブロック状に混入
				3	10YR2/3	黒褐色	シルト	1層より多い色調、10YR5-4層状に混入
SK24	円形	102×	48.9	Ⅰ	10YR4/2	灰黄褐色	-	旧跡骨土
				Ⅱ	10YR2/3	黒褐色	シルト	(トレンチ調査時のⅡ層とは別)
				Ⅲ	2.5Y3/2	黒褐色	シルト	
				1	10YR3/2	黒褐色	シルト	10YR1-3とのブロック層
SK25	-	116×84	45.2	1	10YR3/2	黒褐色	シルト	炭化物混入
				2	10YR2/2	黒褐色	シルト	10YR5-4小ブロック状に混入、炭化物粒若干混入
				3	10YR2/2	黒褐色	シルト	10YR5-4ブロック層
				4	10YR5/4	にぶい黄褐色	砂質シルト	10YR3-2小ブロック状に混入
				5	10YR3/3	暗褐色	シルト	焼土ブロックを少量含む
SK26	楕円形	146×44	20.5	1	10YR4/4	褐色	シルト	焼土ブロックを少量含む
				2	10YR4/2	灰黄褐色	シルト	
				3	10YR2/1	黒色	シルト	炭・焼土ブロック混入層
SK27	楕円形	113×88	45.3	1	10YR2/3	黒褐色	シルト	炭粒・焼土粒混入
				2	10YR2/2	黒褐色	シルト	炭粒・焼土粒混入
				3	10YR3/3	にぶい黄褐色	砂質シルト	10YR5-2ブロック状に混入
				4	10YR2/3	暗褐色	シルト	地山ブロックを一部に多量含む、炭化物ブロックを少量含む
SK28	-	-×-	-	1	10YR2/3	暗褐色	シルト	地山砂質ブロックを密に含む
				2	10YR3/3	暗褐色	シルト	
				3	10YR3/2	黒褐色	シルト	
SK29	-	-×-	-	1	10YR3/4	暗褐色	シルト	地山ブロックを微量、炭化物粒を微量含む
				2	10YR4/4	褐色	砂質シルト	暗褐色シルトブロックを少量含む
SK30	楕円土坑	170×46	20.9	1	10YR3/4	暗褐色	砂質シルト	地山砂質シルトブロックを多量含む
				2	10YR4/6	褐色	砂質土	暗褐色シルトブロックを少量含む
SK31	隅丸方形	68×54	14.5	1	10YR3/1	黒褐色	シルト	炭化物混入、10YR5-3ブロック状に混入
				2	10YR2/1	黒色	シルト	炭色層
SK32	隅丸方形	78×60	15.7	1	10YR4/3	にぶい黄褐色	シルト	炭化物混入
				2	10YR2/2	黒褐色	シルト	10YR1-3にぶい黄褐色層状に混入、炭化物粒混入
SK33 (P13)	-	-	-	1	10YR3/2	黒褐色	シルト	炭化物混入、10YR4-3にぶい黄褐色がブロック状に混入
				2	10YR2/2	黒褐色	シルト	10YR1-3にぶい黄褐色混入、炭化物混入
SK33	楕円形	-×79	42.5	1	10YR3/2	黒褐色	シルト	10YR2-2黒褐色が混入
				2	10YR2/2	黒褐色	シルト	10YR3-3暗褐色がブロック状に混入
				3	10YR2/2	黒褐色	粘質シルト	
SK34	楕円形	100×78	36.9	1	10YR2/2	黒褐色	シルト	下半部に10YR3-3暗褐色シルトブロック(φ3.0cm)をやや多く含む

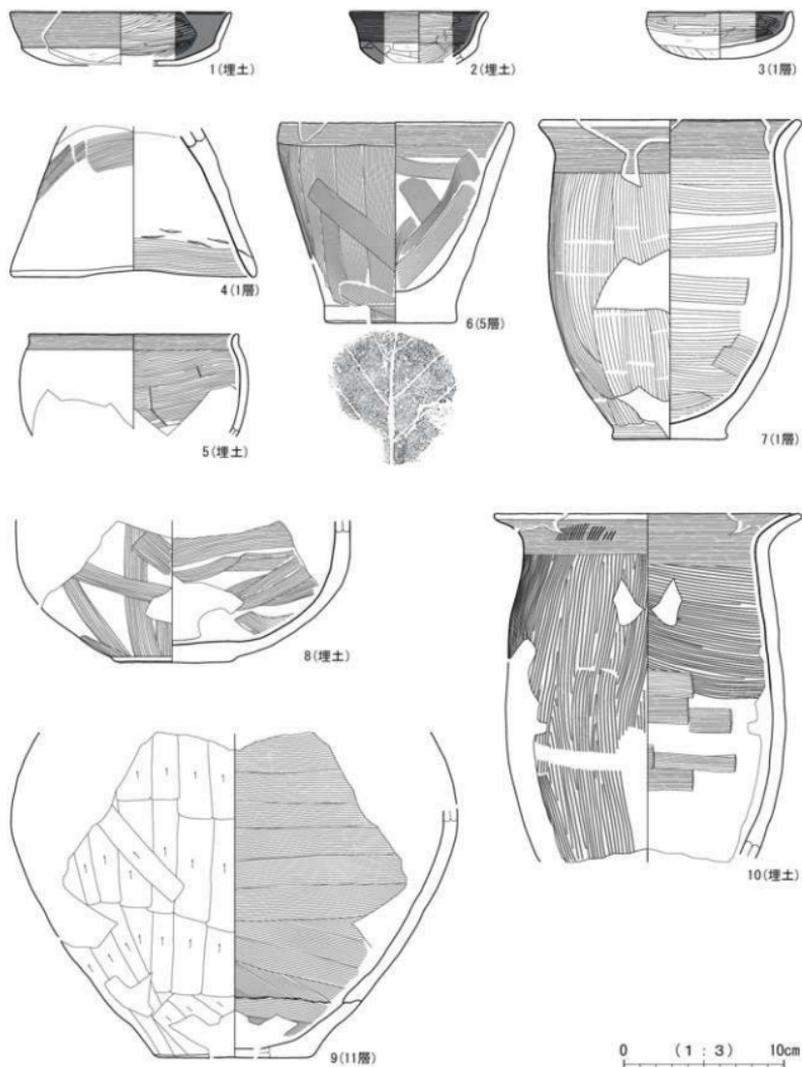
3A区土坑 観測箇所

調査名	平面形	幅員(m)	深さ(m)	階位	土色	土質	備考
SK35	方形	137 × 90	22.2	1	10YR2/3	黒褐色	シルト φ20cm内の地山小ブロックを少量含む
				2	?	?	※棕色の特微的な土 マンガン鉄混入
SK36	側入方形	147 × 85	32	1	10YR3/2	黒褐色	粘質シルト 10YR4/3に多い黄褐色土砂がブロック状に入る
				2	10YR3/2	黒褐色	粘質シルト シルト 10YR3/2が混入
SK37	楕円形	89 × 85	20.8	1	10YR2/2	黒褐色	シルト 10YR4/3がブロック状に混入
				2	10YR3/3	暗褐色	粘化物・焼土でブロックを少量含む
				3	10YR3/3	暗褐色	粘質シルト 炭化物ブロックをやや多く含む
				4	10YR3/3	暗褐色	粘質シルト φ20cm内の地山ブロックをやや多く含む
				5	10YR4/2	灰黄褐色	粘質シルト 炭化物ブロックをやや多く含む
				6	10YR3/3	暗褐色	粘質シルト ※前に人為埋土とは見受けられない
				7	10YR3/4	暗褐色	粘質シルト 10YR2/2がブロック状にある
				8	10YR4/4	褐色	シルト
				9	10YR4/4	褐色	シルト 10YR2/2暗褐色がブロック状に混入、部分的に地山ブロックあり
				10	10YR4/6	褐色	シルト 10YR4/4褐色がやや混入、地山ブロックがやや混入使用されたと考えられる
				11	10YR4/3	にぶい黄褐色	粘質シルト 地山ブロックが部分的に混入
SK40	不整形	226 ×	30.5	1	10YR2/4	暗褐色	粘質シルト 地山ブロックを少量含む
				2	10YR4/4	褐色	砂質土
SK41	不整形	216 ×	30.5	1	10YR2/3	黒褐色	粘質シルト 10YR4/4シルトのブロックがレンズ状に混入 516断面北側部に少くはっている
				2	10YR4/4	褐色	シルト 10YR2/3粘質シルトがやや混入
SK43	-	- × -	-	1	10YR4/4	褐色	粘質シルト 粒状炭化物・焼土が少し混入、10YR3/4シルトがブロック状にまばらに混入
				2	10YR3/2	黒褐色	シルト 粒状炭化物が少し混入、粒状焼土がやや混入、10YR4/4粘質シルトが少し混入
				3	10YR3/2	黒褐色	シルト 粒状焼土・炭化物がやや混入、10YR4/4粘質シルトがブロック状に混入
SK44	楕円形	165 × 97	27	1	10YR5/6	黄褐色	粘質シルト 炭化物を少量含む
SK45	-	-	-	1	10YR4/4	褐色	シルト φ20cm内の炭化物ブロック、焼土ブロックを少量含む
				2	10YR4/4	褐色	粘質シルト 炭化物・焼土が少量含む
SK46	不明	- × -	33.4	1	10YR3/3	暗褐色	シルト φ10cm内の地山ブロックを少量、炭土粒を微量含む
SK47	不明	- × -	21	1	10YR3/3	暗褐色	粘質シルト 炭化物・焼土ブロックを少量
				2	10YR4/4	褐色	粘質シルト 地山ブロックをやや多く含む
SK48	不明	- × -	25.5	1	10YR3/3	暗褐色	粘質シルト φ20cm内の地山ブロックを少量
				2	10YR1/1	灰色	粘質シルト 炭化物を少量含む
SK49	不明	- × -	40.1	1	10YR3/3	暗褐色	シルト 炭化物を少量含む
				2	10YR4/4	褐色	粘質シルト 1層の土がφ20cmほどの小ブロック状に混入
				3	10YR3/3	暗褐色	シルト 焼土が小ブロック状に混入、粒状炭化物が少し混入、10YR4/4粘質シルトが下部に少し混入
SK50	不明	- × -	34.2	1	10YR3/3	暗褐色	シルト 粒状焼土が少し混入、10YR3/4シルトが混入
				2	10YR4/4	褐色	シルト 10YR3/3がまばらに混入
				3	10YR4/3	にぶい黄褐色	粘質シルト 地山がまばらに混入 ※人為的に埋められたものと考えられる
SK51	楕円形	90 × 42	25.8	1	10YR3/3	暗褐色	シルト 10YR5/4ブロック層
				2	10YR3/3	暗褐色	シルト

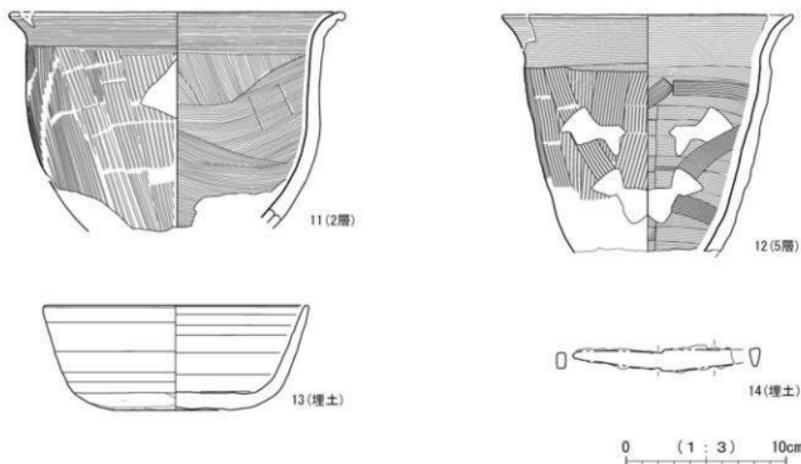


第56图 土坑出土文物(1)

器物 序号	登錄番号	出土遺物	部位	種 別	器 類	口径×底径×器高(cm)	外 面 調 整	内 面 調 整	備 考	写真 掲載
1	C-318	SK2	腹土	土胎器	杯	(11.8)×(9.0)×3.8	11腹面~体部<91°1'4, 底面<99°1'9	11腹面~底面<91°1'4	内面黑色地埋	51
2	C-319	SK4	2層	土胎器	杯	(9.4)×××3.9	11腹面<99°1', 体部~底面<91°1'9	11腹面~底面<91°1'4	内面黑色地埋	51
3	C-320	SK4	2層	土胎器	杯	(11.2)××(4.7)	11腹面<99°1', 体部<99°1'9	11腹面<99°1', 腹面<99°1'	内面黑色地埋	51
4	C-322	SK28	1層	土胎器	杯	(11.6)××2.7	11腹面<99°1', 体部<99°1'9	11腹面~体部<91°1'4	内面黑色地埋	51
5	C-341	SK43	腹土	土胎器	皿	(12.4)×(9.8)×1.7	11腹面<99°1', 底面<99°1'9	11腹面~底面<91°1'4	内面黑色地埋	51
6	C-321	SK15	1層	土胎器	皿	(18.0)×××(4.1)	11腹面<99°1', 腹面<99°1'	11腹面<99°1', 腹面<99°1'		51
7	E-075	SK43	腹土	須臾器	佩	×××××	<99°1'	<99°1'	多孔, 壁厚2.2cm	51
器物 番号	登錄番号	出土遺物	部位	種 別	器 類	長さ×幅×厚(mm)	重量(g)	備 考	写真 掲載	
8	P-41	SK43	腹土	土製品	紡錘車	径4.8×厚1.2×孔径0.5	36.2	十字, 1層, 一部黑色	51	
9	P-40	SK43	腹土	土製品	土練	3.8×径1.5×孔径0.5	10.9	十字, 漆影	51	

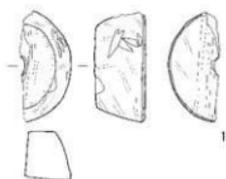


第57図 土坑出土遺物2)



第58図 土坑出土遺物(3)

図号	登録番号	出土遺構	層位	種別	器種	口径×底径×高さ(cm)	外面調整	内面調整	備考	写真 掲載
1	C-203	SK39	埋土	土師器	杯	(13.8) × (4.4)	11線部329F, 体部~底部329K'9	11線部~底部328'8	内面白色地埋	53
2	C-204	SK39	埋土	土師器	杯	(8.7) × (3.3)	11線部329F, 体部329'9	11線部~体部328'8	内外白色地埋	53
3	C-207	SK39	1層	土師器	杯	9.2 × 3.3 × 3.0	11線部~体部329'8, 底部329K'9	11線部~底部328'8	内面白色地埋	53
4	C-230	SK39	1層	土師器	鉢	→ (15.0) × (6.6)	胴部1.平付, 尊威	胴部部329F	胴部	51
5	C-239	SK39	埋土	土師器	甕	(13.2) × (4.1)	11線部329F, 胴部厚威	11線部329F, 胴部329F'		51
6	C-209	SK39	5層	土師器	鉢	14.7 × 8.2 × 13.1	11線部329F, 胴部329F~329F', 底部本葉痕	11線部329F, 胴部~底部329F'		51
7	C-300	SK39	1層	土師器	甕	(16.4) × (7.2) × 20.2	11線部329F, 胴部329F', 底部本葉痕	11線部329F, 胴部~底部329F'		51
8	C-331	SK39	埋土	土師器	甕	→ 7.7 × (6.0)	胴部329F', 底部329I'9	胴部~底部329F'		51
9	C-333	SK39	11層	土師器	甕	→ (10.0) × (20.8)	胴部~底部329I'9	胴部~底部329F'		52
10	C-335	SK39	埋土	土師器	甕	(19.2) × (22.2)	11線部329F, 胴部329F'	11線部329F, 胴部329F~329F'		52
11	C-337	SK39	2層	土師器	甕	(21.0) × (13.7)	11線部329F, 胴部329F~329F' → 329F'	11線部329F, 胴部329F'		52
12	C-338	SK39	5層	土師器	甕	(18.2) × (15.1)	11線部329F, 胴部329F~329F'	11線部329F, 胴部329F'		52
13	E-074	SK39	埋土	須恵器	海	(16.2) × (8.8) × 6.7	30%調整, 底面刻痕329I'9 → 手持329I'9	30%調整	内面自然釉	52
図号	登録番号	出土遺構	層位	種別	器種	備考			写真 掲載	
14	N-23	SK39	埋土	鉄製品	刀子	両側, 残存長10.6, 幅1.4, 厚0.6cm			52	



第59図 土坑出土遺物(4)

図号	登録番号	出土遺構	層位	地区	種別	器種	分類	長さ×幅×厚さ (cm)	重量(g)	石材	備考	写真 掲載
1	K-006	SK43	埋土	3A	石製品	結核差	-	2.0 × 4.7 × 2.1	28.51	硬砂岩	矢筈部, 最大径15.0cm, 穿孔径0.6cm	52

(4) ビット(第60～64図)

ビット(小柱穴)は、2B区で137基、3A区で572基が検出された。検出状況や遺構重複から大半が堅穴住居跡が切っている。登録番号については、各調査区においてP-1から使用している。

2B区IVa層上面においてはSB1及びSB2を構成する柱穴以外にも多数のビットが確認された。これらは全て堅穴住居跡より後出のものと考えられ、また北半部においてはSD6～11の溝群よりは先行するものであることがわかった。ビットの中には形状が方形基調で大型のものから、円形・方形で小型のもの、或いは円形で土坑状を呈する大型のものなど様々で、中には柱痕跡を有するものも多数確認できたことより、これらが何かしら建物の柱穴又は柱列を構成するものと考えられるものも含まれるが、残念ながら柱穴の組み合わせにより建物と認定するには至らず、ここに報告することとした。

3A区では572基が検出された。検出面はIVa層上面であるが、上層より削平を受けている。大半が堅穴住居跡を切っている。溝跡・小溝を切るもの・切られるものがある。形状は円形・隅丸方形・楕円形・方形などがある。

X = -197,870より南では、円形で大型・小型のものが疎らにみられる。X = -197,870からX = -197,870の間では密集し、ビット同士の重複が顕著である。円形・方形で大型のもの、円形で小型のものがある。X = -197,870から北では円形で小型のものが列状に並んでいる箇所もある。

柱痕跡を有するものは100基ほどあり、何らかの建物を構成するものの可能性も考えられる。また堅穴住居跡周辺に、住居跡を囲むように検出されたビットもあり、これらを堅穴住居跡と組み合わせ検討する必要がある。

以下、ビットの中で建物跡とは認識されなかったが、その可能性のあるものの詳細を述べる。

① 2B区のビット(第60図)

方形の柱穴群

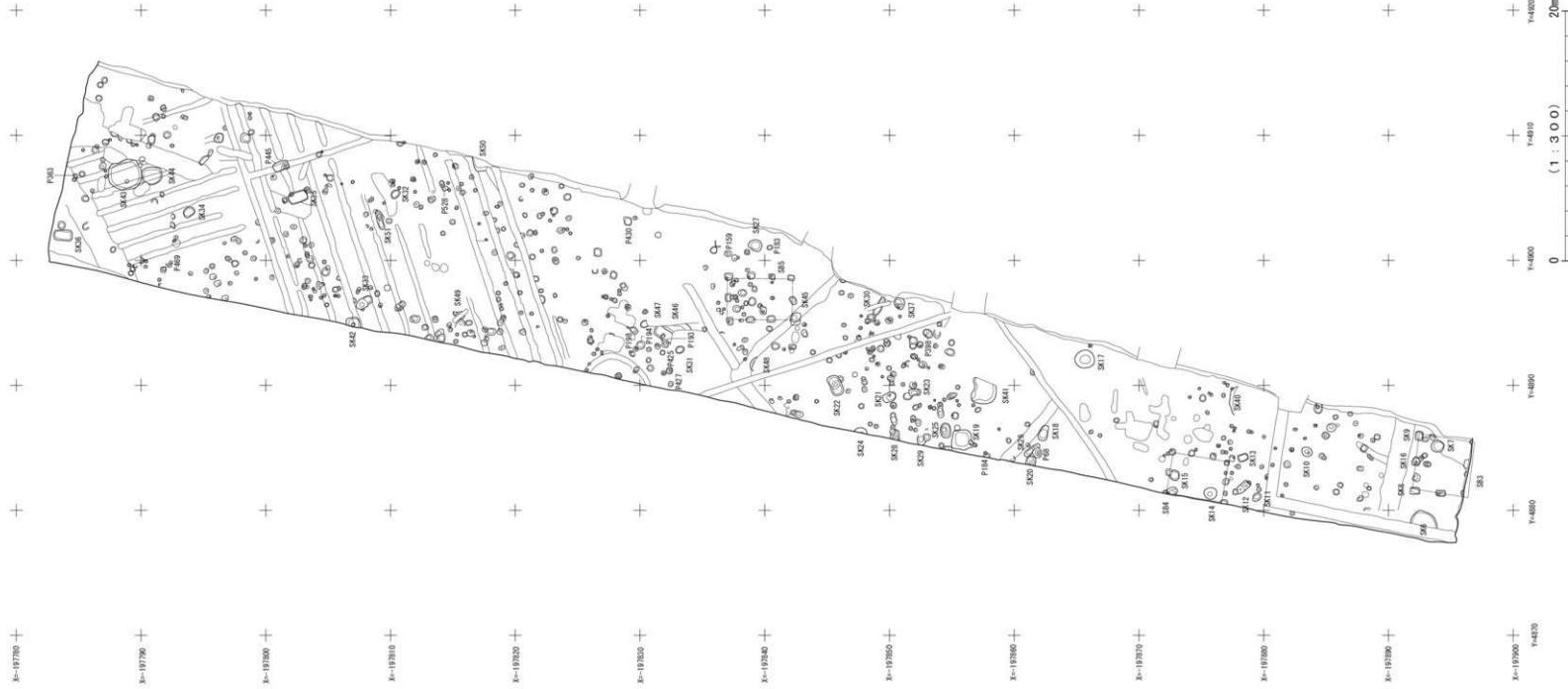
2B区南側、SI17の南側において確認した形状が方形の大型のビット群で、P72・73・74・75・92に加えP78などがある。これらの中ではP72と75に柱痕跡が確認されている。P72・75・92は形状が長方形で、長軸は1mを超え、短軸側でも70cm以上であることからSB1・2の柱穴と比較しても遜色ないものである。P75の南側には形状が楕円形でやや浅めではあるが同規模のP78が軸線上に乗り、またP75とP78・92双方との間隔が各2m、P92とP72との間隔が6mであることを考慮すると、この4つの柱穴群はP92を北西側の隅柱とする建物跡を構成するもので、P92とP72との間の柱穴は攪乱により失われている可能性もある。但しこれはあくまで推定の域を出ず、逆にP92を北東側の隅柱とし西側に展開することも考えられる。

土坑状のビット

方形の柱穴群同様、2B区南側に位置するP65・137やP74・77などは形状こそ柱穴に類似するものもあるが、柱痕跡は認められず、また他の小ビットとは異なり、大型のもので何かしら別の用途をもった土坑の可能性も考えられる。P65は長軸105cm、短軸82cmの楕円形のもので、深さは80cmと深く、底面が平坦面とならないものである。堆積土は4層で最上層のみにIV層をブロック状に多量含んでおり、形状・堆積土共に柱穴とは考え難いものである。P74・77は形状が隅丸の長方形で、P74はやや小型ではあるが、いずれも壁面は直立し、平坦な底面がみられる。これらは柱穴の可能性も否定できないが、堆積土において他の方形の柱穴とは相違しており、特にP77においては他にあまりみられない黒褐色土中にIV層をブロック状に密に含むことより人為的に埋め戻された土坑と考えられる。



第60図 掘立柱建物跡・土坑・ピット 2B区



第61図 掘立柱建物跡・土坑・ピット 3A区

小ピット群

2B区全体にわたり円形或いは正方形基調の小ピットを多数確認した。これらはⅣa層上面確認のものもあれば、住居跡群等の遺構堆積土上面確認のもの、また結果的に遺構掘り方底面での確認となったものなど様々であるが、ほぼ全体が住居跡群より新しいものと理解できる。ピット中には柱痕跡を有するものも多数あり、これらの多くは何かしらの建物跡を構成する柱穴と考えられる。しかしながらこれらの組み合わせにより建物跡と認め得るものは無かった。

② 3A区ピット(第61・62図)

3A区柱穴列

3A区中央部に位置するP193・194・198・425は、形状は異なるが柱痕跡が確認されたピットである。P193は長軸63cm、短軸51cmの隅丸方形で、深さ63cmを測る。その北側には同規模のP194が軸線上にのり、西側に若干規模の小さい円形のP425がある。P198は長軸58cm、短軸55cmの方形で、深さ64cmを測る。底面は平坦で、形状・規模ともに他のピットとは異なる。堆積土はいずれも黒褐色シルト土が主体である。これらのピットは、上部を削平されている為、詳細は不明であるが、周辺にも柱痕跡をもつピットがあり、それらを含めて柱穴列、或いは何らかの建物跡の可能性も指摘できよう。

③ ピット出土遺物

[2B区ピット出土遺物] (第63図)

2B区P53・65からは、土師器甕各1点を掲載した。P65出土の2は底部切り離し技法が静止糸切りである。

[3A区ピット出土遺物] (第63・64図)

P68からは、土師器壺1点、須恵器皿2点を掲載した。4・5ともに口径が大きく、5は高台がついている。

P159からは、土師器杯2点を掲載した。6・7ともに皿もしくは盤状で、6は平底状の底部を有し、7は丸底で体部と底部の境目に弱い稜を持つ。

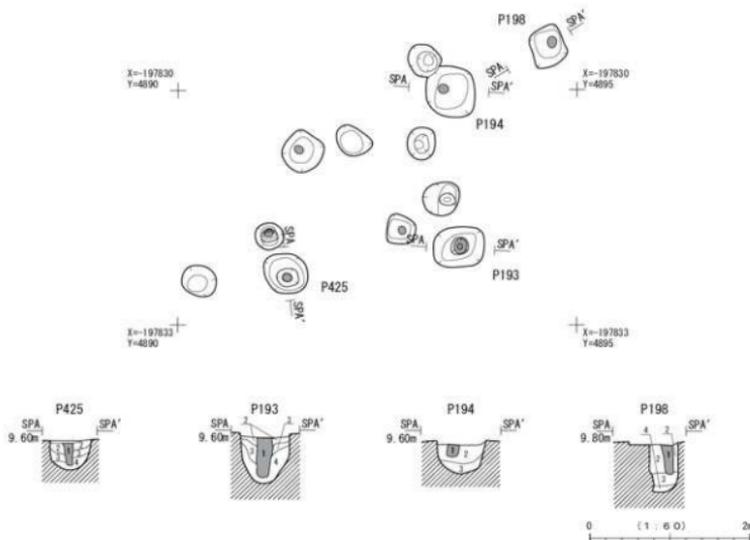
P183からは、刀子1点、P184からは、土鏟1点を掲載した。

P363からは、土師器甕1点、P398・P427からは土師器杯各1点を掲載した。11は、体部と底部の境目に段を持ち、12は、口縁と体部の境目に弱い稜を持つ。

P469からは、土師器壺1点を掲載した。おおぶりの高台付壺で内面黒色処理後、きわめて丁寧なヘラミガキ調整が施されている。

P430は、須恵器杯1点を掲載した。

P528からは、土師器杯1点を掲載した。体部と底部の境目に弱い稜を持ち丸底の底部から外傾し、直立気味の口唇部にいたる。



第62図 3A区ビット193・194・198・425

2B区ビット集計表(1)

遺跡名	グリッド	平面形	長×短×厚(cm)	深さ(cm)	層位	土色	土性	備考
P1	1-2	楕円形	-	-	1	10YR3/3	暗褐色	シルト 褐色土に多い黄褐色土ブロックを含む(柱状跡)
					2	10YR4/4	褐色	シルト 炭化物粒に多い黄褐色土ブロックを含む
P2	1	円形	-	-	1	10YR3/3	暗褐色	シルト 炭化物粒・焼土粒を少量含む(柱状跡)
					2	10YR3/4	暗褐色	シルト 炭化物粒・黒褐色土ブロックを含む
P3	1	不整形	-	-	1	10YR3/3	暗褐色	シルト 炭化物粒・褐色土ブロックを含む
					2	10YR3/3	暗褐色	シルト 炭化物粒を含む
P4	6	楕円形	-	-	1	10YR3/3	暗褐色	シルト 焼土粒を少量、暗褐色土ブロックを含む
P5	9	円形	-	-	1	10YR2/3	暗褐色	シルト 暗褐色土・灰黄褐色土ブロックを含む
P6	9	円形	-	-	1	10YR2/3	暗褐色	シルト 焼土粒、に多い黄褐色土・黒色土・褐色土ブロックを含む
P7	9	不整形	-	-	1	10YR2/3	暗褐色	シルト 黒色土ブロックを含む
P8	9	円形	-	-	1	10YR3/3	暗褐色	シルト 炭化物粒を含む微塵、黒色土・褐色土ブロックを含む
P9	9	楕円形	-	-	1	10YR3/7	-	シルト 焼土粒を微塵含む
P10	9	円形	-	-	1	10YR3/3	暗褐色	シルト 炭化物粒・褐色土小ブロックを含む
P11	9	円形	-	-	1	10YR3/4	暗褐色	シルト 焼土粒を微塵含む
P12	9	円形	-	-	1	10YR3/3	暗褐色	シルト 炭化物粒・褐色土小ブロックを含む(柱状跡)
P13	12	円形	-	-	1	10YR3/3	暗褐色	シルト 褐色土に多い黄褐色土ブロックを含む
P14	12	円形	-	-	2	10YR3/4	暗褐色	シルト 灰黄褐色土ブロックを含む
P15	12	不整形	-	-	1	10YR2/2	黒褐色	シルト 褐色土ブロック・灰黄褐色土ブロックを含む(柱状跡)
P16	12	不整形	-	-	1	10YR3/4	暗褐色	シルト 炭化物粒・褐色土小ブロックを含む
					2	10YR3/4	暗褐色	シルト 炭化物粒・褐色土小ブロックを含む
P17	12	円形	-	-	1	10YR2/3	暗褐色	シルト 焼土粒を少量、暗褐色土ブロックを含む
P18	12	円形	-	-	1	10YR3/3	暗褐色	シルト 炭化物粒を少量、褐色土ブロックを含む(柱状跡)
P19	12	不整形	-	-	1	10YR4/4	褐色	シルト 黒褐色土ブロックを含む
					2	10YR4/4	褐色	シルト 黒褐色土ブロックをまばらに含む
P20	9	円形	-	-	1	10YR2/2	黒褐色	シルト 焼土粒・褐色砂屑を含む
P21	9	円形	-	-	1	10YR3/3	暗褐色	シルト 炭化物粒・焼土粒を微塵、褐色土ブロックを含む
P22	12	楕円形	-	-	1	10YR3/3	暗褐色	シルト 焼土粒・褐色土ブロックを含む
P23	12	円形	-	-	1	10YR3/3	暗褐色	シルト 暗褐色土・褐色土ブロックを含む
P24	12	不整形	-	-	1	10YR3/3	暗褐色	シルト 褐色土のブロックを含む
P25	9	円形	-	-	1	10YR3/4	暗褐色	シルト 暗褐色土・褐色土ブロックを含む
P26	2	不整形	-	-	1	10YR3/4	暗褐色	シルト 炭化物粒・褐色土ブロックを含む
P27	2	不整形	-	-	1	10YR3/4	暗褐色	シルト 褐色土ブロックを含む
P28	1	円形	-	-	1	10YR3/3	暗褐色	シルト 炭化物粒を少量、φ2cm内の焼土ブロックを含む
P29	3	長楕円形	-	-	1	10YR2/3	暗褐色	シルト 暗褐色土ブロックを含む
P30	6	円形	-	-	1	10YR2/3	暗褐色	シルト 焼土粒を少量、黒色土・暗褐色土ブロックを含む
P31	12	円形	-	-	1	10YR3/4	暗褐色	シルト 褐色土・暗褐色土ブロックを含む

20年度ビッド 集計表(2)

選定名	アワード	平面形	長×幅(寸)	深さ(mm)	層位	土色	土性	備考	
P32	12	円形	-	-	1	H0YR3/4	暗褐色	シルト	褐色土・黒褐色土ブロックを含む
P33	12	方形	-	-	1	H0YR3/3	暗褐色	シルト	にふい・黄褐色土・黒褐色土ブロックを含む
P34	12	円形	-	-	2	H0YR2/3	黒褐色	シルト	暗褐色土ブロックを含む(注1)
P35	12-15	楕円形	-	-	1	H0YR3/3	暗褐色	シルト	炭化粉砕物、機上・φ5mm内の褐色砂質土・黒褐色土ブロックを含む
P36	15	楕円形	-	-	1	H0YR3/3	暗褐色	シルト	炭化粉砕物・機上少量、褐色土ブロック、黒褐色土ブロックを含む
P37	17	円形	-	-	1	H0YR4/4	褐色	シルト	暗褐色土ブロックを含む
P38	17	長方形	-	-	1	H0YR2/3	黒褐色	シルト	炭化粉砕物・機上、褐色土ブロックを含む
P39	17	不整形方形	-	-	2	H0YR4/4	褐色	シルト	暗褐色土を含む
P40	17	不整形方形	-	-	1	H0YR2/3	黒褐色	シルト	機上粉を少量、褐色土ブロックを含む
P41	19	不整形円形	-	-	1	H0YR2/2	暗褐色	シルト	にふい・黄褐色土ブロックを含む(注1)
P41	19	不整形円形	-	-	2	H0YR3/4	暗褐色	シルト	黒土・褐色土ブロックを含む
P41	19	長方形	-	-	1	H0YR2/3	黒褐色	シルト	機上土ブロック・暗褐色土ブロックを含む(注1)
P41	19	長方形	-	-	2	H0YR3/4	暗褐色	シルト	褐色土・にふい・黄褐色土ブロックを含む
P42	19	円形	-	-	1	H0YR4/4	褐色	シルト	機上粉を少量、褐色土ブロックを含む
P43	19	円形	-	-	1	H0YR2/3	暗褐色	シルト	炭化粉砕物・褐色土ブロックを含む
P44	19	円形	-	-	1	H0YR2/3	黒褐色	シルト	炭化粉砕物・暗褐色土小ブロックを含む
P45	19	-	-	-	-	-	-	-	(SB2)
P46	19-21	-	-	-	-	-	-	-	(SB1)
P47	21	-	-	-	-	-	-	-	(SB2)
P48	21	-	-	-	-	-	-	-	(SB1)
P49	21	円形	-	-	1	H0YR4/4	褐色	シルト	暗褐色土ブロックを上層に、φ3mm内黒褐色土ブロックを含む
P50	21	円形	-	-	1	H0YR3/4	-	シルト	にふい・黄褐色土・黒褐色土ブロックを含む
P51	21	-	-	-	-	-	-	-	(SB2)
P52	21	-	-	-	-	-	-	-	(SB1)
P53	21	円形	-	-	1	H0YR2/3	黒褐色	シルト	機上粉・褐色土ブロックを含む
P54	21	-	-	-	-	-	-	-	(SB1)
P55	21-23	-	-	-	-	-	-	-	(SB1)
P56	23	円形	-	-	1	H0YR3/3	暗褐色	シルト	褐色土小ブロックを含む
P57	23	円形	-	-	1	H0YR2/3	黒褐色	シルト	機上粉を少量、褐色土ブロックを含む
P58	23	円形	-	-	1	H0YR2/3	黒褐色	シルト	機上粉を少量、褐色土小ブロックを含む(注1)
P58	23	円形	-	-	2	H0YR3/3	暗褐色	シルト	にふい・黄褐色土ブロックを含む
P58	23	円形	-	-	1	H0YR3/3	暗褐色	シルト	機上粉を少量含む(注1)
P59	23	円形	-	-	2	H0YR2/4	暗褐色	シルト	炭化粉砕物少量、褐色土ブロックを層下に少量含む
P59	23	円形	-	-	1	H0YR2/2	黒褐色	シルト	炭化粉砕物を含む
P60	23	円形	-	-	2	H0YR3/3	暗褐色	シルト	褐色土ブロックを含む
P61	23	楕円形	-	-	1	H0YR2/3	黒褐色	シルト	炭化粉砕物、褐色土ブロックを上層に含む
P62	23	方形	-	-	1	H0YR3/3	暗褐色	シルト	黒色土・褐色土ブロックを含む
P63	21	-	-	-	-	-	-	-	(SB1)
P64	23	円形	-	-	1	H0YR3/3	暗褐色	シルト	炭化粉砕物を少量、黄褐色土・にふい・黄褐色土ブロックを含む
P65	25	楕円形	-	-	1	H0YR3/4	暗褐色	シルト	φ2mm内の各層ブロックを少量含む
P65	25	楕円形	-	-	2	H0YR5/6	黄褐色	砂質シルト	炭化粉砕物・機上粉を少量含む
P65	25	楕円形	-	-	2	H0YR1/1	暗褐色	砂質	機上粉
P65	25	楕円形	-	-	4	H0YR5/4	にふい・黄褐色	シルト	各層ブロックを少量含む
P66	25	不整形方形	-	-	1	H0YR2/4	暗褐色	シルト	炭化粉砕物・褐色土ブロックを少量含む
P67	25	円形	-	-	1	H0YR3/4	暗褐色	シルト	炭化粉砕物・機上粉を少量、褐色土ブロックを含む
P68	25	方形	-	-	1	H0YR3/3	暗褐色	シルト	炭化粉砕物・機上土ブロックを含む(注1)
P69	25	方形	-	-	2	H0YR4/4	褐色	シルト	にふい・黄褐色土ブロックを含む
P69	25	方形	-	-	1	H0YR3/3	暗褐色	シルト	炭化粉砕物を少量、褐色土ブロックを含む
P70	25	円形	-	-	1	H0YR3/3	暗褐色	シルト	機上粉を少量、黒褐色土・褐色土ブロックを含む
P71	23	楕円形	-	-	1	H0YR2/4	暗褐色	シルト	炭化粉砕物・褐色土・黒褐色土ブロックを含む(注1)
P72	25	長方形	-	-	1	H0YR4/4	褐色	シルト	炭化粉砕物を少量含む(注1)
P72	25	長方形	-	-	2	H0YR5/4	にふい・黄褐色	砂質	各層ブロックを少量含む
P73	25	長方形	-	-	1	H0YR3/4	暗褐色	シルト	黒褐色土・褐色土ブロックを含む
P73	25	長方形	-	-	2	-	-	-	(注1なし)
P73	25	長方形	-	-	3	-	-	-	(注1なし)
P74	25	長方形	-	-	1	H0YR2/2	黒褐色	シルト	H0YR4/4褐色土ブロックを密に含む
P74	25	長方形	-	-	1	H0YR3/4	暗褐色	シルト	φ1cm内の炭化粉砕物を少量含む(注1)
P74	25	長方形	-	-	2	H0YR4/4	褐色	シルト	φ3mm内の各層ブロック、炭化粉砕物を少量含む
P75	27	長方形	-	-	3	H0YR5/4	にふい・黄褐色	砂質	機上粉
P76	23	円形	-	-	1	H0YR3/3	暗褐色	シルト	炭化粉砕物・にふい・黄褐色土小ブロック・灰黄褐色土ブロックを少量含む
P77	27	長方形	-	-	1	H0YR2/2	黒褐色	シルト	φ5cm内の各層ブロックを密に含む
P77	27	長方形	-	-	2	H0YR4/3	にふい・黄褐色	砂質シルト	機上粉を少量含む
P78	27	不整形長方形	-	-	1	H0YR3/4	暗褐色	シルト	褐色土小ブロック、黒褐色土小ブロックをまばらに含む
P79	-	-	-	-	-	-	-	-	(SB24-P1)
P80	27	楕円形	-	-	1	H0YR2/3	黒褐色	シルト	炭化粉砕物・機上粉・褐色土ブロックを含む
P81	3	円形	-	-	1	H0YR3/4	暗褐色	シルト	炭化粉砕物を少量、にふい・黄褐色土ブロックをまばらに含む
P82	3	円形	-	-	1	H0YR4/3	にふい・黄褐色	シルト	φ1cm内の各層ブロックを少量、炭化粉砕物を少量含む
P83	18	円形	-	-	1	H0YR4/4	褐色	シルト	機上粉
P84	15	円形	-	-	1	H0YR4/4	褐色	シルト	炭化粉砕物・機上粉を少量含む
P85	6	円形	-	-	1	H0YR2/4	暗褐色	シルト	褐色土ブロックを含む
P86	9	円形	-	-	1	H0YR4/6	褐色	シルト	にふい・黄褐色土ブロックを含む
P87	9	円形	-	-	1	H0YR4/4	褐色	砂質シルト	黄褐色土ブロックを少量含む
P88	9	楕円形	-	-	1	H0YR4/4	褐色	シルト	炭化粉砕物・黄褐色土ブロックを含む
P89	9	円形	-	-	1	H0YR4/4	褐色	シルト	炭化粉砕物・黄褐色土ブロックを含む
P90	25	方形	-	-	1	H0YR3/4	暗褐色	シルト	炭化粉砕物、機上粉を少量、灰黄褐色土ブロックを層下に含む
P91	4	方形	-	-	1	H0YR3/4	暗褐色	シルト	炭化粉砕物、機上・明黄褐色土・褐色土ブロックを含む

2区区ビッド 集計表(3)

建番名	グリッド	平面形状	長×幅×厚(m)	深さ(m)	層位	土色	土性	備考
P92	25	長方形	-	-	1	10YR4/4	褐色	シルト 炭化物・焼土粒を少量、黄褐色土ブロックを含む
					2	10YR4/6	褐色	シルト 黄褐色土ブロックを含む
					3	10YR3/4	暗褐色	シルト 炭化物粒・焼土粒を微量、褐色土小ブロックを含む
					4	10YR4/6	褐色	シルト 砂質土を層状に含む
P93	1	円形	-	-	1	10YR3/4	暗褐色	シルト 炭化物粒・褐色土ブロックを含む
P94	12	円形	-	-	1	10YR3/4	暗褐色	シルト 焼土ブロックを含む(柱継跡)
P95	12	円形	-	-	1	10YR3/3	暗褐色	シルト 暗褐色土ブロックを含む
P96	12	円形	-	-	1	10YR3/3	暗褐色	シルト 炭化物粒を微量含む
P97	14-15	円形	-	-	1	10YR3/4	暗褐色	シルト 褐色土ブロックを含む
P98	15	円形	-	-	1	10YR3/3	暗褐色	シルト 褐色土ブロックを含む
P99	15	円形	-	-	1	10YR3/4	暗褐色	シルト 焼土粒を微量、褐色土ブロックを含む
P100	14	円形	-	-	1	10YR2/3	黒褐色	シルト 炭化物粒を微量、にふい黄褐色土ブロックを含む(柱継跡)
					2	10YR3/4	暗褐色	シルト 褐色土ブロックを含む
P101	11	不整形円形	-	-	1	10YR2/3	黒褐色	シルト (柱継跡)
P102	11-12	円形	-	-	1	10YR3/4	暗褐色	シルト 炭化物粒を微量、褐色土ブロックを含む
P103	11	円形	-	-	1	10YR3/4	暗褐色	シルト 炭化物粒を微量、褐色土ブロックを含む
P104	11	不整形円形	-	-	1	10YR2/2	黒褐色	シルト 灰黄褐色土を含む(柱継跡)
P105	11	円形	-	-	2	10YR3/4	暗褐色	シルト 褐色土ブロックを含む
P106	11	円形	-	-	1	10YR3/4	暗褐色	粘シルト 黒褐色土・褐色土ブロックを層上層下、焼土粒を層下層下に含む
P107	12	方形	-	-	1	10YR3/3	暗褐色	シルト 褐色土ブロックを含む
P108	14	不明	-	-	2	10YR3/3	暗褐色	シルト 炭化物粒を微量含む(柱継跡)
P109	14	楕円形	-	-	1	10YR3/4	暗褐色	シルト 炭化物粒を微量、褐色土ブロックを少量含む
P110	11	円形	-	-	1	10YR3/4	暗褐色	シルト 炭化物粒・焼土ブロックにふい黄褐色土ブロックを含む
P111	1	不明	-	-	1	10YR4/4	褐色	シルト 炭化物粒を微量含む
P112	11	不明	-	-	1	10YR3/4	暗褐色	シルト 焼土粒を微量、にふい黄褐色土ブロックを含む
P113	12	不明	-	-	1	10YR3/4	暗褐色	シルト 炭化物粒・焼土粒・褐色土ブロックを含む
P114	6	円形	-	-	1	10YR2/3	黒褐色	シルト 砂質ブロック、層状に砂質土を含む
P115	6	不整形円形	-	-	1	10YR3/3	暗褐色	シルト 炭化物粒・褐色土ブロックを含む(柱継跡)
					2	10YR4/4	褐色	シルト 炭化物粒・黒褐色土ブロックを含む
P116	6	円形	-	-	1	10YR3/3	暗褐色	シルト 炭化物粒・褐色土ブロックを含む
					2	10YR4/4	褐色	シルト 黒褐色土小ブロックを含む
P117	6	不明	-	-	1	10YR3/3	暗褐色	シルト 黒褐色土・褐色土ブロックを含む
P118	6	円形	-	-	1	10YR3/3	暗褐色	粘シルト 炭化物粒・焼土粒を微量含む(柱継跡)
P119	3	円形	-	-	1	10YR3/4	暗褐色	粘シルト 褐色砂質土にふい黄褐色土ブロックを含む
					2	10YR3/2	黒褐色	シルト 焼土粒を微量、褐色土ブロックを含む
P120	27	不明	-	-	1	10YR4/4	褐色	砂質シルト 互層ブロックを少量含む
P121	27	不明	-	-	2	10YR3/4	暗褐色	砂質シルト 互層ブロックを微量含む
P122	27	不明	-	-	1	10YR3/3	暗褐色	シルト 互層ブロックを少量含む
P123	23	長方形	-	-	1	10YR4/4	褐色	シルト 炭化物粒・焼土粒を含む(柱継跡)
					2	10YR3/4	暗褐色	シルト 炭化物粒を微量、黄褐色土ブロックを含む
P124	21	円形	-	-	1	10YR3/4	暗褐色	シルト 褐色土・黒褐色土ブロックを含む
P125	21	円形	-	-	1	10YR4/4	褐色	シルト 焼土粒を微量、褐色土ブロックを含む
					2	10YR3/4	暗褐色	シルト 炭化物・黄褐色土ブロックを含む 柱継跡
P126	23	円形	-	-	1	10YR3/4	暗褐色	シルト 炭化物粒を少量含む(柱継跡)
P127	15	円形	-	-	2	10YR4/4	褐色	シルト 炭化物粒を微量、黄褐色土ブロックを含む
P128	21	-	-	-	1	10YR4/4	褐色	砂質シルト 炭化物粒・焼土ブロックを少量含む
P129	19	-	-	-	-	-	-	(SR2)
P130	19	-	-	-	-	-	-	(SR2)
P131	20	-	-	-	-	-	-	(SR2)
P132	21	-	-	-	-	-	-	(SR2)
P133	21	-	-	-	-	-	-	(SR2-未測)
P134	1	円形	-	-	1	10YR4/4	褐色	シルト 炭化物粒を少量含む (注記なし)
P135	1	不明	-	-	1	10YR3/4	暗褐色	シルト 炭化物粒・焼土粒を含む
P137	25	不明	-	-	1	10YR4/4	褐色	シルト 炭化物粒・焼土粒を少量含む

3A区ビッド 集計表(1)

建番名	グリッド	形状	長×幅×厚(m)	深さ(m)	層位	土色	土性	備考
P1	5	円形	42 × 38	24.8	1	-	-	にふい黄褐色 砂質土 地山ブロックが密に入っている
P2	5	円形	55 × 36	24.4	1	-	-	暗褐色 砂質土 地山ブロックが密に入っている
P3	5	楕円形	56 × 55	70.1	1	-	-	褐色 砂質土 地山ブロックが多く入っている・炭化物の粒が少入っている
P4	8	円形	33 × 32	16.0	1	-	-	にふい黄褐色 砂質土 暗褐色のブロックが少入っている 柱継跡
P5	8	円形	37 × -	13.0	1	-	-	にふい黄褐色 砂質土 暗褐色のブロックが少入っている 柱継跡
P6	8	楕円形	39 × 38	28.5	1	-	-	褐色 砂質土 暗褐色のブロックが多く入っている・焼土の粒が少入っている 柱継跡
P7	8	円形	27 × 27	10.0	1	-	-	にふい黄褐色 砂質土 暗褐色のブロックが少入っている 柱継跡
P8	8	円形	49 × 48	32.0	1	-	-	褐色 砂質シルト 地山ブロックが多く入っている
P9	8	円形	32 × 31	27.5	1	-	-	黒褐色 砂質シルト 地山ブロックが多く入っている・炭化物の粒がわずかに入っている
P10	8	円形	45 × 43	47.0	1	-	-	褐色 砂質シルト 地山ブロックの多いブロックが多く入っている
P11	8	円形	30 × 50	28.5	1	-	-	暗褐色 砂質シルト 炭化物の粒がわずかに入っている 柱継跡
P12	11	円形	40 × 40	27.1	1	-	-	褐色 砂質シルト 地山ブロックが少入っている
P13	8	楕円形	58 × 47	23.5	1	-	-	灰黄色 砂質土 炭化物の粒が少入っている

3A既ビット 集計表②

遺構名	グロブ	形状	長×短(寸)	厚(寸)	層位	土色	土性	備考	
P14	8-11	長方形	57 × 47	20.6	1	-	黒褐色	砂質シルト	炭化物の殻が少し入っている 柱頭跡
P15	11	円形	30 × 27	21.0	1	-	暗褐色	砂質シルト	地山アロクと炭化物の殻が少し入っている
P16	11	円形	32 × 31	31.1	1	-	暗褐色	砂質シルト	地山アロクが多く入っている 柱頭跡
P17	11	円形	35 × 34	19.7	1	-	褐色	砂質シルト	地山アロクと炭化物の殻がわずかに入っている
P18	11	円形	28 × 24	32.9	1	-	褐色	砂質シルト	
P19	11	円形	57 × 56	27.2	1	-	暗褐色	砂質シルト	地山アロクが少し入っている-炭化物の殻がわずかに入っている 柱頭跡
P20	11	円形	36 × 34	22.0	1	-	にぶい黄褐色	砂質土	地山アロクがわずかに入っている 柱頭跡
P21	11	円形	47 ×	31.8	1	-	暗褐色	砂質シルト	
P22	11	円形	28 × 28	5.5	1	-	にぶい黄褐色	砂質土	地山アロクがわずかに入っている
P23	11	円形	26 × 16	21.2	1	-	黒色	砂質シルト	地山アロクが多く入っている
P24	14	楕円方形	44 × 35	25.0	1	-	暗褐色	砂質シルト	地山アロクがわずかに入っている 柱頭跡
P25	8	円形	75 × 65	36.5	1	-	暗褐色	砂質シルト	地山アロクが少し入っている-炭化物と焼土の殻が少し入っている
P26	11-14	円形	26 × 26	11.3	1	-	黒褐色	砂質土	地山アロクが多く入っている-焼土の殻がわずかに入っている
P27	14	円形	33 × 30	22.8	1	-	暗褐色	砂質シルト	地山アロクが少し入っている-焼土と炭化物の殻が少し入っている 柱頭跡
P28	14	不明	×	19.9	1	-	-	-	-
P29	14	円形	50 × 48	29.5	1	-	にぶい黄褐色	砂質土	
P30	14	楕円方形	50 × 44	56.5	1	-	-	-	-
P31	14	方形	50 × 44	42.8	1	-	暗褐色	砂質シルト	焼土の殻がわずかに入っている
P32	16	円形	30 × 30	30.2	1	-	-	-	-
P33	16	円形	55 × 51	49.0	1	-	-	-	-
P34	16	楕円方形	50 × 47	43.0	1	-	-	-	-
P35	16	不明	50 ×	27.2	1	-	-	-	-
P36	11	円形	30 × 27	17.5	1	-	黒褐色	砂質シルト	炭化物の殻が少し入っている
P37	11	円形	45 × 45	22.4	1	-	暗褐色	砂質シルト	炭化物と焼土の殻がわずかに入っている 柱頭跡
P38	14	円形	33 × 28	36.7	1	-	黒褐色	砂質シルト	炭化物と焼土の殻がわずかに入っている
P39	14	円形	28 × 23	13.0	1	-	暗褐色	砂質シルト	地山アロクが多く入っている
P40	15	円形	32 × 23	24.2	1	-	緑灰色	砂質シルト	地山アロクが多く入っている
P41	14	円形	30 × 28	18.7	1	-	にぶい黄褐色	砂質シルト	地山アロクが密に入っている
P42	16	円形	22 × 22	20.8	1	-	黒褐色	砂質シルト	地山アロクが少し入っている-焼土の殻がわずかに入っている
P43	16	円形	25 × 22	11.5	1	-	暗褐色	砂質シルト	地山アロクが少し入っている
P44	14	円形	28 × 27	22.4	1	-	暗褐色	砂質シルト	地山アロクが少し入っている
P45	14	方形	40 × 40	28.6	1	-	暗褐色	砂質シルト	地山アロクが少し入っている 柱頭跡
P46	16	円形	24 × 20	17.8	1	-	暗褐色	砂質シルト	下層に地山アロクが密に入っている
P47	14	円形	28 × 25	14.4	1	-	にぶい黄褐色	砂質土	地山アロクが密に入っている 柱頭跡
P48	14	方形	25 × 24	25.1	1	-	にぶい黄褐色	砂質土	地山アロクが密に入っている 柱頭跡
P49	14	方形	36 × 30	27.4	1	-	暗褐色	砂質シルト	炭化物と焼土の殻がわずかに入っている
P50	14	円形	36 ×	24.7	1	-	にぶい黄褐色	砂質土	地山アロクが多く入っている-炭化物の殻が少し入っている
P51	16	円形	55 ×	15.5	1	-	にぶい黄褐色	砂質土	地山アロクが多く入っている 柱頭跡
P52	14	円形	25 × 22	15.0	1	-	暗褐色	シルト	
P53	14	円形	22 × 21	22.5	1	-	暗褐色	シルト	
P54	14	円形	36 × 26	16.3	1	-	にぶい黄褐色	砂質土	地山アロクが密に入っている 柱頭跡
P55	14	円形	40 × 49	23.3	1	-	にぶい黄褐色	砂質シルト	地山アロクが密に入っている
P56	14-16	楕円形	52 × 28	20.2	1	-	暗褐色	シルト	黒褐色・シルトのブロックが少し入っている
P57	14	楕円方形	×	42	8.7	1	暗褐色	砂質シルト	焼土殻が少し入っている(住居の敷道)
P58	5	方形	46 × 40	35.3	1	-	暗褐色	砂質シルト	地山アロクが少し入っている 柱頭跡
P59	14	円形	33 × 28	51.0	1	-	暗褐色	砂質シルト	地山アロクが密に入っている
P60	14	円形	35 × 34	19.8	1	-	灰褐色	砂質土	
P61	5	円形	22 × 17	44.7	1	-	にぶい黄褐色	砂質土	地山アロクが密に入っている
P62	14	円形	40 × 38	27.8	1	-	暗褐色	砂質シルト	炭化物のブロックが少し入っている
P63	10	楕円方形	28 × 32	24.7	1	-	暗褐色	砂質シルト	地山アロクが多く入っている-炭化物のブロックが少し入っている
P64	16	円形	35 × 32	15.0	1	-	にぶい黄褐色	砂質シルト	地山アロクが密に入っている
P65	11	円形	21 × 19	1.8	1	-	黒褐色	砂質シルト	焼土と炭化物のブロックが少し入っている-骨片がわずかに入っている
P66	22	楕円方形	44 × 39	17.5	1	-	褐色	砂質シルト	地山アロクが少し入っている
P67	22	円形	24 × 22	28.2	1	-	暗褐色	砂質シルト	地山アロクが多く入っている
P68	20	円形	43 × 73	59.5	1	-	にぶい黄褐色	砂質土	地山アロクが密に入っている 柱頭跡
P69	22	円形	30 × 22	25.7	1	-	暗褐色	シルト	焼土と炭化物の殻が少し入っている
P70	22	円形	28 × 27	40.8	1	-	暗褐色	シルト	地山アロクが少し入っている-炭化物の殻がわずかに入っている
P71	22	楕円方形	48 × 27	14.1	1	-	にぶい黄褐色	砂質シルト	地山アロクと黒褐色・シルトのブロックが多く入っている
P72	22	方形	30 × 22	24.2	1	-	暗褐色	砂質シルト	地山アロクが多く入っている
P73	22	円形	40 × 55	27.8	1	-	暗褐色	砂質シルト	地山アロクが少し入っている
P74	22	楕円方形	26 × 25	22.1	1	-	暗褐色	シルト	下層に地山アロクが多く入っている
P75	22	円形	23 × 23	16.0	1	-	褐色	砂質シルト	地山アロクが密に入っている
P76	22-24	不整形	88 × 45	24.5	2	-	にぶい黄褐色	砂質シルト	地山アロクが少し入っている
P77	24	楕円方形	30 × 32	13.5	1	-	暗褐色	砂質シルト	地山アロクが多く入っている
P78	24	円形	52 × 46	54.2	1	-	暗褐色	シルト	地山アロクが多く入っている-炭化物のブロックが少し入っている 柱頭跡
P79	24	楕円形	57 × 40	51.6	1	-	暗褐色	シルト	
P80	24	円形	32 × 29	12.1	1	-	暗褐色	シルト	地山アロクが多く入っている
P81	24	円形	38 × 28	33.7	1	-	黒褐色	シルト	
P82	24	円形	37 × 21	15.6	1	-	暗褐色	シルト	地山アロクが多く入っている
P83	24	楕円形	52 × 40	21.5	1	-	黒褐色	シルト	地山アロクが多く入っている
P84	24	円形	57 × 45	46.3	1	-	黒褐色	シルト	炭化物の殻が少し入っている
P85	24	円形	45 ×	22.2	1	-	暗褐色	シルト	焼土の殻が少し入っている
P86	24	円形	30 × 23	12.2	1	-	暗褐色	シルト	地山アロクが多く入っている

3A区ビット 集計表(3)

遺構名	グリッド	形状	長×幅×厚(cm)	深さ(cm)	層位	土色	土性	備考	
F87	24	円形	32×28	20.2	1	-	暗褐色	砂質シルト	地山ブロックが少し入っている
F88	24	円形	34×30	45.6	1	-	黒褐色	シルト	
F89	24	円形	39×51	56.8	1	-	暗褐色	シルト	地山ブロックが多く入っている
F90	24	円形	36×34	1ベベルなし	1	-	暗褐色	シルト	地山ブロックが多く入っている 柱状跡
F91	24	円形	30×45	19.3	1	-	暗褐色	シルト	地山ブロックが多く入っている
F92	26	円形	36×35	20.2	1	-	暗褐色	シルト	
F93	26	円形	35×31	41.0	1	-	暗褐色	シルト	
F94	24	円形	51×50	21.8	1	-	暗褐色	シルト	地山ブロックが多く入っている 柱状跡
F95	26	円形	45×43	25.9	1	-	暗褐色	シルト	地山ブロックが多く入っている
F96	26	円形	48×37	36.4	1	-	暗褐色	シルト	
F97	26	円形	33×33	1ベベルなし	1	-	黒褐色	シルト	地山ブロックが入っている 柱状跡
F98	27	円形	45×40	27.3	1	-	暗褐色	シルト	炭化物が入っている
P99	27	円形	35×35	13.0	1	-	暗褐色	シルト	地山ブロックが入っている
P100	27	円形	49×38	35.2	1	-	暗褐色	シルト	地山ブロックが少し入っている-炭化物と機土の粒が少し入っている
P101	23	隅丸方形	45×50	50.9	1	-	暗褐色	シルト	上部に地山ブロックが多く入っている(下部には入っていない)
F102	23-25	円形	52×45	15.2	1	-	暗褐色	シルト	地山ブロックが多く入っている
F103	25	円形	71×56	52.5	1	-	黒褐色	シルト	地山ブロックが多く入っている
F104	25	円形	28×24	27.2	1	-	暗褐色	シルト	地山ブロックが多く入っている 柱状跡
P105	25	隅丸方形	52×50	29.7	1	-	暗褐色	シルト	地山ブロックが多く入っている 柱状跡
P106	25	円形	33×31	25.6	1	-	暗褐色	シルト	地山ブロックが多く入っている
P107	25	円形	50×46	47.4	1	-	黒褐色	シルト	地山ブロックが多く入っている
P108	25	円形	37×34	13.7	1	-	暗褐色	シルト	地山ブロックが多く入っている
P109	25-27	円形	41×39	48.2	1	-	暗褐色	シルト	地山ブロックが多く入っている
P110	27	円形	21×20	18.2	1	-	黒褐色	シルト	
P111	27	円形	27×34	27.5	1	-	にぶい黄褐色	シルト	
P112	27	円形	42×40	23.2	1	-	暗褐色	シルト	地山ブロックが多く入っている
P113	27	円形	56×56	36.1	1	-	黒褐色	シルト	地山ブロックが多く入っている
P114	27	隅丸方形	56×	32.3	1	-	黒褐色	シルト	地山ブロックが多く入っている-炭化物と機土の粒がわずかに入っている
P115	25	円形	47×	39.2	1	-	暗褐色	シルト	地山ブロックが多く入っている
P116	27	楕円形	×23	23.6	1	-	暗褐色	シルト	地山ブロックが少し入っている
P117	27	円形	43×28	39.2	1	-	暗褐色	シルト	下部に地山ブロックが多く入っている
P118	27	小笠形	50×40	57.5	1	-	暗褐色	シルト	
P119	25	円形	39×18	17.3	1	-	灰褐色	シルト	灰白色シメントのブロックが少し入っている
P120	25	楕円形	36×30	21.4	1	-	灰褐色	シルト	灰白色シメントのブロックが少し入っている
P121	25	円形	23×23	16.8	1	-	暗褐色	砂質シルト	炭化物のブロックが少し入っている
P122	25-27	隅丸方形	54×50	16.5	1	-	暗褐色	砂質シルト	地山ブロックが多く入っている 柱状跡
P123	27	円形	28×	1ベベルなし	1	-	黒褐色	シルト	地山ブロックが多く入っている-炭化物の粒がわずかに入っている
P124	25-27	円形	59×55	20.7	1	-	暗褐色	砂質シルト	地山ブロックが多く入っている
P125	27	円形	86×43	64.7	1	-	暗褐色	シルト	地山ブロックが多く入っている-炭化物と機土の粒が少し入っている
P126	27	円形	28×26	21.6	1	-	黒褐色	砂質シルト	地山ブロックが多く入っている-炭化物の粒が少し入っている
P127	27	円形	×41	17.8	1	-	黄褐色	砂質シルト	地山ブロックが密に入っている
P128	27	円形	50×47	43.3	1	-	暗褐色	シルト	地山ブロックが密に入っている 柱状跡
P129	24-25	楕円形	64×60	16.5	1	-	暗褐色	砂質シルト	地山ブロックが多く入っている
P130	27	円形	32×		1	-	黒褐色	砂質シルト	地山ブロックが多く入っている
P131	27	円形	28×26	35.7	1	-	暗褐色	砂質シルト	機土の粒が少し入っている
P132	27	円形	40×35	57.5	1	-	暗褐色	砂質シルト	地山ブロックが密に入っている-炭化物のブロックが少し入っている
P133	25	円形	70×67	18.5	1	-	暗褐色	シルト	
P134	27	楕円形	×36	37.5	1	-	褐色	砂質シルト	地山ブロックが密に入っている
P135	27	円形	43×38	48.0	1	-	暗褐色	砂質シルト	地山ブロックが密に入っている-炭化物の粒が少し入っている
P136	27	円形	39×38	21.8	1	-	暗褐色	砂質シルト	地山ブロックが密に入っている 柱状跡
P137	27	隅丸方形	48×40	11.8	1	-	暗褐色	シルト	
P138	27	円形	35×	24.8	1	-	灰褐色	砂質シルト	地山ブロックが多く入っている 柱状跡
P139	27	楕円形	45×	35.7	1	-	黒褐色	シルト	地山ブロックが少し入っている
P140	27	円形	24×22	25.2	1	-	暗褐色	砂質シルト	地山ブロックが多く入っている
P141	24	楕円形	85×46	26.5	1	-	暗褐色	砂質シルト	地山ブロックが少し入っている
P142	23-25	円形	74×53	52.6	1	-	暗褐色	砂質シルト	地山ブロックが少し入っている-炭化物の粒がわずかに入っている
P143	27	楕円形	38×32	32.6	1	-	暗褐色	シルト	地山ブロックが密に入っている
P144	27	円形	41×37	52.3	1	-	黒褐色	シルト	炭化物の粒が少し入っている
P145	27	円形	44×39	53.4	1	-	暗褐色	シルト	地山ブロックが多く入っている 柱状跡
P146	25	円形	50×	15.2	1	-	暗褐色	砂質シルト	地山ブロックが密に入っている
P147	25	円形	28×25	17.2	1	-	暗褐色	砂質シルト	地山ブロックが多く入っている
P148	27	円形	23×20	11.7	1	-	暗褐色	砂質シルト	地山ブロックが多く入っている
P149	30	楕円形	62×45	33.3	1	-	暗褐色	シルト	地山ブロックが少し入っている
P150	25	隅丸方形	48×40	41.2	1	-	暗褐色	シルト	地山ブロックが少し入っている
P151	24	隅丸方形	×	31.7	1	-	褐色	砂質シルト	地山ブロックが少し入っている
P152	24	円形	40×37	16.6	1	-	褐色	砂質シルト	機土の粒がわずかに入っている
P153	27	円形	67×65	62.2	1	-	暗褐色	シルト	地山ブロックが少し入っている
P154	27	円形	33×32	16.3	1	-	にぶい黄褐色	砂質シルト	地山ブロックが密に入っている
P155	29	円形	33×32	16.3	1	-	暗褐色	シルト	地山ブロックが少し入っている
P156	29	円形	35×29	23.6	1	-	暗褐色	シルト	炭化物の粒がわずかに入っている
P157	29	方形	46×39	34.0	1	-	暗褐色	シルト	
P158	29	円形	32×27	4.0	1	-	暗褐色	シルト	地山ブロックが少し入っている
P159	34	円形	57×50	52.9	1	-	褐色	シルト	地山ブロックが少し入っている-機土の粒がわずかに入っている
P160	29	楕円形	106×52	26.3	1	-	褐色	砂質シルト	炭化物の粒と機土の粒が少し入っている
P161	30	円形	65×65	56.0	1	-	褐色	シルト	地山ブロックが多く入っている-炭化物の粒が少し入っている 柱状跡
P162	30	楕円形	64×55	47.2	1	-	暗褐色	シルト	地山ブロックと炭化物のブロックが少し入っている
P163	30	円形	31×30	18.7	1	-	にぶい黄褐色	砂質シルト	地山ブロックが密に入っている

3A版ビット 集計表(4)

遺構名	アソビ	形状	長×短(寸法)	高さ(mm)	層位	土色	土性	備考	
P164	30-33	楕円形	65 × 47	47.4	1	-	暗褐色	シルト	堆山アロクが少し入っている
P165	33	円形	38 × 37	55.7	1	-	にんい黄褐色	シルト	堆山アロクが多く入っている
P166	33	円形	31 × 31	27.2	1	-	暗褐色	シルト	堆山アロクがわずかに入っている
P167	33	円形	20 × 64	17.4	1	-	褐色	砂質シルト	
P168	33	円形	40 × 30	27.4	1	-	褐色	シルト	堆山アロクが少し入っている 柱状跡
P169	33	円形	35 × 21	16.1	1	-	暗褐色	シルト	堆山アロクが少し入っている
P170	33	円形	47 × 57	21.6	1	-	褐色	シルト	堆山アロクが少し入っている
P171	33	円形	36 × 34	20.1	1	-	-	-	
P172	33	円形	48 × 41	34.6	1	-	暗褐色	シルト	堆山アロクが少し入っている
P173	33	円形	64 × 60	50.9	1	-	-	-	
P174	33	円形	35 × 30	74.8	1	-	にんい黄褐色	砂質シルト	堆山アロクが密に入っている 柱状跡
P175	33	楕円形	35 × 22	41.4	1	-	暗褐色	シルト	炭化物の殻が少し入っている
P176	33	楕円形	77 × 53	38.8	1	-	にんい黄褐色	シルト	堆山アロクが密に入っている
P177	27	円形	50 × -	28.3	1	-	にんい黄褐色	砂質シルト	堆山アロクが密に入っている 柱状跡
P178	30	円形	35 × 33	28.8	1	-	褐色	シルト	堆山アロクが密に入っている
P179	30	楕円形	71 × 55	51.0	1	-	暗褐色	シルト	堆山アロクが密に入っている
P180	30	楕円形	106 × 82	38.7	1	-	褐色	砂質シルト	堆山アロクと軽砂アロクが密に入っている
P181	30	楕円形	48 × 48	15.9	1	-	暗褐色	シルト	
P182	33	円形	62 × 52	25.2	1	-	暗褐色	シルト	堆山アロクが多く入っている-炭土のブロックと炭化物のブロックが少し入っている
P183	31	円形	47 × 38	-	1	-	暗褐色	シルト	堆山アロクと黒褐色-シルトのブロックが多く入っている 柱状跡
P184	22	円形	- × -	2.6	1	-	暗褐色	シルト	堆山アロクが密に入っている
P185	38	楕円形	55 × 35	31.0	1	-	にんい黄褐色	砂質シルト	堆山アロクが密に入っている
P186	38	方形	21 × -	12.2	1	-	暗褐色	砂質シルト	堆山アロクが密に入っている
P187	36	円形	35 × 33	35.1	1	-	にんい黄褐色	砂質シルト	堆山アロクが密に入っている-炭化物のブロックが少し入っている 柱状跡
P188	36	楕円形	50 × 49	39.1	1	-	暗褐色	シルト	堆山アロクが少し入っている 柱状跡
P189	36	楕円形	36 × 35	22.5	1	-	暗褐色	シルト	堆山アロクが多く入っている-灰白シルトのブロックが少し入っている 柱状跡
P190	36	円形	45 × 43	43.8	1	-	暗褐色	シルト	炭化物のブロックが少し入っている
P191	36	楕円形	42 × 35	14.5	1	-	褐色	シルト	堆山アロクが少し入っている
P192	36	円形	41 × 30	31.0	1	-	にんい黄褐色	砂質シルト	堆山アロクが密に入っている 柱状跡
P193	36	楕円形	63 × 51	63.0	1	10YR2/3	黒褐色	シルト	柱状跡
					2	10YR2/2	黒褐色	シルト	10YR5.6-6ブロック状に混入
					3	10YR5/6	黄褐色	シルト	10YR3.2-2ブロック状
					4	10YR3/2	黒褐色	粘質シルト	10YR2.3-2ブロック状に混入
					1	10YR3/2	黒褐色	シルト	柱状跡
P194	36	円形	65 × 61	44.5	2	10YR2/2	黒褐色	粘質シルト	10YR5.3ににんい黄褐色土ブロック状に混入
					3	10YR2/3	黒褐色	粘質シルト	
P195	38	円形	42 × 37	48.8	1	-	にんい黄褐色	砂質シルト	堆山アロクが密に入っている 柱状跡
P196	38	円形	24 × 22	20.5	2	-	褐色	シルト	堆山アロクが少し入っている
P197	38	円形	24 × 22	20.5	2	-	にんい黄褐色	砂質シルト	堆山アロクが多く入っている
P197	38	方形	48 × 45	39.1	1	-	暗褐色	シルト	下部に堆山アロクが少し入っている
					1	10YR2/2	黒褐色	シルト	
P198	38	方形	58 × 50	64.7	2	10YR2/2	黒褐色	粘質シルト	10YR4.3ににんい黄褐色土ブロック状に混入-炭化物混入
					3	10YR2/3	黒褐色	粘質シルト	
					4	10YR3/3	暗褐色	粘質シルト	10YR4.4褐色がアロク状に混入
P199	38	不明	- × -	64.0	1	-	暗褐色	シルト	堆山アロクがわずかに入っている-炭土ブロックが少し入っている
P200	37	円形	47 × 43	46.5	1	-	褐色	砂質シルト	堆山アロクが多く入っている
P201	39	円形	33 × 30	37.8	1	-	暗褐色	シルト	堆山アロクが多く入っている-炭化物のブロックが少し入っている
P202	38	楕円形	68 × 44	79.7	1	-	暗褐色	シルト	堆山アロクが少し入っている-炭化物のブロックが少し入っている 柱状跡
P203	38	楕円形	56 × 51	17.6	1	-	褐色	砂質シルト	堆山小ブロックが少し入っている-暗褐色シルトのブロックが少し入っている
P204	38	楕円形	45 × 41	40.3	2	-	暗褐色	シルト	堆山アロクが多く入っている
P204	38	楕円形	45 × 41	40.3	2	-	暗褐色	シルト	堆山アロクが多く入っている
P205	38	円形	52 × 45	68.2	1	-	暗褐色	シルト	堆山アロクがわずかに入っている-炭化物の殻と炭土の殻がわずかに入っている 柱状跡
P206	38	楕円形	42 × 33	25.6	1	-	褐色	シルト	堆山アロクが少し入っている
P207	38	円形	25 × 23	21.6	1	-	暗褐色	砂質シルト	
P208	38	円形	40 × 40	30.8	1	-	暗褐色	シルト	堆山アロクが多く入っている 柱状跡
P209	38	円形	21 × 18	13.5	1	-	暗褐色	シルト	
P210	38	円形	30 × 27	12.8	1	-	にんい黄褐色	砂質シルト	堆山アロクが密に入っている
P211	38	円形	50 × 44	68.7	1	-	にんい黄褐色	砂質シルト	堆山小ブロックが少し入っている 柱状跡
P212	40	円形	47 × 45	14.5	1	-	暗褐色	砂質シルト	
P213	41	楕円形	54 × 50	35.0	1	-	暗褐色	シルト	堆山アロクと黒褐色シルトのブロックが少し入っている
P214	41	楕円形	52 × 40	43.5	1	-	にんい黄褐色	砂質シルト	堆山アロクが多く入っている-炭土に黒褐色土層がある 柱状跡
P215	41	円形	44 × 43	29.0	1	-	暗褐色	砂質シルト	上部に堆山アロクが入っている
P216	41	円形	55 × 51	34.0	2	-	暗褐色	シルト	堆山アロクがやや多く入っている
P217	40	円形	36 × 32	12.5	1	-	にんい黄褐色	砂質シルト	堆山アロクが密に入っている
P218	38	円形	22 × 22	20.1	1	-	暗褐色	シルト	堆山アロクが少し入っている
P219	38	小楕形	73 × 49	20.2	1	-	暗褐色	シルト	堆山小ブロックが少し入っている
P220	41	円形	25 × 23	16.0	1	-	暗褐色	シルト	
P221	41	円形	28 × 26	27.0	1	-	にんい黄褐色	砂質シルト	堆山アロクが密に入っている
P222	41	円形	36 × 25	31.5	1	-	暗褐色	シルト	下部に堆山アロクが少し入っている
P223	41	円形	32 × 25	34.0	1	-	暗褐色	砂質シルト	

3A区ビット 集計表(5)

通称名	グリップ	形状	長×幅×径(mm)	長さ(mm)	幅(mm)	径(mm)	土色	土性	備考
P224	41	円形	30×50	37.5	1	-	暗褐色	砂質シルト	下層に地山ブロックが少し入っている
P225	41	円形	25×	11.5	1	-	暗褐色	砂質シルト	
P226	41	方形	15×52	14.5	1	-	にぶい黄褐色	シルト	地山ブロックが密に入っている
P227	41	円形	36×46	38.0	1	-	にぶい黄褐色	シルト	地山ブロックが密に入っている-炭化物の粒がわずかに入っている
P228	41	円形	40×52	43.5	1	-	褐色	砂質シルト	地山ブロックが少し入っている-機土ブロックがわずかに入っている
P229	41	楕円形	42×34	29.5	1	-	暗褐色	シルト	
P230	41	円形	28×26	17.0	1	-	にぶい黄褐色	砂質シルト	地山ブロックが密に入っている
P231	41	円形	48×43	20.0	1	-	にぶい黄褐色	砂質シルト	地山ブロックが密に入っている
P232	38	方形	30×28	34.5	1	-	暗褐色	砂質シルト	地山ブロックが密に入っている 柱状群
P233	41	不明	-×-	13.5	1	-	-	-	
P234	41	円形	28×23	14.3	1	-	-	-	
P235	40	楕円形	74×	14.3	1	-	にぶい黄褐色	砂質シルト	地山ブロックが密に入っている
P236	43	円形	36×25	25.5	1	-	褐色	シルト	地山ブロックが少し入っている
P237	41-43	円形	40×	18.0	1	-	暗褐色	砂質シルト	地山ブロックが少し入っている-機土ブロックがわずかに入っている
P238	42	円形	59×53	28.0	1	-	にぶい黄褐色	砂質シルト	地山ブロックが密に入っている-炭化物の粒がわずかに入っている
P239	40-42	円形	53×49	24.5	1	-	暗褐色	砂質シルト	地山ブロックが少し入っている
P240	43	円形	35×30	14.2	1	-	にぶい黄褐色	砂質シルト	地山ブロックが密に入っている-機土ブロックがわずかに入っている
P241	43	円形	29×27	19.2	1	-	暗褐色	シルト	下層に地山ブロックが少し入っている
P242	43	円形	44×42	45.8	1	-	暗褐色	シルト	地山ブロックが少し入っている
P243	42	円形	36×35	11.8	1	-	暗褐色	砂質シルト	地山ブロックが少し入っている
P244	42	円形	40×35	14.8	1	-	にぶい黄褐色	砂質シルト	地山ブロックが密に入っている
P245	42	円形	27×22	16.7	1	-	暗褐色	シルト	地山ブロックがわずかに入っている
P246	42	円形	30×29	25.5	1	-	暗褐色	シルト	地山ブロックが少し入っている
P247	40	円形	32×31	31.0	1	-	暗褐色	砂質シルト	地山ブロックが密に入っている 柱状群
P248	42	円形	32×31	31.0	1	-	暗褐色	シルト	地山ブロックが少し入っている
P249	42	円形	32×52	46.5	2	-	黒褐色	シルト	地山ブロックが少し入っている
P249	38	隅丸方形	22×20	15.0	1	-	黒褐色	シルト	地山ブロックが少し入っている
P250	38	隅丸方形	23×23	11.9	1	-	暗褐色	シルト	
P251	38	楕円形	35×27	18.6	1	-	暗褐色	シルト	
P252	41	方形	40×40	38.5	2	-	暗褐色	シルト	地山ブロックが密に入っている
P253	41	隅丸方形	40×50	19.0	1	-	褐色	シルト	地山ブロックが密に入っている
P254	41	隅丸方形	47×38	50.9	1	-	暗褐色	砂質シルト	炭化物の粒が少し入っている
P255	40	円形	27×32	26.5	1	-	にぶい黄褐色	砂質シルト	地山ブロックが密に入っている-機土の粒が少し入っている
P256	42	円形	26×25	27.8	1	-	暗褐色	シルト	地山ブロックが密に入っている 柱状群
P257	42	円形	37×33	54.6	1	-	暗褐色	粘性シルト	
P258	42	円形	27×26	13.8	1	-	黒褐色	シルト	地山ブロックが少し入っている
P259	42	隅丸方形	32×37	14.0	1	-	暗褐色	シルト	地山ブロックが密に入っている
P260	43	円形	30×26	18.1	1	-	暗褐色	シルト	地山ブロックが少し入っている
P261	42	円形	48×47	36.7	1	-	黒褐色	シルト	地山ブロックが少し入っている-円形レタを含む
P262	45	円形	64×55	23.1	1	-	にぶい黄褐色	シルト	地山ブロックが密に入っている 柱状群
P263	42	円形	42×40	18.0	1	-	暗褐色	シルト	地山ブロックが密に入っている 柱状群
P264	44	隅丸方形	51×42	28.6	1	-	暗褐色	シルト	地山ブロックが少し入っている-炭化物の粒が少し入っている 柱状群
P265	45	楕円形	49×30	35.0	1	-	褐色	シルト	地山が密に入っている
P266	42	方形	50×48	51.0	1	-	にぶい黄褐色	砂質シルト	地山ブロックが密に入っている 柱状群
P267	45	隅丸方形	45×41	31.0	1	-	にぶい黄褐色	シルト	地山ブロックが密に入っている 柱状群
P268	45	円形	22×24	8.2	1	-	褐色	シルト	地山ブロックが少し入っている
P269	45	円形	22×22	13.8	1	-	褐色	シルト	地山ブロックがわずかに入っている
P270	45	円形	32×26	30.3	1	-	にぶい黄褐色	シルト	地山ブロックが密に入っている 柱状群
P271	47	円形	25×23	21.4	1	-	暗褐色	シルト	地山ブロックが少し入っている
P272	42	方形	45×42	52.5	1	-	暗褐色	シルト	地山ブロックが少し入っている
P273	42	円形	30×25	10.4	1	-	暗褐色	砂質シルト	地山ブロックがやや密に入っている
P274	45	円形	23×22	16.3	1	-	暗褐色	シルト	地山ブロックが密に入っている-炭化物の粒がわずかに入っている
P275	42	方形	59×51	50.7	1	-	褐色	シルト	地山ブロックが密に入っている 柱状群
P276	38	楕円形	37×35	52.1	1	-	褐色	シルト	地山ブロックが密に入っている
P277	45	円形	36×26	17.4	1	-	暗褐色	粘性シルト	
P278	45	円形	44×31	43.4	1	-	暗褐色	シルト	地山ブロックが少し入っている 柱状群
P279	43	隅丸方形	27×32	27.3	1	-	褐色	シルト	地山ブロックが密に入っている 柱状群
P280	44	隅丸方形	36×31	19.3	1	-	にぶい黄褐色	シルト	地山ブロックが密に入っている
P281	42	隅丸方形	30×62	35.0	1	-	暗褐色	シルト	地山ブロックが少し入っている
P282	45	隅丸方形	35×35	21.9	1	-	-	-	
P283	43	円形	46×43	48.3	2	-	にぶい黄褐色	砂質シルト	地山ブロックが密に入っている
P284	44	方形	-×58	74.3	1	-	暗褐色	シルト	部分的に地山ブロックが密に入っている
P285	44	円形	30×28	47.9	1	-	暗褐色	シルト	
P286	47	楕円形	40×38	14.6	1	-	暗褐色	シルト	部分的に地山ブロックが密に入っている
P287	46	円形	30×	19.0	1	-	暗褐色	シルト	地山ブロックがわずかに入っている
P288	46	隅丸方形	33×27	22.1	1	-	暗褐色	シルト	地山ブロックが少し入っている
P289	46	楕円形	38×27	9.5	1	-	褐色	シルト	地山ブロックが密に入っている
P290	46	円形	33×27	15.5	1	-	褐色	シルト	地山ブロックが少し入っている
P291	44	方形	46×42	32.0	1	-	にぶい黄褐色	シルト	上層に地山ブロックが密に入っている-下層に暗褐色シルトのブロックが密に入っている
P292	47	円形	27×24	29.1	1	-	黒褐色	シルト	
P293	47	円形	35×31	39.1	1	-	黒褐色	シルト	地山ブロックがやや密に入っている
P294	47	円形	53×50	63.5	1	-	暗褐色	シルト	地山ブロックが少し入っている-炭化物の粒が少し入っている 柱状群
P295	49	円形	29×28	24.0	1	-	褐色	シルト	地山ブロックが少し入っている
P296	49	円形	30×27	28.3	1	-	暗褐色	シルト	地山ブロックが一部に密に入っている

3A区ピット 集計表(※)

遺構名	アブリアド	形状	長×短(寸m)	深さ(m)	層位	土色	土性	備考	
P207	46	円形	25×25	13.5	1	-	にぶい黄褐色	砂質シルト	地山アロクが多く入っている
P208	49	楕円形	35×28	30.5	1	-	褐色	シルト	地山アロクがわずかに入っている
P209	49	円形	45×45	42.7	1	-	黒褐色	シルト	地山アロクがわずかに入っている
P300	49	円形	51×51	30.5	1	-	にぶい黄褐色	シルト	部分的に地山小アロクが密に入っている・黒褐色シルトのアロクが少し入っている
P301	46	楕円形	-×31	12.0	1	-	にぶい黄褐色	砂質シルト	地山アロクが多く入っている
P302	49	円形	25×-	12.0	1	-	暗褐色	シルト	地山アロクが少し入っている
P303	49	円形	51×41	23.3	1	-	暗褐色	シルト	下半に地山アロクが多く入っている 柱状跡
P304	49	円形	33×30	38.8	1	-	黒褐色	シルト	地山小アロクが少し入っている
P305	49	円形	68×63	28.5	1	-	暗褐色	シルト	地山アロクが少し入っている・地山アロクが密に入っている
P306	49	円形	45×43	31.9	1	-	にぶい黄褐色	シルト	地山アロクが少し入っている・地山アロクが密に入っている
P307	49-50	円形	40×40	16.0	1	-	褐色	シルト	地山アロクが多く入っている 柱状跡
P308	50	方形	30×28	66.9	1	-	暗褐色	シルト	地山アロクが少し入っている
P309	50	溝丸方形	56×50	47.4	1	-	暗褐色	シルト	地山大アロクが少し入っている
P310	50	溝丸方形	38×36	37.6	1	-	褐色	シルト	地山小アロクが少し入っている・炭化物の粒がわずかに入っている 柱状跡
P311	46	円形	26×25	9.5	1	-	暗褐色	シルト	-
P312	50	円形	48×42	64.6	1	-	暗褐色	シルト	地山土の粒が少し入っている・地山土の粒がわずかに入っている
P313	46	溝丸方形	63×-	13.0	1	10YR3/2	黒褐色	シルト	炭化物混入、10YR4/3ににぶい黄褐色がアロク状に混入
P314	46-49	円形	33×33	25.5	1	-	暗褐色	シルト	-
P315	49	円形	22×23	17.7	1	-	暗褐色	シルト	-
P316	44	溝丸方形	63×41	28.5	1	-	暗褐色	シルト	地山土を以てはさき
P317	44	不整形	73×-	19.2	1	-	暗褐色	シルト	下半に地山小アロクと暗褐色土の小アロクが入っている
P318	49	不整形	52×50	51.2	2	-	暗褐色	シルト	地山アロクが密に入っている
P319	50	円形	24×24	23.0	1	-	褐色	シルト	地山アロクが多く入っている 柱状跡
P320	50	円形	57×55	34.0	1	-	-	-	-
P321	50	方形	43×33	33.0	1	-	暗褐色	シルト	-
P322	52	溝丸方形	52×42	55.4	1	-	暗褐色	シルト	地山アロクがやや多く入っている
P323	52	円形	53×44	62.1	2	-	暗褐色	シルト	地山アロクが少し入っている・地山アロクが多く入っている
P324	52	円形	40×40	47.8	1	-	暗褐色	シルト	地山アロクが少し入っている・地山アロクが多く入っている
P325	52	円形	31×29	31.6	1	-	暗褐色	シルト	地山アロクが多く入っている
P326	46	溝丸方形	46×44	20.0	1	-	暗褐色	シルト	下半に地山アロクが多く入っている
P327	49	円形	24×23	18.0	1	-	暗褐色	シルト	-
P328	49	円形	30×30	23.0	1	-	にぶい黄褐色	シルト	地山アロクが多く入っている 柱状跡
P329	52-53	楕円形	25×20	10.5	1	-	暗褐色	シルト	-
P330	50	円形	-×46	42.0	1	-	黒褐色	シルト	地山アロクが多く入っている・柱状の部分にアロクが多く入っている 柱状跡
P331	53	楕円形	47×36	34.2	1	-	暗褐色	シルト	-
P332	53	溝丸方形	47×-	53.1	1	-	褐色	シルト	上半に地山アロクがやや多く入っている
P333	53	円形	46×42	65.1	1	-	褐色	シルト	炭化物の粒が少し入っている
P334	47	不整形	45×42	13.0	1	-	にぶい黄褐色	シルト	地山アロクが多く入っている
P335	47	円形	32×28	14.0	1	-	暗褐色	シルト	地山小アロクが少し入っている
P336	54	円形	34×-	13.5	1	-	にぶい黄褐色	シルト	下半に地山アロクが多く入っている
P337	56	円形	30×28	22.5	1	-	にぶい黄褐色	シルト	地山アロクが密に入っている 柱状跡
P338	50	不整形	29×26	16.9	1	-	褐色	砂質シルト	地山アロクが少し入っている
P339	55	方形	43×41	22.0	1	-	褐色	シルト	暗褐色土のアロクがやや多く入っている
P340	53-54	溝丸方形	51×50	43.3	1	-	褐色	シルト	地山土の粒と炭化物の粒がわずかに入っている
P341	50	楕円形	51×36	48.1	1	-	暗褐色	シルト	地山アロクが少し入っている
P342	57	円形	57×57	26.5	1	-	黒褐色	シルト	下半に地山アロクがやや多く入っている
P343	57	楕円形	35×32	32.0	1	-	黒褐色	シルト	下半に地山アロクがやや多く入っている
P344	57	溝丸方形	33×31	23.0	1	-	褐色	シルト	-
P345	57	方形	57×55	18.0	1	-	黒褐色	シルト	地山アロクが少し入っている
P346	59	円形	38×34	39.5	1	-	暗褐色	シルト	地山小アロクがわずかに入っている
P347	56	円形	40×34	36.7	1	-	暗褐色	砂質シルト	-
P348	52	溝丸方形	53×48	48.8	1	-	暗褐色	シルト	地山小アロクがやや多く入っている
P349	52	円形	45×43	24.5	1	-	暗褐色	シルト	地山アロクが少し入っている 柱状跡
P350	52	円形	40×37	31.8	1	-	暗褐色	シルト	地山アロクが多く入っている
P351	53	円形	47×43	40.8	1	-	暗褐色	シルト	地山アロクが少し入っている
P352	56-57	溝丸方形	47×56	38.3	1	-	褐色	シルト	地山アロクが多く入っている
P353	59	楕円形	52×42	21.1	1	-	暗褐色	シルト	地山小アロクがわずかに入っている
P354	59	円形	22×21	30.3	1	-	褐色	砂質シルト	地山アロクが多く入っている
P355	59	円形	33×32	22.3	1	-	暗褐色	シルト	地山大アロクが少し入っている
P356	59	円形	41×38	41.0	1	-	暗褐色	シルト	-
P357	59	円形	60×54	54.0	1	-	黒褐色	シルト	直径5cm内の地山アロクが多く入っている
P358	59	方形	25×23	26.4	1	-	黒褐色	シルト	炭化物の粒が少し入っている
P359	59	円形	24×24	22.5	1	-	暗褐色	シルト	地山小アロクが少し入っている
P360	57	円形	34×32	23.5	1	-	暗褐色	シルト	-
P361	56	円形	43×41	14.7	1	-	暗褐色	シルト	下半に地山小アロクが少し入っている
P362	53-54	溝丸方形	72×71	28.0	1	-	褐色	シルト	-
P363	62	楕円形	40×36	26.4	1	-	褐色	シルト	地山アロクが多く入っている・炭化物の粒が少し入っている
P364	57	円形	-×39	17.5	1	-	褐色	シルト	地山小アロクが多く入っている
P365	59	円形	55×50	18.5	1	-	暗褐色	シルト	-
P366	62	円形	28×28	28.9	1	-	暗褐色	砂質シルト	地山アロクが少し入っている
P367	59	円形	34×24	40.5	1	-	暗褐色	シルト	-

3A区ビット 集計表(7)

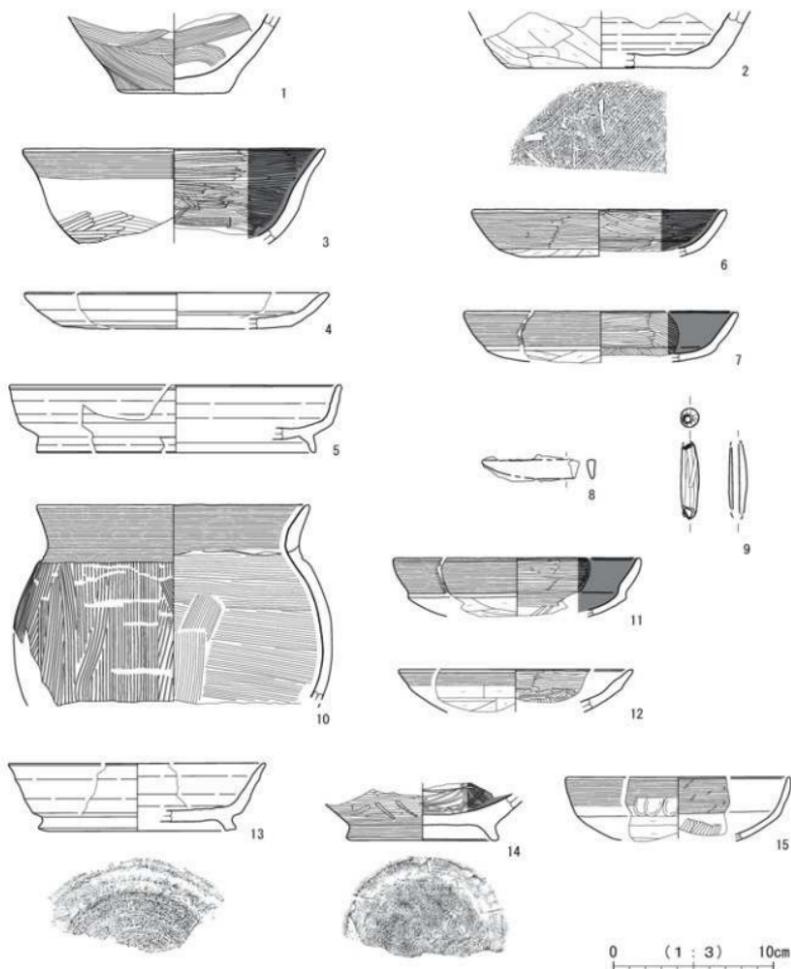
番地	グランド	形状	長×短×厚(cm)	深さ(cm)	階位	土色	土性	備考	
P308	53	円形	40×35	50.4	1	-	にがい黄褐色	シルト	地山ブロックが密に入っている
P309	59	不明	45×-	16.0	1	-	暗褐色	シルト	
P370	00	不明	-×-	22.3	1	-	暗褐色	シルト	
P371	32	円形	35×30	24.0	1	-	褐色	シルト	機土の粒が少し入っている
P372	39	円形	34×22	20.0	1	-	暗褐色	シルト	
P373	42	円形	41×54	22.5	1	-	暗褐色	シルト	下層に地山小ブロックが少し入っている-炭化物の粒がわずかに入っている
P374	59	円形	30×25	19.5	1	-	暗褐色	シルト	機土の粒と炭化物の粒が少し入っている
					1	-	暗褐色	シルト	炭化物の粒が少し入っている
P375	59	円形	54×54	42.0	2	-	にがい黄褐色	砂質シルト	地山ブロックが多く入っている
P376	52-53	円形	56×51	12.8	1	-	褐色	シルト	地山ブロックが少し入っている
P377	56-59	円形	42×38	11.0	1	-	暗褐色	シルト	地山小ブロックが多く入っている
P378	59	円形	31×30	34.5	1	-	灰褐色	シルト	地山ブロックが少し入っている
P379	18	円形	21×28	16.0	なし	1	暗褐色	シルト	
P380	18	楕円形	42×30	16.0	なし	1	暗褐色	シルト	地山小ブロックが少し入っている
P381	18	円形	44×35	16.0	なし	1	暗褐色	砂質シルト	
P382	20	円形	43×36	16.0	なし	1	暗褐色	シルト	地山小ブロックが少し入っている
P383	22	円形	45×-	16.0	なし	1	にがい黄褐色	砂質シルト	地山ブロックが密に入っている
P384	21	円形	48×31	16.0	なし	1	暗褐色	シルト	下層に地山小ブロックが多く入っている
P385	22	円形	45×34	16.0	なし	1	暗褐色	シルト	下層に地山小ブロックが密に入っている
P386	22-23	円形	40×34	16.0	なし	1	暗褐色	シルト	地山小ブロックが多く入っている
P387	16	円形	28×21	16.0	なし	1	暗褐色	砂質シルト	
P388	16	円形	-×28	16.0	なし	1	にがい黄褐色	砂質シルト	地山ブロックが密に入っている
P389	14	小菱形	36×24	16.0	なし	1	暗褐色	砂質シルト	地山ブロックが少し入っている
P390	15	円形	27×22	16.0	なし	1	暗褐色	シルト	地山小ブロックが多く入っている
P391	14	円形	23×20	16.0	なし	1	暗褐色	シルト	地山小ブロックが少し入っている-炭化物の粒が少し入っている
P392	14	円形	23×23	16.0	なし	1	暗褐色	シルト	
P393	16	楕円形	-×-	16.0	なし	1	にがい黄褐色	砂質シルト	地山ブロックが密に入っている
P394	14	隅丸方形	23×20	16.0	なし	1	暗褐色	シルト	地山ブロックが少し入っている-炭化物の粒がわずかに入っている
P395	14	円形	27×-	16.0	なし	1	暗褐色	砂質シルト	下層に地山小ブロックが多く入っている
P396	11	円形	34×26	16.0	なし	1	暗褐色	砂質シルト	地山小ブロックがわずかに入っている
P397	14	円形	25×23	16.0	なし	1	暗褐色	砂質土	
P398	25	楕円形	84×63	16.5	1	-	暗褐色	砂質シルト	地山小ブロックが多く入っている
P399	11	隅丸方形	-×67	16.0	なし	1	褐色	砂質シルト	地山小ブロックが少し入っている
P400	8	円形	45×34	16.0	なし	1	灰褐色	砂質シルト	地山小ブロックが少し入っている
P401	8	円形	30×29	16.0	なし	1	暗褐色	シルト	地山小ブロックが少し入っている-炭化物の粒と機土の粒が少し入っている
P402	8	隅丸方形	30×27	16.0	なし	1	暗褐色	砂質シルト	地山小ブロックが少し入っている-炭化物の粒と機土の粒が少し入っている
P403	5	円形	61×41	37.0	1	-	-	-	
P404	8	方形	55×53	11.0	1	-	褐色	砂質シルト	地山ブロックが入っている-炭化物の粒が入っている
P405	8	方形	52×40	16.0	なし	1	暗褐色	砂質シルト	地山ブロックが入っている-炭化物の粒が入っている
P406	5	不明	75×47	30.5	1	-	-	-	
P407	2	不明	-×-	31.9	1	-	-	-	
P408	2	不明	-×-	32.8	1	-	-	-	
P409	2	不明	-×-	28.8	1	-	-	-	
P410	2	不明	-×-	5.2	1	-	-	-	
P411	8	円形	54×20	32.0	1	-	暗褐色	砂質シルト	地山小ブロックと炭化物のブロックがわずかに入っている
P412	34	方形	48×43	51.5	1	-	暗褐色	シルト	地山ブロックが少し入っている
P413	34	円形	22×19	22.0	1	-	暗褐色	砂質シルト	地山小ブロックがやや入っている
P414	34	円形	49×44	56.5	1	-	暗褐色	砂質シルト	地山ブロックが入っている
P415	33	円形	32×31	20.5	1	-	暗褐色	シルト	
P416	33	円形	36×31	23.2	1	-	暗褐色	砂質シルト	機土の粒と炭化物の粒が少し入っている
P417	33	円形	42×40	32.6	1	-	暗褐色	シルト	地山小ブロックが少し入っている
P418	30	円形	21×20	21.3	1	-	暗褐色	砂質シルト	地山小ブロックが少し入っている
P419	33	円形	30×29	22.7	1	-	暗褐色	シルト	機土が少し入っている
P420	33	円形	25×23	24.5	1	-	暗褐色	シルト	機土が一部に入っている
P421	29	円形	40×34	40.1	1	-	暗褐色	砂質シルト	地山ブロックが少し入っている
P422	33	隅丸方形	54×50	44.1	1	-	-	-	
P423	33	隅丸方形	68×50	36.7	1	-	-	-	
P424	30	方形	48×45	56.5	1	-	-	-	
					1	10YR3/2	灰褐色	シルト	炭化物混
					2	10YR3/2	灰褐色	シルト	柱あたり
P425	36	円形	55×50	32.2	2	10YR3/2	灰褐色	シルト	10YR5/4ブロック混
					3	10YR3/3	暗褐色	シルト	10YR5/4ブロック混
					4	10YR3/4	暗褐色	シルト	
P426	円形	-×-	-	-	1	-	暗褐色	シルト	
P427	36	円形	43×37	29.3	1	-	暗褐色	シルト	地山ブロックが入っている
P428	20	円形	38×28	37.0	1	-	暗褐色	シルト	暗褐色土が少し入っている-機土の粒と炭化物の粒が少し入っている
P429	39	方形	47×58	28.3	1	-	灰褐色	砂質シルト	地山小ブロックが少し入っている
P430	39	隅丸方形	65×55	19.3	1	-	暗褐色	砂質シルト	
P431	45	隅丸方形	39×35	21.0	1	-	暗褐色	シルト	地山小ブロックが少し入っている
P432	45	隅丸方形	37×30	23.9	1	-	暗褐色	シルト	地山小ブロックが少し入っている
P433	45	隅丸方形	38×34	49.9	1	-	暗褐色	シルト	地山小ブロックがやや多く入っている
P434	45	円形	34×32	29.0	1	-	褐色	シルト	
P435	45	円形	35×33	18.2	1	-	暗褐色	シルト	地山小ブロックが少し入っている
P436	43	円形	40×40	16.5	1	-	暗褐色	シルト	地山小ブロックが少し入っている
P437	43	円形	34×30	17.8	1	-	暗褐色	シルト	地山小ブロックが少し入っている
P438	43	円形	20×19	34.5	1	-	暗褐色	シルト	
P439	49	円形	42×32	33.9	1	-	暗褐色	シルト	
P440	52	円形	27×25	26.7	1	-	暗褐色	シルト	
P441	30	方形	45×36	16.0	なし	1	暗褐色	シルト	炭化物の粒が少し入っている

3A展覧ビッド 集計表(前)

遺構名	グリッド	形状	長×短(寸)	高さ(m)	層位	土色	土性	備考
P42	50	方形	44×39	33.5	1	-	褐色	シルト 炭化物の殻が少し入っている
P43	50	溝丸方形	36×29	15.8	1	-	褐色	砂質シルト
P44	50	方形	51×43	36.6	1	-	にぶい黄褐色	砂質土 炭化物の殻が少し入っている 柱状跡
					2	-	暗褐色	シルト 炭化物の殻が少し入っている 柱状跡
P45	50	方形	126×68	100.9	1	10YR3/3	暗褐色	シルト 直径1cm程度の堀山ブロッケ、黒褐色ブロッケを密に含む
					2	10YR3/3	暗褐色	シルト 直径2cm程度の堀山ブロッケ、黒褐色ブロッケを密に含む
P46	50	不整形	63×45	-	1	10YR3/4	褐色	シルト やや大きな礫、砂質ブロッケ、黒褐色シルトブロッケを密に含む
					2	-	暗褐色	砂質シルト 堀山ブロッケが多くなっている
P47	52	方形	30×31	17.4	1	-	暗褐色	シルト 炭化物の殻と機土の殻が入っている
P48	-	方形	-x-	-	1	-	暗褐色	シルト 炭化物の殻が少し入っている
P49	-	方形	-x-	-	1	-	暗褐色	シルト 炭化物の殻が少し入っている
P50	57	楕円形	30×21	23.9	2	-	にぶい黄褐色	砂質シルト 堀山ブロッケが少し入っている
P51	57	円形	35×28	34.4	1	-	暗褐色	シルト 堀山ブロッケが少し入っている
P52	59	円形	21×21	9.4	1	-	暗褐色	シルト 堀山ブロッケが多くなっている
P53	44	不整形	-x56	22.6	1	-	-	-
P54	44	方形	48×46	60.6	1	-	-	-
P55	46	溝丸方形	46×35	50.5	1	-	暗褐色	シルト 堀山ブロッケが多くなっている
P56	46	方形	38×32	28.3	1	-	暗褐色	シルト 堀山ブロッケが少し入っている
P57	46	円形	50×50	レバなし	1	-	暗褐色	シルト 炭化物の殻が少し入っている
P58	60	円形	52×48	24.2	1	-	暗褐色	シルト 炭化物の殻がわずかに入っている
P59	60	円形	48×48	27.5	1	-	暗褐色	シルト 炭化物の殻と機土の殻がわずかに入っている
P60	60	円形	51×48	30.2	1	-	暗褐色	シルト 炭化物の殻と機土の殻がわずかに入っている
P61	56	円形	35×32	13.7	1	-	暗褐色	シルト 炭化物の殻と機土の殻がわずかに入っている
P62	56	円形	36×25	11.7	1	-	暗褐色	シルト 堀山ブロッケが少し入っている
P63	56	楕円形	59×35	15.4	1	-	褐色	シルト 堀山ブロッケが少し入っている
P64	53	円形	36×22	45.5	1	-	褐色	シルト 堀山ブロッケが少し入っている
P65	38	楕円形	42×x	22.5	1	-	暗褐色	砂質シルト 堀山ブロッケが多くなっている
P66	-	方形	-x-	-	1	-	暗褐色	シルト 機土の殻が少し入っている
P67	-	円形	-x-	-	1	-	暗褐色	シルト 堀山ブロッケが入っている
P68	-	円形	-x-	-	1	-	暗褐色	シルト 炭化物の殻が少し入っている
P69	55	溝丸方形	68×x	49.2	1	-	褐色	シルト 暗褐色シルトがブロッケ状に入っている
P70	55	溝丸方形	35×25	レバなし	1	-	褐色	シルト 暗褐色シルトがブロッケ状に入っている
P71	55	溝丸方形	25×25	レバなし	1	-	褐色	シルト 暗褐色シルトがブロッケ状に入っている
P72	55	溝丸方形	28×x	レバなし	1	-	褐色	シルト 暗褐色シルトがブロッケ状に入っている
P73	19	円形	29×28	24.8	1	-	暗褐色	砂質シルト 堀山小ブロッケが少し入っている
P74	24	円形	-x-	7.0	1	-	黒褐色	シルト
P75	25	円形	23×20	39.8	1	-	黒褐色	シルト 炭化物の殻と機土の殻がわずかに入っている
P76	24	円形	17×16	27.0	1	-	暗褐色	シルト 炭化物の殻がわずかに入っている
P77	25	円形	45×50	33.2	1	-	褐色	シルト 暗褐色シルトの小ブロッケが入っている
P78	25	溝丸方形	-x-	19.2	1	-	暗褐色	シルト 機土の殻が少し入っている
P79	25	方形	54×53	41.4	1	-	暗褐色	シルト 上下に堀山ブロッケが多くなっている
P80	27	円形	51×x	12.2	1	-	暗褐色	シルト 堀山土が入っている
P81	33	楕円形	-x28	8.2	1	-	暗褐色	シルト 炭化物の殻が少し入っている
P82	33	楕円形	42×27	レバなし	1	-	暗褐色	シルト 炭化物の殻が入っている
P83	33	円形	60×55	19.2	1	-	暗褐色	シルト 炭化物の殻や中入っている
P84	33	溝丸方形	-x35	レバなし	1	-	暗褐色	シルト 堀山ブロッケが入っている
P85	25	円形	42×38	38.4	1	-	褐色	シルト 暗褐色シルトがブロッケ状に入っている
P86	33	円形	-x-	24.8	1	-	暗褐色	シルト 炭化物の殻と機土の殻が少し入っている
P87	33	円形	45×43	9.9	1	-	暗褐色	シルト
P88	33	不整形	50×40	47.4	1	-	暗褐色	シルト 炭化物の殻が入っている
P89	30	円形	43×39	14.8	1	-	暗褐色	シルト 堀山土が少し入っている
P90	30	円形	25×23	16.8	1	-	暗褐色	シルト 堀山土が少し入っている
P91	40	円形	-x43	22.3	1	-	暗褐色	シルト 堀山土が入っている
P92	33	円形	35×46	47.2	1	-	暗褐色	シルト 炭化物の殻と機土の殻が少し入っている
P93	41	円形	30×26	3.0	1	-	暗褐色	シルト 堀山土がブロッケ状に入っている
P94	41	円形	27×26	30.0	1	-	暗褐色	シルト 炭化物の殻と機土の殻が少し入っている
P95	41	円形	36×29	36.3	1	-	暗褐色	シルト
P96	36	楕円形	-x56	11.0	1	-	暗褐色	シルト 堀山土が少し入っている
P97	33	不整形	55×30	45.7	1	-	暗褐色	シルト 炭化物の殻が少し入っている
P98	41	円形	37×x	35.6	1	-	暗褐色	シルト 堀山土が少し入っている
P99	40	円形	37×29	13.5	1	-	暗褐色	シルト 堀山土が少し入っている
P99	41	円形	53×37	21.2	1	-	暗褐色	シルト
P99	33	円形	33×25	37.8	1	-	暗褐色	砂質シルト 堀山土が少し入っている
P99	33	円形	32×27	34.8	1	-	暗褐色	砂質シルト 堀山土が少し入っている
P99	33	円形	21×21	17.4	1	-	暗褐色	砂質シルト 堀山土が少し入っている
P99	33	円形	23×20	40.6	1	-	暗褐色	シルト 堀山土が入っている
P99	33	楕円形	56×25	25.4	1	-	暗褐色	シルト 炭化物の殻が入っている
P99	41	溝丸方形	48×25	64.3	1	-	暗褐色	シルト 堀山土がブロッケ状に入っている
P99	55	溝丸方形	35×32	23.7	1	-	暗褐色	シルト 炭化物の殻が少し入っている
P98	34	不明	-x-	20.3	1	-	暗褐色	シルト 堀山土が少し入っている
P99	33	円形	29×25	29.6	1	-	暗褐色	シルト 炭化物の殻が多くなっている
P99	34	円形	55×54	18.0	1	-	黒褐色	シルト 炭化物が多くなっている
P99	36	不整形	42×36	13.4	1	-	暗褐色	シルト 直径1cm程度の堀山小ブロッケが入っている
P99	41	円形	38×32	8.6	1	-	褐色	砂質シルト
P99	36	方形	35×21	10.2	1	-	暗褐色	シルト 堀山土が少し入っている

3A区ピット 集計表①

調査名	グリッド	形状	長×短×深(m)	深さ(m)	階位	土色	土性	備考	
P514	38	方形	29 × 26	18.4	1	-	暗褐色	砂質シルト	堆山土が少し入っている
P515	38	方形	32 × 31	31.2	1	-	暗褐色	砂質シルト	堆山土が少し入っている
P516	40	円形	25 × 24	38.2	1	-	暗褐色	シルト	堆山ブロックが少し入っている
P517		円形	- × -	-	1	-	暗褐色	シルト	堆山ブロックが多く入っている
P518	40	隅丸方形	29 × 27	18.2	1	-	暗褐色	シルト	
P519	42	隅丸方形	33 × 32	29.2	1	-	暗褐色	シルト	堆山ブロックが多く入っている 柱状跡
P520	42	円形	30 × 34	24.3	1	-	暗褐色	シルト	暗褐色シルトが少し入っている
P521	43	小方形	47 × -	15.6	1	-	暗褐色	シルト	炭化物の殻が少し入っている
P522	43	隅丸方形	44 × 32	34.1	1	-	暗褐色	シルト	炭化物の殻と焼土の殻が少し入っている
P523	43	円形	37 × 34	23.3	1	-	暗褐色	シルト	堆山土が少し入っている
P524	43	円形	35 × 35	41.4	1	-	暗褐色	シルト	堆山土が入っている
P525	43	楕円形	25 × 15	12.7	1	-	暗褐色	シルト	炭化物の殻が入っている
P526	44	円形	- × -	23.8	1	-	暗褐色	シルト	
P527	44	隅丸方形	71 × 65	70.0	1	-	暗褐色	シルト	
P528	45	円形	48 × 43	20.4	1	-	暗褐色	シルト	
P529		円形	- × -	-	1	-	暗褐色	シルト	堆山土が少し入っている
P530		円形	- × -	-	1	-	褐色	シルト	
P531	45	小方形	- × -	10.5	1	-	暗褐色	シルト	堆山大ブロックが多く入っている
P532	42	楕円形	46 × 32	18.0	2	-	褐色	砂質シルト	堆山ブロックが多く入っている
P533	42	隅丸方形	71 × 56	28.4	1	-	-	-	
P534	42	隅丸方形	38 × 36	29.7	1	-	暗褐色	シルト	
P535	47	円形	25 × 25	7.5	1	-	暗褐色	シルト	
P536	47	円形	30 × 17	10.7	1	-	暗褐色	シルト	
P537	47	円形	- × 25	12.0	1	-	暗褐色	シルト	
P538	47	隅丸方形	30 × 22	7.5	1	-	暗褐色	シルト	
P539	47	隅丸方形	42 × 33	19.0	1	-	暗褐色	シルト	堆山ブロックが入っている
P540		円形	- × -	-	1	-	暗褐色	シルト	
P541	46	円形	30 × 27	17.3	1	-	暗褐色	シルト	堆山ブロックが密に入っている
P542	45	隅丸方形	30 × 19	17.4	1	-	暗褐色	シルト	焼土の殻が入っている-柱状には炭化物の殻が入っている 柱状跡
P543	50	円形	34 × 33	30.5	1	-	暗褐色	シルト	
P544	45	小方形	33 × 32	39.0	1	-	暗褐色	シルト	
P545	40	隅丸方形	- × 40	46.0	1	-	暗褐色	シルト	堆山ブロックが入っている
P546	59	円形	56 × 49	31.0	1	-	暗褐色	シルト	堆山-砂質シルトが少し入っている
P547	59	楕円形	- × 48	15.0	1	-	暗褐色	シルト	堆山土が多く入っている
P548	53	円形	30 × -	8.0	1	-	暗褐色	シルト	
P549	50	円形	35 × 33	32.6	1	-	暗褐色	シルト	堆山土が少し入っている
P550	56	円形	54 × 54	24.5	1	-	にがい黄褐色	シルト	暗褐色土が少し入っている
P551	47	円形	58 × -	23.6	1	-	暗褐色	砂質シルト	堆山土が少し入っている
P552	50	隅丸方形	44 × 40	29.2	1	-	暗褐色	砂質シルト	炭化物の殻が少し入っている 柱状跡
P553	50	円形	18 × 15	24.2	1	-	暗褐色	砂質シルト	堆山土が少し入っている
P554	56	楕円形	- × 36	25.0	1	-	暗褐色	砂質シルト	堆山土が少し入っている-焼土の殻が少し入っている
P555	59	円形	35 × 35	22.2	1	-	暗褐色	砂質シルト	炭化物の殻が入っている 柱状跡
P556	59	円形	45 × -	24.5	1	-	暗褐色	砂質シルト	堆山土が少し入っている-炭化物の殻が入っている
P557	50	円形	38 × -	26.0	1	-	暗褐色	シルト	堆山土が少し入っている
P558	55	隅丸方形	30 × 25	31.5	1	-	暗褐色	シルト	
P559	54	方形	48 × 37	53.2	1	-	暗褐色	シルト	炭化物の殻と焼土の殻が入っている
P560	54	円形	35 × 28	8.4	1	-	にがい黄褐色	砂質シルト	
P561	53	隅丸方形	37 × -	32.0	1	-	暗褐色	シルト	にがい黄褐色土が入っている-炭化物の殻が少し入っている
P562	56	円形	41 × 35	7.5	1	-	褐色	シルト	暗褐色土が少し入っている
P563	58	円形	30 × 28	30.3	1	-	暗褐色	シルト	堆山土が少し入っている 柱状跡
P564	58	円形	37 × -	32.3	1	-	暗褐色	シルト	堆山土が多く入っている 柱状跡
P565	53	方形	95 × -	18.2	1	-	褐色	シルト	
P566	56	円形	44 × 40	12.8	1	-	暗褐色	シルト	暗褐色土が少し入っている
P567	55	方形	30 × 26	21.2	1	-	褐色	シルト	暗褐色土が多く入っている 柱状跡
P568	55	円形	40 × -	18.5	1	-	暗褐色	シルト	
P569	54	楕円形	30 × 16	49.1	1	-	記載なし	記載なし	
P570	40	円形	30 × -	22.5	1	-	暗褐色	シルト	
P571	30	円形	48 × 45	50.5	1	-	暗褐色	シルト	堆山ブロックが少し入っている 柱状跡
P572	30	隅丸方形	34 × 43	17.3	1	-	暗褐色	砂質シルト	



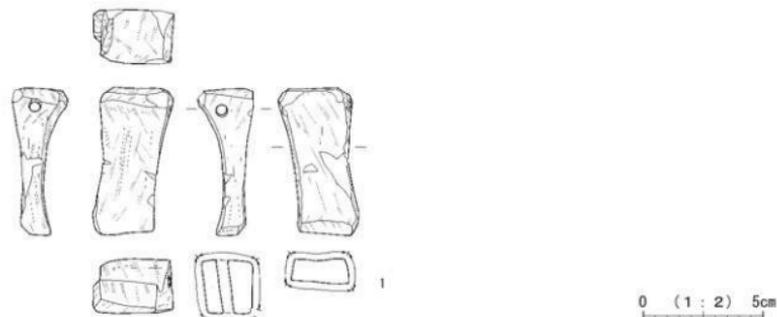
第63図 ビット出土遺物(1)

図録番号	登録番号	出土遺物	層位	種別	器種	口径×底径×器高(cm)	外面調整	内面調整	備考	写真掲載
1	C-308	2B1K P33	1層	土師器	甕	×7.0×(0.1)	胴部付, 底面本葉焼	胴部-底部付付		52
2	E-089	2B1K P45	1層	灰土器	甕	×(12.0)×(0.5)	070調整, 胴部下半部付付, 底面静止糸切付	070調整		52
3	C-309	2A1K P98	1層	土師器	鉢	(18.5)××(4.0)	1層部-胴部付付, 静焼	1層部-胴部付付	内面灰色地焼	52
4	E-091	2A1K P98	1層	灰土器	鉢	(18.4)×(14.2)×2.3	070調整, 底面割付付付	070調整		52
5	E-090	2A1K P98	1層	灰土器	甕	(21.4)×(8.7)×4.3	070調整, 底面割付付付, 胎付高台	070調整	内外面白黒焼, 高台	52

国庫番号	登録番号	出土遺構	層位	種別	器種	口径×底径×器高(cm)	外面調整	内面調整	備考	写真掲載	
	6	C-370	3A区 P159	1層	土師器	杯	(16.0) × × (1.0)	1層部～底部まで→0.1°、底部→9°	1層部～底部→12°	内面黒色処理	53
	7	C-371	3A区 P159	1層	土師器	杯	(17.2) × × (1.3)	1層部～底部まで、底部→9°	1層部～底部→13°	内面黒色処理	53
	10	C-372	3A区 P363	1層	土師器	甕	(17.1) × × (12.7)	1層部まで、胴部→9°	1層部まで、胴部→9°		53
	11	C-373	3A区 P366	1層	土師器	杯	(14.9) × × (1.2)	1層部まで、底部→9°	1層部～底部→13°	内面黒色処理	53
	12	C-374	3A区 P427	1層	土師器	杯	(14.6) × × (2.7)	1層部まで、底部→9°	1層部～底部→13°		53
	13	E-002	3A区 P430	1層	灰土器	杯	(14.0) × (11.1) × 4.3	0°調整、底部傾斜→9°、胎付高台	0°調整	高台	53
	14	C-375	3A区 P469	1層	土師器	碗	× × 9.6 × (1.7)	底部～底部→13°、胎付高台、割割×1	底部→13°	内面黒色処理、底部割割、高台	53
	15	C-376	3A区 P526	1層	土師器	杯	(19.8) × × (1.1)	1層部まで、底部→9°	1層部まで～底部→13°		53

国庫番号	登録番号	出土遺構	層位	種別	器種	備考				写真掲載	
	8	N-26	3A区 P163	1層	鉄製品	刀子	刃部、残存長6.0、幅1.1、厚0.5cm				52

国庫番号	登録番号	出土遺構	層位	種別	器種	長さ×幅×厚さ(cm)	重量(g)	備考		写真掲載
	9	F-64	3A区 P164	1層	土製品	土鏝	14.9×径1.1×孔径0.5	5.8	ナブ	52



第64図 ビット出土遺物(2)

国庫番号	登録番号	出土地点	層位	地区	種別	器種	分類	長さ×幅×厚さ(cm)	重量(g)	石材	備考	写真掲載	
	1	K-607	P172	1層	3A	石製品	砥石	111	6.3×2.9×2.2	37.09	燧石岩	定規品、面取り、柱状、有孔、孔径0.5cm	53

(5) 掘立柱建物跡(第60・61・65～70区)

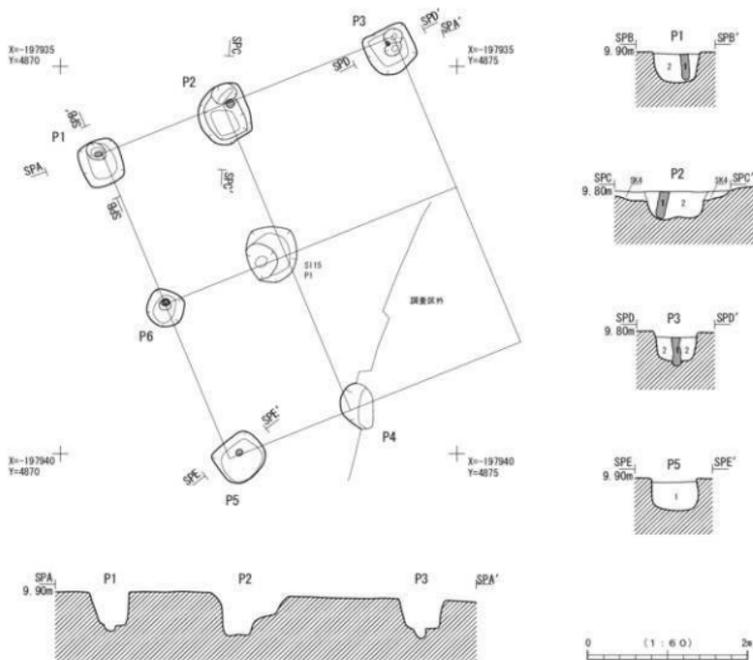
2Bおよび3A区において5棟の掘立柱建物跡と考えられる柱穴列を確認した。SB1以外はほぼ真北を向いた南北棟建物であると推定される。4区で確認された掘立柱建物についても、南北軸に対する傾きの分布に関して同様の傾向が見られ、隣接する郡山遺跡1期官衙・2期官衙との関連性が指摘される。他の遺構との重複関係では、基本的に堅穴住居跡より新しいことが推定された。

SB1 掘立柱建物跡(第60・65-66区)

2B区の南半部で6つの柱穴を確認した。これらの柱穴群から推定される建物跡は東西2間以上、南北2間の東西棟建物跡で、東側は攪乱により失われている。この柱穴群はSI14・15・16やSK4を切ることから、柱穴により構成される建物跡は住居跡群より新しく、SB2と重複しているが、直接の新旧関係は確認できない。

平面規模は桁行が不明であるが、北側柱間寸法が西側から1.8m、2.1mで、梁行は西側で4.2m、柱間寸法がい

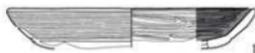
ずれも2.1mである。建物方向は西側柱穴列を基準とするとN・25°・Wで、多くの住居跡と同様の方向性を示している。各柱穴の平面形は正方形を基調としているが、一部円形気味のものもみられる。大きさは58～71cm、深さは40～50cmで、壁面は直立するものや傾斜をもつものもみられた。柱痕跡は4つの柱穴で確認され、最も太いもので24cmを測り、また柱穴の多くの底面には柱による落ち込みが確認された。底面施設などはみられなかつ



第65図 SB1掘立柱建物跡

SB1掘立柱建物跡 埋土録記表

遺構名	平面形	縦横(cm)	厚さ(cm)	層位	土色	土性	備考
P1	隅丸方形	58×62	48	1	10YR4/4	褐色	(柱痕跡) シルト
				2	10YR5/4	にぶい黄褐色	砂質シルト
P2	隅丸方形	78×66	54	1	10YR2/3	黒褐色	φ5cm内の灰化ブロックを多数含む
				2	10YR4/4	褐色	シルト
P3	正方形	60×59	51	1	10YR4/4	褐色	灰化物等を少量含む
				2	10YR4/4	褐色	(柱痕跡) シルト
P4	不明	-	-	1	10YR2/4	暗褐色	φ1cm内の瓦管ブロック・灰化物・焼土等を少量含む
P5	正方形	60×59	36	1	10YR4/4	褐色	シルト
P6	円形	51×50	31	1	10YR2/3	黒褐色	シルト

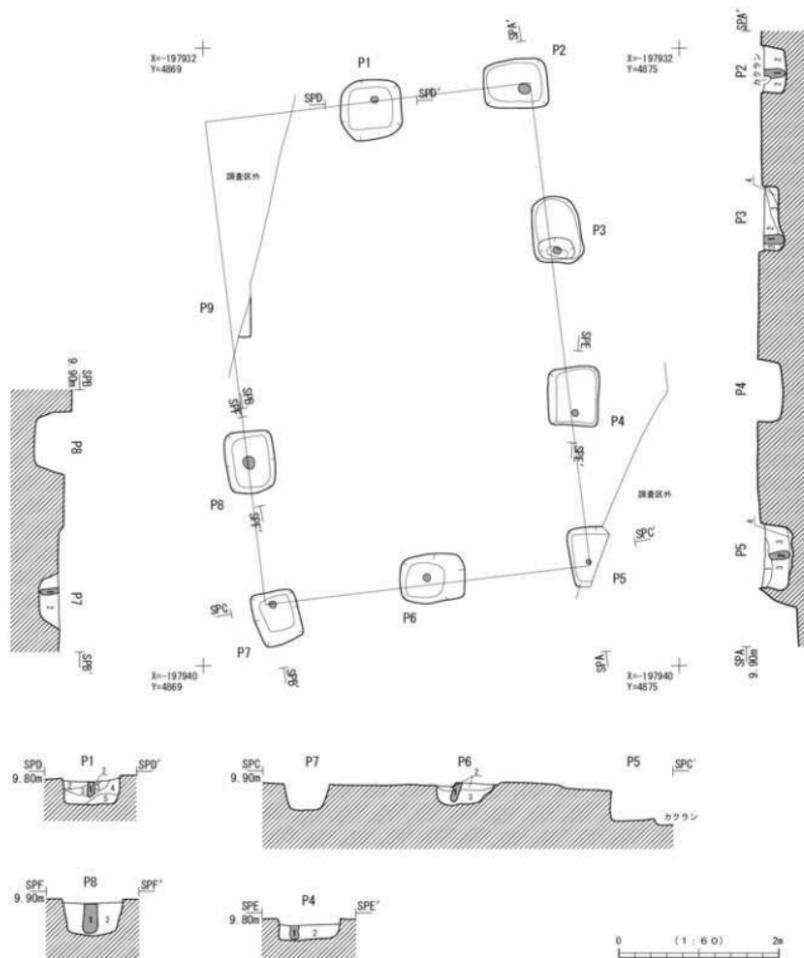


0 (1:3) 10cm

第66図 SB1掘立柱建物跡出土遺物

図録番号	登録番号	出土遺構	層位	種別	器種	口径×底径×器高(cm)	外面調整	内面調整	備考	写真掲載
1	C-317	SB1	P2	土師器	杯	(15.6) × × (2.6)	1面磨き跡あり→91°、体部→91°	1面磨き-体部→18°	内面黒色処理	53

た。柱穴堆積土は黒褐色やにぶい黄褐色のシルトなど様々であり、また各柱穴には抜き取り痕跡などは認められない。
出土遺物は、土師器環1点を掲載した。体部と底部の境目に弱い稜を持ち、外傾し口唇部に在る。



第67図 SB2掘立柱建物跡

SB2 掘立柱建物跡 埋土封記表

遺構名	平面形	幅員(km)	長さ(km)	層位	土色	土性	備考
P1	隅丸方形	75×75	36	1	10YR3/4	暗褐色	シルト (柱痕跡)
				2	10YR4/4	褐色	シルト 草屑をやや多く含む
				3	10YR3/4	暗褐色	シルト 焼土粒を少量含む
				4	10YR5/6	黄褐色	砂質シルト 暗褐色土ブロックを少量含む
				5	10YR4/4	褐色	砂質
P2	隅丸方形	78×66	30	1	10YR2/3	暗褐色	シルト 炭化物・焼土粒を微量含む
				2	10YR1/3	にぶい黄褐色	シルト 炭化物・焼土粒を微量、褐色土ブロックを含む
				3	10YR2/3	暗褐色	シルト 炭化物・褐色土ブロックを微量含む(柱痕跡)
P3	隅丸方形	84×60	33	1	20YR2/3	暗褐色	シルト 炭化物・焼土粒を微量含む
				2	10YR3/3	暗褐色	シルト 炭化物・焼土粒を微量含む
				3	10YR4/3	にぶい黄褐色	シルト 焼土粒を微量、褐色土ブロックを含む
				4	10YR3/4	暗褐色	シルト 炭化物・焼土粒を微量含む
P4	隅丸方形	75×66	30	1	10YR4/4	褐色	シルト 表面がグライ化(柱痕跡)
				2	10YR5/4	にぶい黄褐色	シルト φ5cm内の互層ブロックを一部に多量、炭化物粒を微量含む
P5	隅丸方形	72×	42	1	10YR4/4	褐色	砂質シルト 炭化物・焼土粒を微量、暗褐色土ブロックを含む
				2	10YR3/4	暗褐色	シルト 炭化物・焼土粒を微量、褐色土ブロックを含む
				3	10YR3/3	暗褐色	シルト 炭化物粒を微量、φ1cm以下の焼土・褐色土にぶい黄褐色土・暗褐色土ブロックを含む
				4	10YR3/4	暗褐色	シルト 暗褐色土ブロックを微量含む
P6	隅丸方形	78×60	34	1	10YR2/3	暗褐色	シルト 炭化物粒を少量含む(柱痕跡)
				2	10YR3/4	暗褐色	シルト φ2cm内の互層ブロック、暗褐色シルトブロックを含む
				3	10YR4/3	にぶい黄褐色	砂質シルト φ2cm内の互層ブロックを多量含む
P7	隅丸方形	69×54	36	1	10YR3/3	暗褐色	シルト (柱痕跡)
				2	10YR3/4	暗褐色	シルト φ3cm内の互層ブロックを多量、炭化物ブロックを少量含む
P8	隅丸方形	78×60	48	1	10YR3/4	暗褐色	シルト 炭化物粒を少量含む(柱痕跡)
				2	10YR4/4	褐色	シルト φ3cm内の互層ブロックを多量、炭化物粒を少量含む
P9	隅丸方形						

SB2 掘立柱建物跡(第60-67図)

2B区の南半部で9つの柱穴を確認した。これらの柱穴群から推定される建物跡は東西2間、南北3間の南北棟建物跡で、北西側の柱穴は調査区外となっている。この柱穴群はSB1同様、SI14・15・16を切ることから、住居跡群より新しいものと考えられるが、SB1との新旧関係は不明である。

平面規模は桁行が東側で6.1m、柱間寸法が北側から2.1m、2.1m、1.9mで、梁行は南側で4.0m、柱間寸法がいずれも2.0mである。建物方向は東側柱穴列を基準とするとN-7°-Wで、SB1とは方向が異なっている。各柱穴の平面形は隅丸の長方形を基調とし、SB1とは明らかに異なっている。大きさは長軸69～85cm、短軸57～76cm、深さ28～40cmである。壁面は多くのものが直立して立ち上がり、一部でオーバーハング気味のものがあある反面、一部の壁面で下半部が緩やかな立ち上がりのももある。また調査区際のP133を除く全ての柱穴において柱痕跡が確認されたが、柱穴底面には柱による窪みはみられない。柱痕跡は最も太いもので20cm程である。柱穴堆積土は柱痕跡を除くと単一層のものから5層に分層されるものなど様々で、堆積土についてはSB1と同様の理由から色調、混入物も相違している。柱抜き取りの有無については、P128堆積土中にみられる状況から可能性もあるが、他の柱穴では認められず、これについては観察面の違いに起因するものとみられる。

SB3 掘立柱建物跡 埋土封記表

遺構名	平面形	幅員(km)	長さ(km)	層位	土色	土性	備考
P1	方形	67×56	37.1	1	10YR3/2	暗褐色	砂質シルト 炭化物・焼土粒混入
				2	10YR2/2	暗褐色	砂質シルト 10YR5/3ブロック層
				3	10YR2/2	暗褐色	砂質シルト 10YR5/3ブロック状に混入、炭化物・焼土粒混入
P2	隅丸方形	56×57	37.1	1	10YR3/2	暗褐色	砂質シルト 炭化物・焼土粒若干混入
				2	10YR3/2	暗褐色	砂質シルト 10YR4/3ブロック状に混入、炭化物粒混入
P3	方形	72×60	41.9	1	10YR3/2	暗褐色	砂質シルト
				2	10YR3/2	暗褐色	砂質シルト 10YR5/3ブロック状に混入、表面近くで骨片出土
				3	10YR1/3	にぶい黄褐色	砂
P4	不明	-	31.9	1	10YR3/2	暗褐色	砂質シルト 炭化物粒混入、10YR5/4ブロック混入
				2	10YR3/2	暗褐色	砂質シルト
				3	10YR2/2	暗褐色	砂質シルト 炭化物粒混入
P5	不明	-	28.8	1	10YR2/3	暗褐色	砂質シルト
				2	10YR3/2	暗褐色	砂質シルト 炭化物粒混入
				3	10YR3/2	暗褐色	砂質シルト 10YR5/4ブロック層
P6	不明	-	5.2	1	10YR3/2	暗褐色	砂質シルト
				2	10YR3/2	暗褐色	砂質シルト 10YR5/4ブロック層
P7	長方形	75×47	30.5	1	10YR3/2	暗褐色	砂質シルト 炭化物粒を微量含む、表面グライ化(柱痕跡)
				2	10YR3/3	暗褐色	砂質シルト 炭化物・焼土粒を多量含む
				3	10YR4/4	褐色	砂質土 地山ブロックを多量含む